特　記　仕　様　書

工事名称　　消防屯所等解体工事

工事場所　　三原市幸崎能地五丁目外

工事内容　　本能地格納庫外８ヶ所を解体する。

［解体工事対象建物及び概要］

(1) 本能地格納庫（三原市幸崎能地5丁目10-18）
・床面積　24.41㎡
・建物及び乾燥柱の解体、フェンス設置

(2) 須波分団屯所（三原市須波1丁目19-15）
・床面積　52.84㎡
・建物及び乾燥柱の解体

(3) 港口倉庫（三原市須波1丁目9）
・床面積　6.04㎡
・建物の解体

(4) 須波西倉庫（三原市須波西2丁目24-30）
・床面積　5.39㎡
・建物及び乾燥柱2本の解体

(5) 沖浦格納庫（三原市沖浦町1387-1）
・床面積　5.32㎡
・建物の解体

(6) 沼田西分団屯所(三原市沼田西町松江2565)
・床面積　54.9㎡
・建物及び乾燥柱の解体（土間残置）

(7) 惣定格納庫（三原市沼田西町惣定1168-1）
・床面積　40.98㎡
・建物及び乾燥柱の解体（土間残置）

(8) 大長寺格納庫（三原市小坂町2178-1）
・床面積　5.89㎡
・建物及び乾燥柱の解体

(9) 須波ハイツ格納庫（三原市須波ハイツ3丁目1）
・乾燥柱の解体

準則　　公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書　（各 最新版　国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。

関係法令等　　本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。
・建築基準法、同施行令、同施行規則
・消防法、同施行令
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
・建設業法、同施行令、同施行規則
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・石綿障害予防規則
・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
・その他関係法令

疑義変更　　本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらにおいて請負代金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類　施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。

商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。

設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工　期　本工事は請負契約締結の後、令和9年3月31日をもって工期とする。

このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和9年3月18日。）

留意事項

・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
・本工事は「発注者指定型」による週休２日適用工事の対象工事であり、「三原市週休２日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和７年６月２４日改定）により工事を行うこと。
・工事着手前までに「週休２日適用工事」または「週休２日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
・「週休２日適用工事」または「週休２日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
・月単位の週休２日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
・デジタル化を積極的に推進すること。
・生成AIを積極的に活用して工事を進めること。提出書類については、生成AIによるチェックを行った上で提出すること。
・定例会議の頻度と方法は協議による。
・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出し、出席者に内容を共有すること。
・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
・騒音については、騒音規制法(特定建設作業)により、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。工事により著しい作業音の発生が想定される期間については、騒音計による記録を行うこと。
・振動については、振動規制法(特定建設作業)により、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。工事により著しい作業振動の発生が想定される期間については、振動計による記録を行うこと。
・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。

・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
・工事車両は、場内を5ｋｍ/ｈ以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
・工事に係る電気、水道及び下水道使用料金等は受注者の負担とする。
・工事範囲内には水道がない為、洗浄及び散水用等の水を準備すること。
・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって､当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事でって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。（３検体）
・石綿含有塗材除去作業に当たっては、原則として事前に試験施工を行い、除去後の検体を採取することによって、石綿が除去されることを確認すること。分析調査費等は見込んでいる。
・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の使用位置を確認させること。
・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
・石綿含有建材の除去専門業者については、建設技術審査証明協議会による「建設技術審査証明事業」の提出、又は本工事に相応した技術を有することが分かる施工実績証明等が確認できること。
・石綿含有建材の除去作業者については、一般健康診断・石綿健康診断・じん肺健康診断の３種類を定期的に受診していることが確認できること。
・石綿を含有する建築物の解体等を行う際には届出を行うこと。レベル１・２については「工事計画届」「特定粉じん排出等作業届書」「事前届出の実施」「建築物解体等作業届」等遅滞なく提出すること。
・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関係する機器等の処分については、当該法律に基づき適正に行うこと。
・既存基礎、既存杭及びその他地中構造物の残置物は、測量によって位置及び高さ等(それぞれ基準を設定)を記録して、完成図書として提出すること。

・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
・品質証明員（技術士、1 級施工管理技士もしくは１級建築士の資格を有するもので、当該工事に従事していない者）を定める場合は、「総合施工計画書」に品質証明計画と品質証明員の氏名・資格を記載し、資格証明書の写しを添付すること。
・品質証明員を定める場合は、品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般に行うこと。また、社内検査を実施し、報告書等を適宜提出すること。
・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たを有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(２部)にて提出すること。
・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
・請負代金額300万円以上の工事について、建設業退職金共済事業部の「建設業退職金共済制度事務処理手引き（令和７年10月改訂版）」に基づき、「掛金収納書提出用台紙」及び「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」を提出すること。
・完成写真（竣工写真）の撮影を外注する場合は、撮影データを三原市が利用することについての承諾書を提出すること。（押印した原本）
・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を３部提出すること。
（契約図について、変更があれば変更部分を修正し、完成図であることを明記して一式を製本する。）

消防屯所等解体工事

建物番号	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
公	01	タイトル、図面リスト	
	02	解体工事特記仕様書（1）	
	03	解体工事特記仕様書（2）	
1		本能地格納庫	
	01	ホース乾燥柱　詳細図、仮設計画図（参考図）	1/50 1/200
	02	平面図、付近見取図、屋根伏図	1/100
	03	立面図	1/100
	04	仮設計画図（参考図）、解体平面図 外構平面図、断面図、水返し土手断面図	1/100　1/20
	05	ネットフェンス詳細図	1/20 1/1
2		須波分団屯所	
	01	付近見取図、外部・内部仕上表	
	02	配置図、仮設計画図（参考図）	1/100
	03	平面図、屋根伏図	1/100
	04	立面図	1/100
	05	矩計図、各伏図	1/100　1/50
	06	ホース乾燥柱　詳細図	1/50
	07	便槽詳細図（参考図）	1/20
3		港口倉庫	
	01	平面図、立面図、配置図、仮設計画図（参考図）	1/100　1/50
	02	付近見取図、屋根伏図、断面図	1/50　1/20
4		須波西倉庫	
	01	平面図、立面図	1/50
	02	仮設計画図（参考図）、屋根伏図、断面図	1/50 1/20
	03	（解体前後）平面図、断面図	1/50
	04	ホース乾燥柱　詳細図、付近見取図	1/50

建物番号	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
5		沖浦格納庫	
	01	平面図、立面図、屋根伏図	1/50
	02	屋根伏図、断面図 付近見取図、仮設計画図（参考図）	1/100　1/50　1/20
6		沼田西分団屯所	
	01	付近見取図、仮設計画図（参考図） 解体後床補修平面図	1/100
	02	平面図、屋根伏図	1/100
	03	立面図	1/100
	04	配置図、断面図	1/100 1/20
	05	ホース乾燥柱　詳細図	1/50
	06	便槽詳細図（参考図）	1/20
7		惣定格納庫	
	01	付近見取図、外部・内部仕上表	
	02	平面図、立面図、屋根伏図	1/100
	03	断面図	1/20
	04	ホース乾燥柱　詳細図、仮設計画図（参考図） 解体後床補修平面図	1/50 1/100
	05	便槽詳細図（参考図）	1/20
8		大長寺格納庫	
	01	平面図、立面図	1/50
	02	付近見取図、配置図、屋根伏図、断面図	1/100 1/50 20/1
	03	ホース乾燥柱　詳細図	1/50
	04	仮設計画図（参考図）、外構配置図	1/100
9		須波ハイツ格納庫	
	01	付近見取図、配置図	1/50
	02	ホース乾燥柱　詳細図	1/50

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2025. 08.	

CH.	CH.	DR.

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME タイトル、図面リスト

NO. 公 / 01

図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%

Ⅰ 工事概要等

1 工事名称： 消防屯所等解体工事
2 工事場所： 三原市幸崎能地五丁目外
3 構造規模： （内訳は別図による）
4 工事種目： 屯所他解体・撤去工事（内訳は別図による）
5 別途工事：（ あり ・ (なし) ）
6 公衆災害防止措置
（1）工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。
（2）上記について、「建設工事公衆災害防止要綱（平成５年１月１２日付 建設事務次官通達）」に基づき実施すること。
（3）掘削作業前には、必ず既存の設備図面や施設の改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。
また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者に立会を依頼すること。
7 現状復旧
工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、受注者の責任において現状復旧を行うこと。
8 その他
（1）この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は、原則として三原市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。
（2）解体仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1.1.13)を優先する。
（3）本工事は、工事中下記に示す調査を行うため、営繕課より連絡があれば対応すること。
・ 公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）

Ⅱ 解体工事仕様

1 共通仕様
（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書　最新版」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
2 特記仕様
（1）項目は(・)印のついたものを適用する。
（2）特記事項は(・)印のついたものを適用する。
(・) 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
(・)印と(※)印のついた場合は共に適用する。
（3）特記事項に記載の［ ］内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。
（4）特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。
（5）特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

1 一般共通事項

	項目	特記事項
(1)	適用基準等	※建設工事公衆災害防止対策要綱 ※建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定） ※建築工事安全施工技術指針 ※再生資源利用促進実施要領（広島県土木局制定） 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版 国土交通省大臣官房官庁営繕部
(2)	設計図書の優先順位	(1) 設計図書に関する質問回答書　(2) 現場説明書　(3) 特記仕様書 (4) 図面　(5) 共通仕様書 ［1.1.3］
(3)	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係機関への必要な手続等を遅滞なく行うこと。 また、これらの手続等を行うに当っては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告すること。 なお、手続き等に要する費用は受注者の負担とする。
4	別契約の関連工事	工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し、工事の円滑な施工に努めること。 ［1.1.7］
(5)	工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において請負金額が５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、受注、変更、完成、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、主任監督員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を主任監督員に提出しなければならない。また、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。 （本業種が付帯の場合は、元請業種で登録等を行う。）
(6)	発生材の処理等	［1.3.10］［4.1.3～4.5.1］ ・引渡しを要するもの（・PCBを含む機器類、PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材、　　） ・次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する。 (1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土 （・建設発生土　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材） (2) 金属類 (3) 小型二次電池 ・その他建設廃棄物の再資源化 ※無し　・有り（・蛍光ランプ、HIDランプ　・硬質塩化ビニル管、継手） ・指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減　※無し　・有り ・再資源化された建設廃棄物の現場での利用 ※無し　・有り（　　） ・産業廃棄物広域認定制度の適用　※無し　・有り（　　） ・処理に注意を要する建設廃棄物 ※無し　・有り（・CCA処理木材　・ひ素、ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ） (1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） (2) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うもののなかから、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物税が課税されるので、適正に処理すること。 なお、本工事では、広島県産業廃棄物税相当額を見込んでいる。
(7)	工事工程表	検査期間としての１３日間を含んだ工程とし、 ［1.2.1］ 工事全体を把握して作成し、監督職員の承認を受ける。 ［1.2.2］
(8)	施工計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、あらかじめ監督職員に提出し承諾を得ること。 （仮設計画、安全・環境対策、工程計画、解体計画、発生材の処分計画） ［1.3.5］
(9)	施工条件	(1) 作業時間は、原則午前８時半から午後５時までとし、通学時間帯を考慮すること。 なお、時間変更する必要がある場合は、監督職員の承諾を受けること (2) 日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。 **(3) その他図示による**

(10)	安全確保	［1.3.6～1.3.8］ (1) 受注者は、現場代理人を工事現場に常駐させ、工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い、周囲の建物、通行者等に損傷を与えないように注意して、工事施工をすること。なお、万一損傷が生じた場合は、受注者の責任において処理すること。 (2) 工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。 低騒音型・低振動型建設機械の使用（近接住民の生活環境の保全の必要性がある場合） (3) 歩行者等の通行に支障を生じないよう誘導員を配置し適切な処置を講じること。 特に道路幅の狭い箇所及び児童の通学路と重複する箇所には、誘導員を配置する等の措置を講じること。 (4) ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。 (5) 作業現場には、労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き、作業の安全管理に努めること。 ①つり足場（ゴンドラのつり足場を除く）、張出し足場又は高さ５m以上の構造の足場の組立て、解体を行う場合、コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが５m以上のもの）の解体作業を行う場合は、労働安全衛生法第１４条に基づく技能講習を終了したものとする。 ②木造建築物の解体作業を行う場合は、平成３年１月２１日付け基発第３９号「安全衛生教育の推進について」及び平成元年９月５日付け基発第４８５号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。 ［1.2.3］
(11)	工事の記録	下記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする。 (1) 工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 (2) 工事中写真 全般的な解体工事の状況、建設副産物処理及び事前措置、解体手順の各段階における施工が完了した写真、水中又は地下に埋設される部分、分別解体を行っていることが確認できる状況写真、その他工事終了後では確認できない事項、その他監督職員が指示する箇所は、適切に写真等を整備するものとする。 なお、基礎や地下構造物等の撤去については、撤去物の全般に亘り、その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。 (3) 完成写真 着工前及び完成時の状況を同一方向から撮影したものを提出すること。 （撮影箇所）　監督職員が指示する箇所 （規格・提出部数）※電子ファイル（PDF形式）により、２２電子納品に含めて提出 ・ (4) その他の写真 隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真を監督職員の指示により提出すること。 (5) 保管 工事写真のデータ等は工事完成後、受注者において３年間保管すること。
１２	電気保安技術者等	［1.3.3～1.3.4］ 工事用電力設備の保安責任者として関係法令等に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する ・電気保安技術者　※配置する
(13)	近隣との折衝	［1.3.6］ 工事施工に当っての近隣との折衝は次による。また、経過について記録し、遅滞なく監督職員に報告する。 (1) 地域住民等と工事の施工上必要な折衝をおこなうものとし、あらかじめその概要を報告する。 (2) 第三者からの説明の要求又は苦情があった場合、直ちに誠意をもって対応する。ただし、緊急を要しない場合、あらかじめその概要を監督職員に報告のうえ、対応する。
(14)	施工の検査	監督職員による随時の立入り検査を行う。 ［1.6.4］ 検査に必要な資機材、労務等を提供すること。
(15)	工程報告	別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月の月末日に提出すること。
(16)	埋設物等の報告	工事の施工に当たり、図面にない地下構造物、埋設配管等を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告すること。
１７	地下埋設物調査	・行わない ・行う　図示する範囲内において、整地前に敷地境界から２mの距離を置き、幅１m、深さ1.5m迄、３m間隔で掘削調査を行う。
１８	契約不適合調査	完成後、発注者から契約不適合調査（建設工事請負契約約款第46条の５に定める期間内）の連絡があった場合には、調査に協力すること。
(19)	家電リサイクル法対象機器の処分	特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は同法に基づき処理を行うこと。また、工事完了後に管理票の写しを提出すること。
(20)	完成時の提出図書	（１）完成図書　※提出を要する。 〈1.8.1～3〉 （２）完成図 【規格・提出部数】 ※　電子ファイル（CADデータ及びPDF形式）により、１１電子納品に含めて提出 ※　その他施設管理用図書（製本等）が必要な場合は、監督職員の指示により部数等を決定する。 完成図は残置及び設置工作物等、工事完了時に敷地内に存する物（埋設物も含む）の種類、位置及び供給管の切断箇所等の今後当該敷地を管理していく上で必要な事項を明記した配置図を作成し、提出すること。
(21)	試掘	地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため、次の時期及び方法により試掘を行う。 試掘時期 ※完成検査時　・（　　） 試掘方法 ※機械掘削　・人力掘削 なお、試掘は建築物１棟ごとに１箇所以上、外構（排水施設、舗装等）で１箇所以上行い、試掘する箇所については、検査員の指示による。
２２	電子納品	※電子納品対象工事とする 電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここいう電子データとは、「営繕工事電子納品要領（以下、要領という）」に基づいて作成されたものを指す。 成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。 また、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。 （本業種が付帯の場合は、元請業種へ技術資料等を提供する。）
(23)	工事中情報共有システム	（１）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 （２）本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム （http://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html） （３）監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 （４）受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

2 仮設工事

(1)	騒音・粉じん等の対策	［2.2.1］ 騒音・粉じん等の対策　・防音パネル　※防音シート　・養生シート等 防音パネル、防音シート、養生シート等を取り付ける足場の設置範囲 ※ 工事に必要な範囲 ・
(2)	足場等	［2.2.2］ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」におけるaの(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。 ・騒音・振動計を設置すること（設置箇所は図示による）
3	監督職員事務所等	［2.3.1］ ※ 設けない ・ 既存建物内の一部を使用する（場所　　） ・ 設ける 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による。
4	山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡の処理 ［2.4.3］
(5)	工事用水	構内既存の施設 ・利用できる（※ 有償　・無償） ※ 利用できない
(6)	工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる（※ 有償　・無償） ※ 利用できない
(7)	仮囲い等の安全施設	別紙設計図による
(8)	工事現場の表示	工事現場の公衆の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する ※工事名等の表示板（900mm×600mm）　・　・ ・ 仕様等の詳細は営繕課HPの「現場掲示板について」を参照のこと。
(9)	交通誘導員	※配置する　・本業種が付帯の場合は、元請業種で配置する ・別途工事で配置する（工事名：　　） ※大型車両進入時　（　）人／日 ・常時配置　（　）人／日 ・（　　）作業期間　（　）人／日
10	快適トイレ設置工事	現場説明書による。

3 解体施工

(1)	事前措置	［3.2.1］ ９章 機械設備による。それ以外は下記による。 浄化槽、排水槽等の汚水、汚物等の事前回収、洗浄、消毒等の措置 ・ 行う　※ 行わない オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の事前回収、洗浄等の措置 ・ 行う（廃油の処理は５章による）　※ 行わない
(2)	基礎等	解体範囲　※ 捨てコンクリートまで解体（地業は存置） ［3.9.1］
3	杭の解体	［3.9.2］ 杭の解体　・行う（解体方法　・引抜き工法　・破砕による解体） 引き抜き跡の処理 ※解体後の埋戻し及び盛り土による材料で充填 ・ 杭の処理　※現場説明書の施工条件明示による。 ・ 行わない
(4)	さく、照明設備等の附属物	附属物の解体　・行う　・行わない ［3.10.1］
(5)	構内舗装、樹木等	［3.11.1］ 舗装の路盤の解体　・行う　・行わない 樹木の伐採伐根及び移植　・行う　・行わない
(6)	地下埋設物及び埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の撤去　・行う　・行わない ［3.12.1］
(7)	埋戻し、盛土及び地均し	［3.13.1］ 解体後の埋戻し及び盛土 ・ 行う 整地高さ　・現状ＧＬ　・図示 埋戻し及び盛土の材料 ・ 山砂の類　・他現場の建設発生土の中の良質土 ・ 再生コンクリート砂　・現場発生の良質土 ・ 行わない

4 建設廃棄物の処理

1	再資源化等	［4.4.1］ 建設廃棄物の種類及び中間処理施設又は再資源化施設 ※ 現場説明書の施工条件明示による　・ 種類 ／ 所在地等 最終処分する建設廃棄物の種類及び最終処分場 処理に注意を要する建設廃棄物の処理 ※ 現場説明書の施工条件明示による　・

5 特別管理産業廃棄物の処理

(1)	特別管理産業廃棄物の処理等	［5.4.1］ ８章 電気設備、９章 機械設備による。それ以外は下記による。 ・ＰＣＢを含む機器類の処理 分析調査　・行う　採取場所（　　） 除去範囲　※ 図示　・ ・ＰＣＢ含有シーリング材の処理 分析調査　・行う（分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による） 除去範囲　※ 図示　・ ・廃油の処理 処分方法　・焼却処分　・中間処理施設で再生処理 除去範囲　※ 図示　・ ・廃酸・廃アルカリの処理 除去範囲　・臭化リチウム（直吹吸収冷温水機） ・鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液 処分方法　・中和処理　・焼却処分　・中間処理施設で再生処理 ・ダイオキシン類の処理 サンプリング調査　・行う （分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による） 除去範囲　※ 図示　・ 解体方法　・ 処分方法　・

6 石綿含有建材の除去等

(1)	調査	調査 ［1.4.1］ ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（　　） ・ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	分析方法（定性）	分析方法（定量）
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所
	・ 箇所	・ 箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと。
サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

2	石綿粉じん濃度測定	・ 測定時期、場所及び測定点 ［6.1.3］

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
	測定１	処理作業前	処理作業室内	・ 計　点
	測定２		調査対象室外部の付近	・ 計　点
	測定３	処理作業中	処理作業室内	・ 計　点
※	測定４		セキュリティゾーン入口	・ 計　点
※	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/ｓ以下の位置　・ 計　点
※	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺　・敷地境界	・ 計　点
※	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計　点
	測定８	処理作業後	処理作業室内	・ 計　点
	測定９	（シート撤去後１週間以降）	調査対象室外部の付近	・ 計　点

測定方法
・ 自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・ 測定4　・ 測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、
・ 測定（　　）	繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）
・ 測定4　・ 測定5　・ 測定（　）	25	5	30
・ 測定（　）	47	10	120
・ 測定（　）	47	10	240
・ 測定（　）			

3	石綿含有建材の除去	・ 石綿含有吹付け材の除去 ［6.3.2、6.3.3］ 除去範囲　※ 図示　・ 除去工法　※ 解体共通仕様書6.3.2(1)による ・ 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置　※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場）　※ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。 ・ 石綿含有保温材等の除去 ［6.4.1、6.4.4］ 除去範囲　※ 図示　・ 除去工法　※ 解体共通仕様書6.3.2による ・ 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 ［6.5.4］ 除去範囲　※ 図示　・ 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せっこうボード ※ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去範囲　※ 図示　・ 養生方法 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 下記以外は、解体共通仕様書6.1、6.2.1～6.2.4及び6.2.6による。 除去工法　・ ※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第６条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15ＭＰａ以下、30～50ＭＰａ程度） ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上） ・ 超音波ケレン工法（ＨＥＰＡフィルター付き掃除機併用） ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50ＭＰａ程度） ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上） ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 (・) 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 除去対象範囲　※ 図示 作業場の隔離　※ 行わない　・ 行う 試験施工　※ 行わない　・ 行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分（安定型最終処分場）　・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※ 解体共通仕様書6.3.3による 確認及び後片付け　※ 解体共通仕様書6.3.4による

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	SCALE
CH.	CH. DR.	

TITLE 消防屯所等解体工事
NAME 解体工事特記仕様書（１）

NO. 公 02

図面縮小率
A-3：100%
A-4： 71%

7 特殊な建設副産物の処理	1	調査	調査 ［7．1．3］ 分析による特殊な建設副産物の調査 ・ 行う　採取場所（　　）																
	2	特殊な建設副産物の処理等	9章 機械設備による。それ以外は、下記による。 ［7．3．1］ フロン類を使用している設備機器 ・ 冷凍機の冷媒 ・ パッケージ形空気調和機の冷媒 ・ ルームエアコンディショナーの冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に次の資料を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し フロン類以外の特殊な建設副産物を使用している設備機器等																
8 電気設備	①	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1）引渡しを要するもの　・無　・有 （ ・ 金属類　・ 盤類　・ 電線、ケーブル　・　　） 2）特別管理産業廃棄物　・無　・有 （ ・ ＰＣＢ使用機器　・ 石綿含有設備資機材） ＰＣＢ使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量ＰＣＢ分析結果（ ・ 無　・ 有） 撤去する変圧器等は製造年、品番等を確認し微量ＰＣＢ分析の要否を判定する。 撤去する変圧器等の微量ＰＣＢ分析を行う。 分析費（ ※ 別途　・ 本工事） ＰＣＢ使用機器搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） ＰＣＢ使用機器収納容器　※ 別途　・ 本工事（用途　　） 石綿含有設備資機材は関係法令に従い適切に処理する。 撤去する石綿含有設備資機材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 撤去する石綿含有設備資機材の分析を行う。 分析費（ ※ 別途　・ 本工事） 石綿含有資機材の搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 3）再生資源化を図るもの　・無　・有（ ・ 蛍光管　・ 小形二次電池） 搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 4）上記1）～3）に該当しない発生材　・無　・有 搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事）																
9 機械設備	①	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1）引渡しを要するもの　・無　・有 （ ・ 金属類　・ 機器類　・　　） 2）特別管理廃棄物処理　・無　・有 （ ・ 廃油　・ 石綿含有資機材　・　　） 特別管理廃棄物は関連法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） ・ 石綿含有資機材 （ ・ 配管フランジ接合部及びバルブガスケット　・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン　・ たわみ継ぎ手　・ 配管保温材　・　） 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 3）特殊な建設副産物の処理 ・ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途　・ 本工事） ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途　・ 本工事）																
10 その他	①	建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ＜3．2．5＞ ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積																

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.
CH.	CH. / DR.

SCALE

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME 解体工事特記仕様書（2）

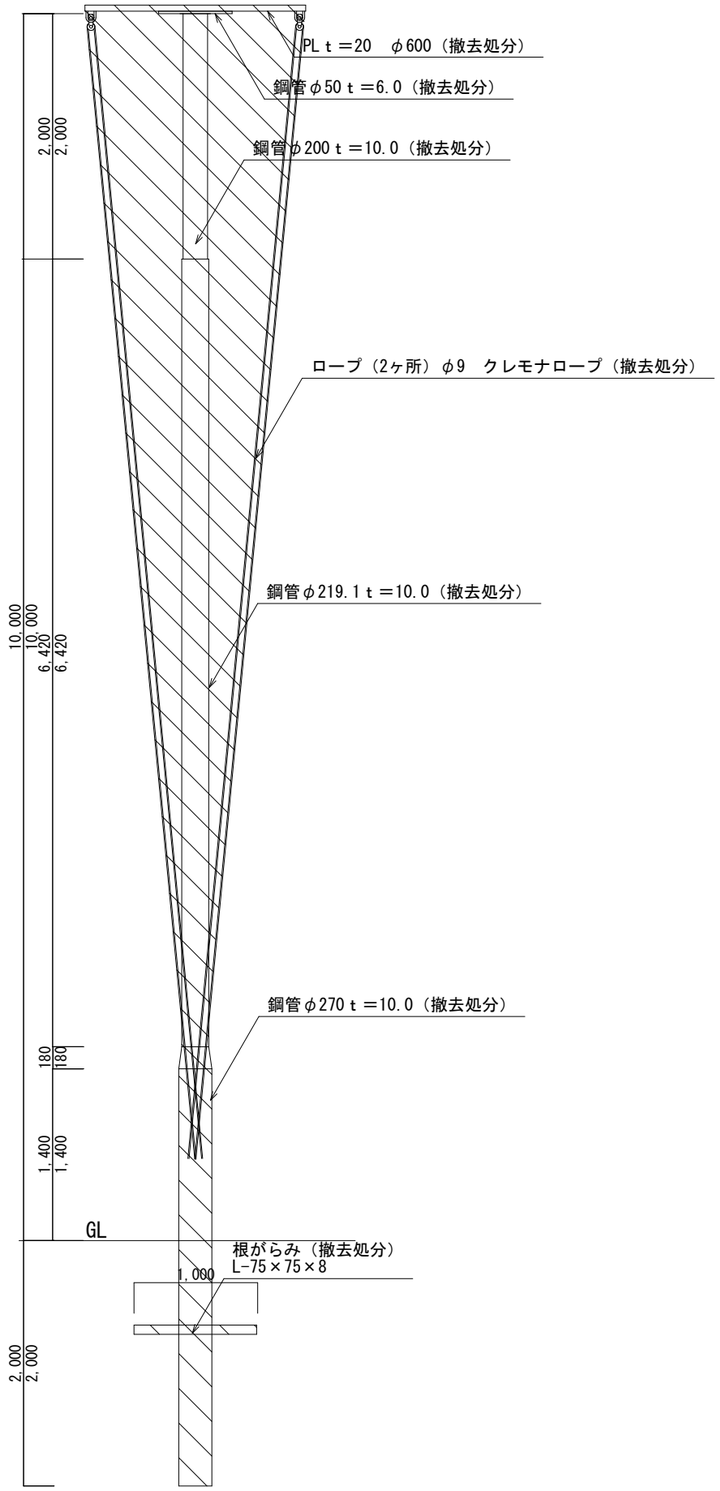
NO. 公 / 03

図面縮小率

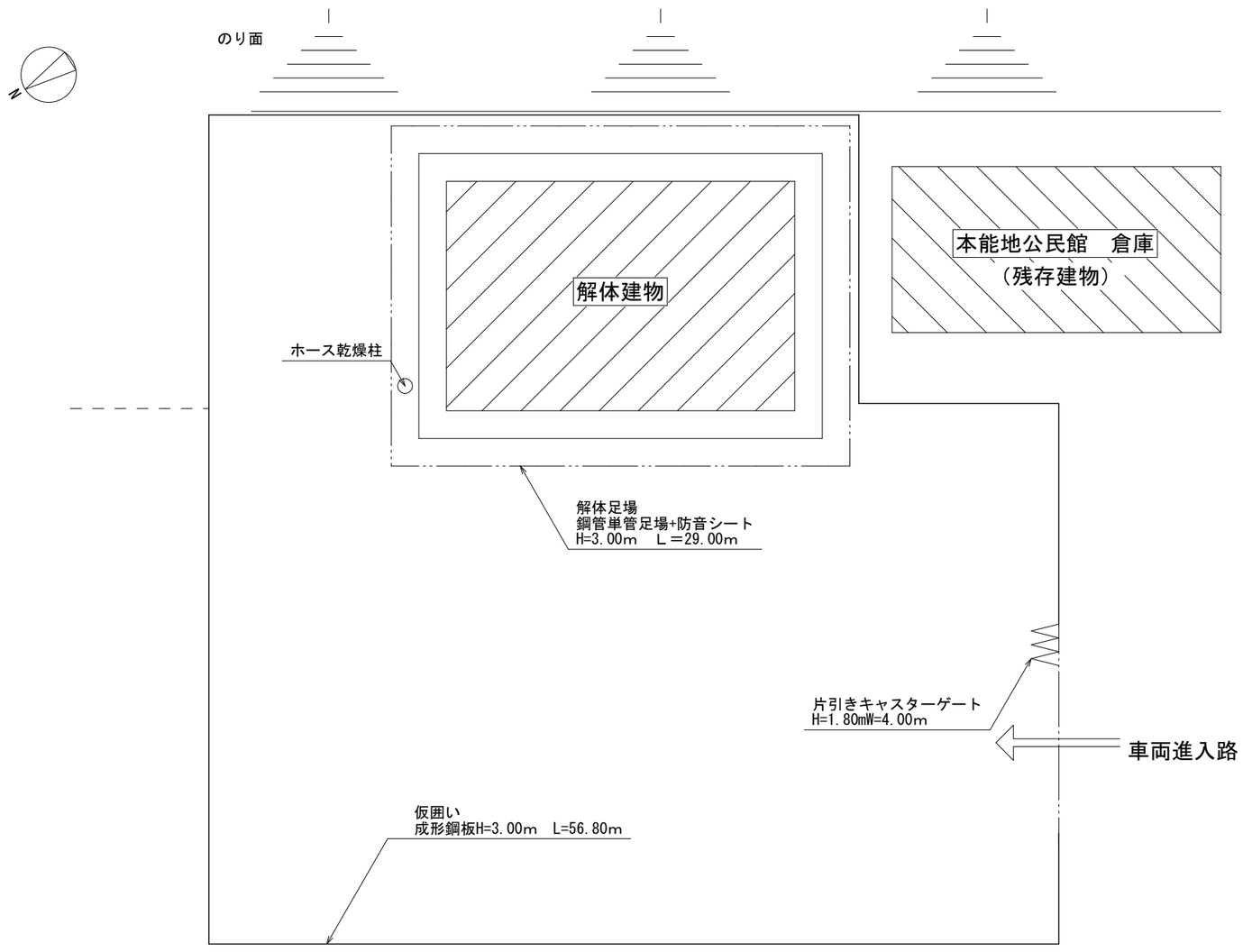
A-3：100%

A-4：71%

ホース乾燥柱　詳細図　S=1/50



仮設計画図（参考図）　S=1/200



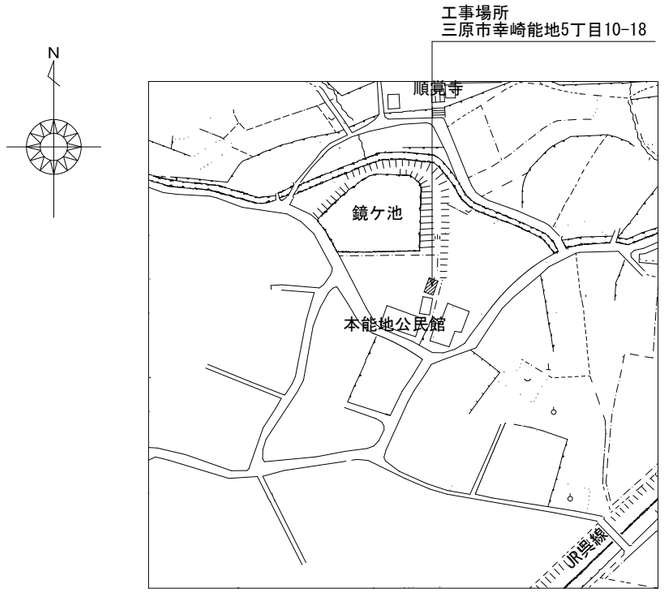
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50 1/200	消防屯所等解体工事	1 / 01	A-3：100% A-4：71%
CH. CH. DR.			NAME （本能地格納庫）ホース乾燥柱　詳細図 仮設計画図（参考図）		



付近見取図

本能地格納庫、ホース乾燥柱　工事内容

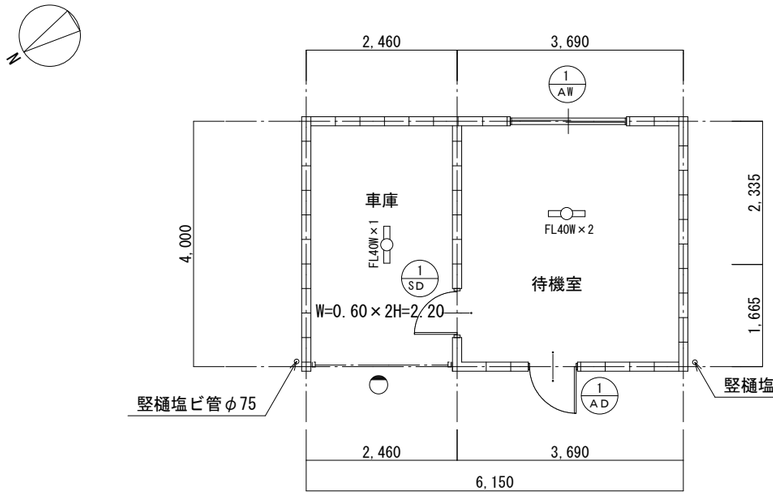
1. 本能地格納庫（解体撤去処分）
2. ホース乾燥柱（鋼管柱）（撤去処分）
3. 解体後真砂土整地
4. フェンス（撤去・新設）
5. 水返し土手作成
6. アスベスト（撤去）

内部仕上表

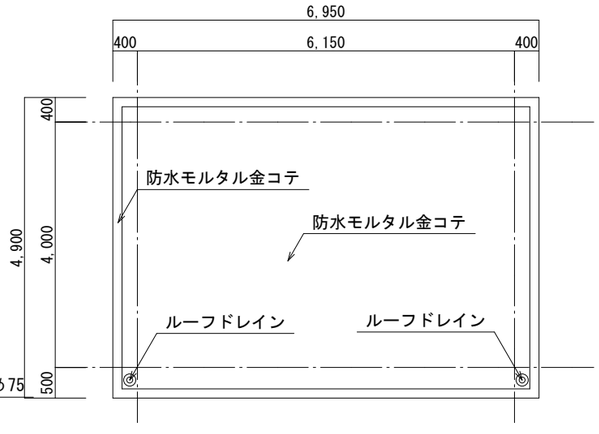
室　名	格納庫	CH:2800
床	コンクリート金こて	
巾　木	コンクリート打放し	
壁	コンクリートブロック化粧積み t=150	
天　井	コンクリート打放し	
備　考	木製棚（撤去）	
室　名	待機室	CH:2800
床	コンクリート金こて	
巾　木	タタミ寄せ	
壁	CB t＝150モルタル金コテの上EP塗	
天　井	コンクリート打放し	
備　考		

アスベスト含有場所及び撤去工法

外壁仕上材モルタルに含有
庇鼻仕上材モルタルに含有
待機室仕上材モルタルに含有
（仕上材モルタルにアスベスト（レベル３）を含有している）※
アスベスト撤去
　外壁・庇鼻・内壁アスベストは仕上材モルタルに含有しておりすべて撤去処分
　①隔離養生（負圧なし）を行う
　②湿潤化しながらモルタルをピック等にて破砕
　③破砕残しをサンダー掛け
　（プラスチックシート養生有り，負圧無し）
　※　アスベスト含有分析調査済み



平面図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100

凡例

蛍光灯

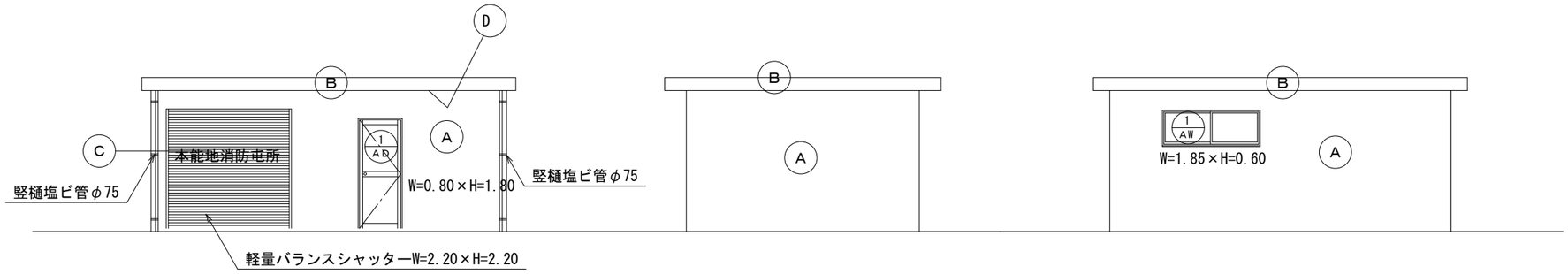
赤色灯

1 AD　1 AW　建具符号　アルミサッシ（片開き戸・引違窓）

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/100	消防屯所等解体工事	1/02	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （本能地格納庫）平面図、付近見取図、屋根伏図		A-4： 71%



西側立面図　S=1/100

南・北側立面図　S=1/100

東側立面図　S=1/100

外部仕上表

A	CBｔ＝150モルタル刷毛引きの上吹付材
B	モルタル刷毛引きの上吹付材
C	軽量バランスシャッター
D	コンクリート打放し

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.

DATE 2026.08.

CH. CH. DR.

SCALE 1/100

TITLE 消防屯所等解体工事

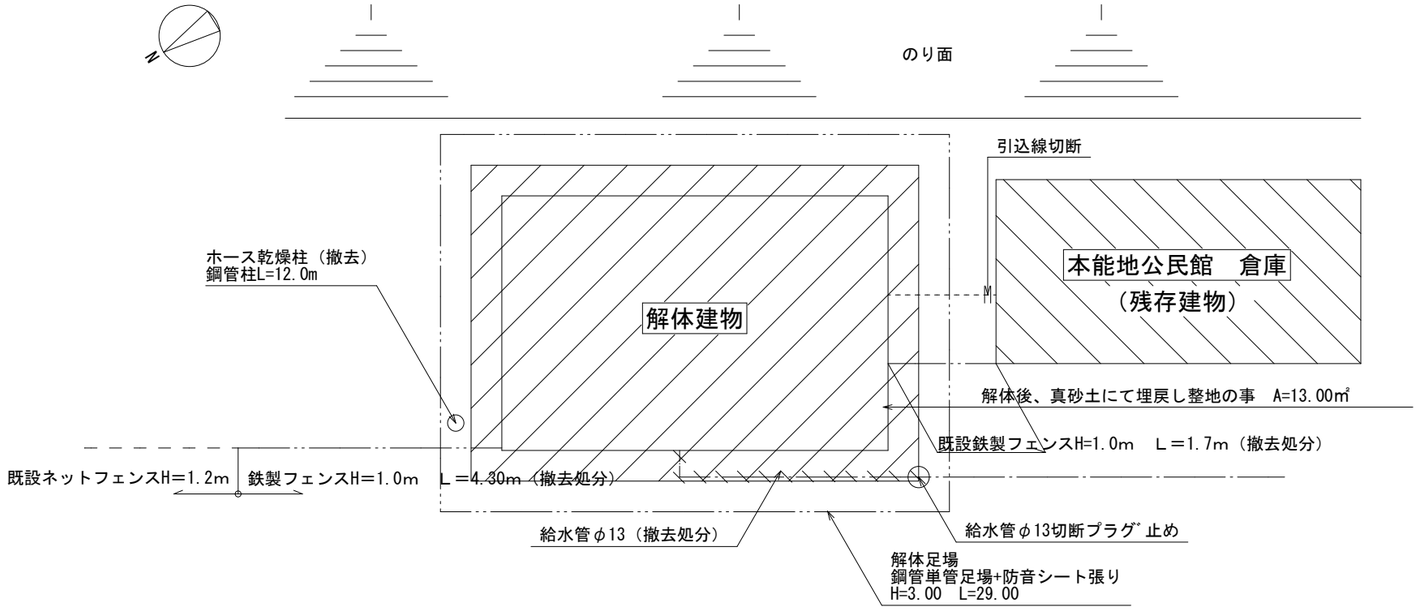
NAME （本能地格納庫）立面図

NO. 1 / 03

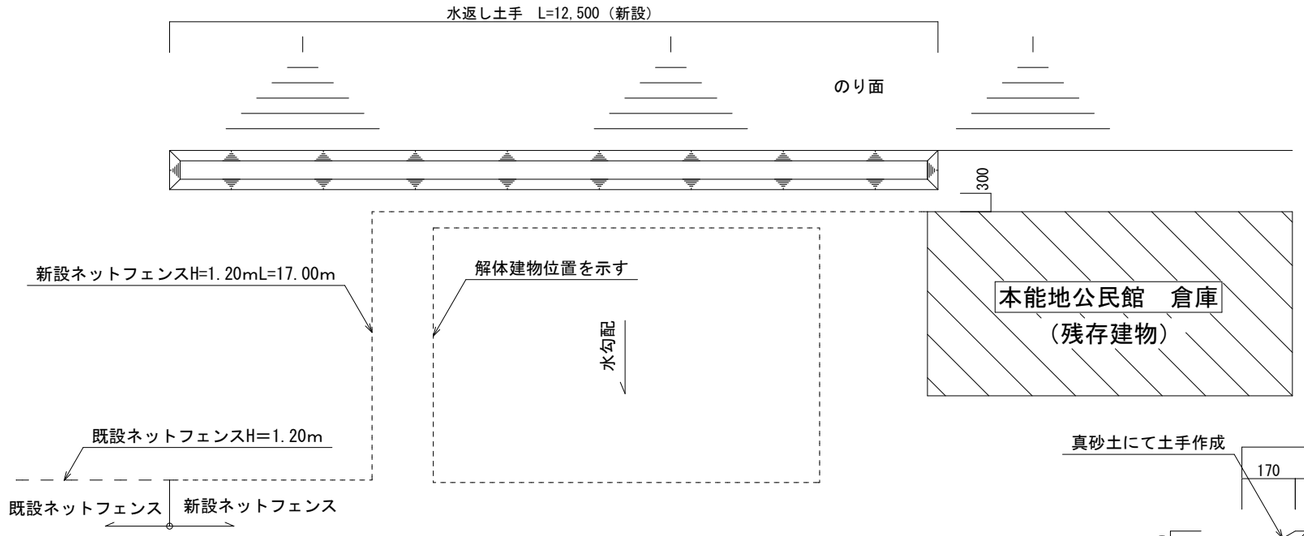
図面縮小率

A-3：100%

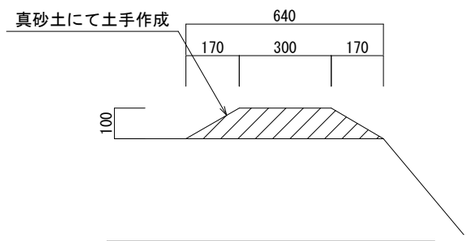
A-4：71%



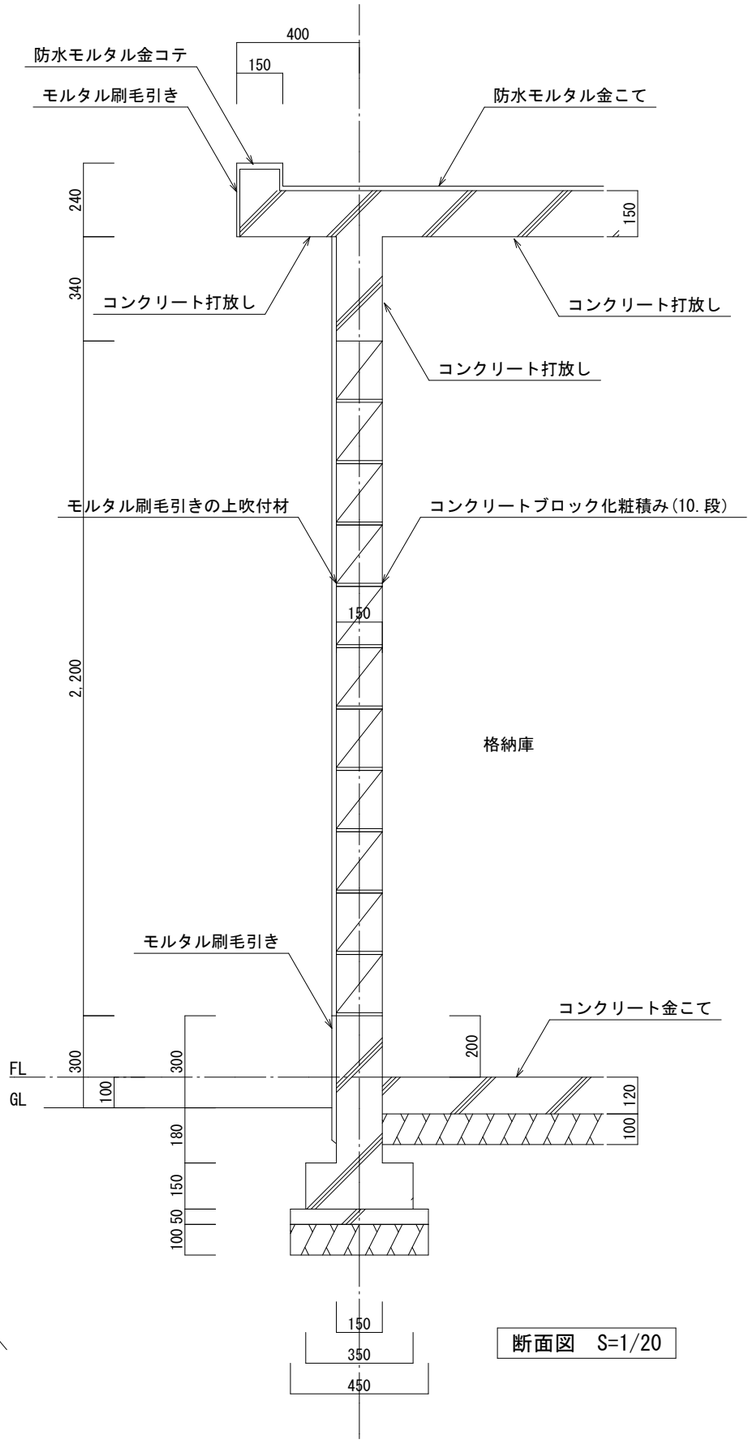
仮設計画図（参考図）・解体平面図　S=1/100



外構　平面図　S=1/100



水返し土手　断面図　S=1/20



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	1/100 1/20

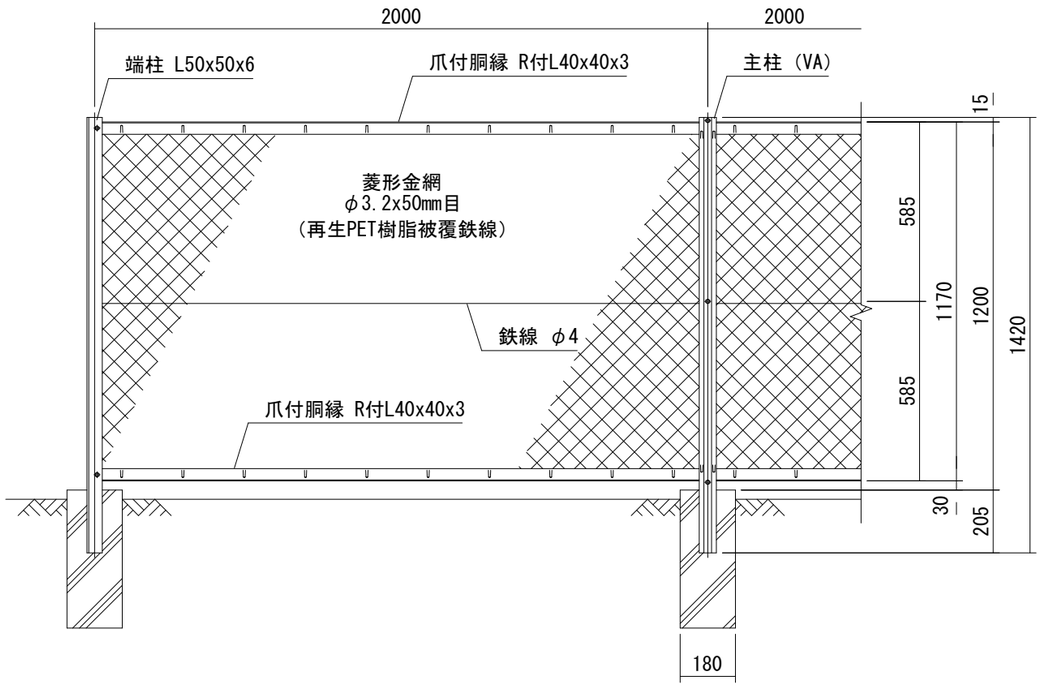
CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

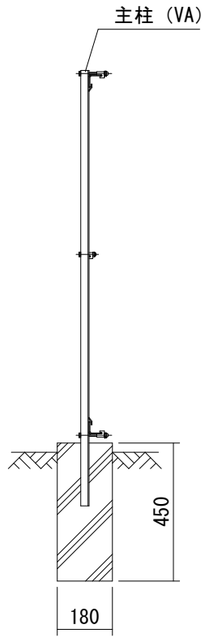
NAME　（本能地格納庫）仮設計画図（参考図）
解体平面図、外構平面図、断面図、水返し土手　断面図

NO. 1/04

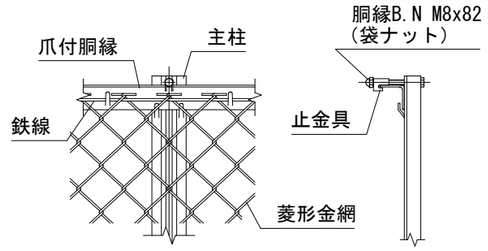
図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%



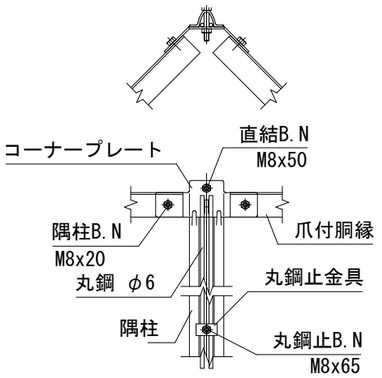
正　面　図
(S=1／20)



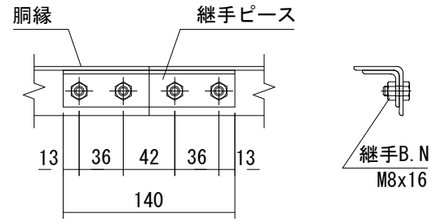
側　面　図
(S=1／20)



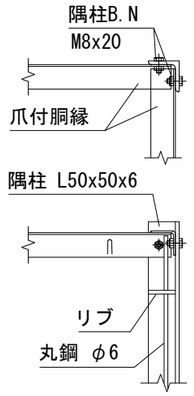
胴縁取付詳細



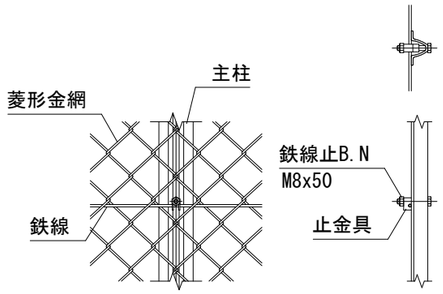
隅柱取付詳細



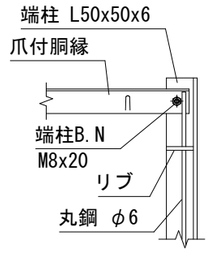
継手ピース取付詳細



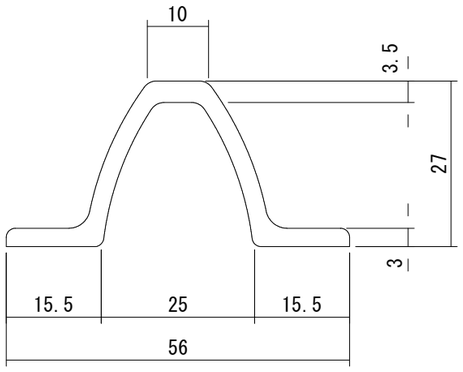
直角 隅柱取付詳細



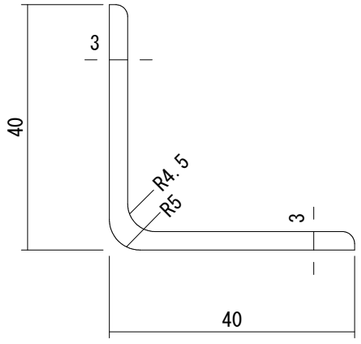
中間鉄線取付詳細



端柱取付詳細



主柱断面図 (VA)
(S=1/1)



胴縁断面図 (R付L40x40x3)
(S=1/1)

(仕　　様) 主要部材：ポリエステル樹脂静電粉体塗装
菱形金網：再生PET樹脂被覆鉄線
ＢＮ類　：溶融亜鉛めっき
(設計条件) 風荷重：昭和57年改正 建築基準法・同施行令に基づく風圧力に準拠。
(基礎条件) 長期許容地耐力98kN/m の場合。

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22 (1) 0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

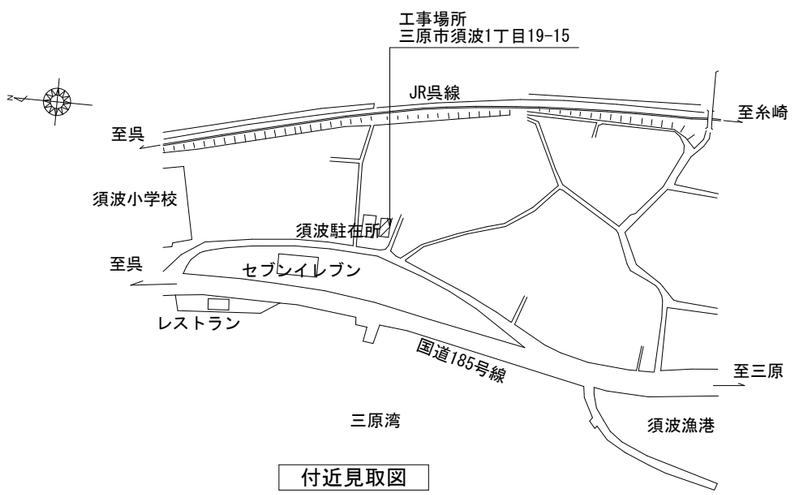
JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/20	消防屯所等解体工事	1	A-3：100%
CH. CH.	DR.	1/1	NAME (本能地格納庫) ネットフェンス詳細図	05	A-4： 71%

外部仕上表

屋　根	日本瓦葺き　　4寸勾配（4/10）（撤去処分）	樋	軒樋：塩ビφ105/2　　竪樋：塩ビパイプφ60（撤去処分）
	モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付（撤去処分）	便槽	FRP製便槽400リットル、臭突：塩ビパイプφ76（撤去処分）
外　壁	モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付（撤去処分）	乾燥柱	コンクリート製L=14.00m　最大径φ340（撤去処分）
根廻り	モルタル塗刷毛引仕上（撤去処分）		
建　具	住宅用アルミサッシュ、アルミドア（撤去処分） 軽量バランスシャッター（撤去処分）		

内部仕上表

階	室　名	床 仕上	巾木・腰 仕上	壁 仕上	天井 仕上	天井高	備考
1	車庫	コンクリート金コテ仕上げ	モルタル金コテ　H=200	ケイカル板ｔ＝6.0張りEP塗	ケイカル板ｔ＝6.0張りEP塗	2400	
	物入	同　上	同　上	同　上	同　上	2400	
	踏込	同　上	同　上	同　上	同　上	2400	
	トイレ	モザイクタイル張り	100角タイル張り　H=1350	同　上	同　上	2300	和式便器、小型手洗い器
2	階段	木製段板	木製方板	PBｔ=12.5下地ビニルクロス貼	ジプトーン張り	2400	
	ホール	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞｔ＝15	木製巾木H=60	同　上	同　上	2400	
	待機室	タタミ敷の上クッションマット敷	同　上	同　上	同　上	2400	エアコン室内機 換気扇φ200
	キッチン	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞｔ＝15	同　上	同　上	同　上	2400	流し台L=1800 換気扇φ200
	物入	合板ｔ＝5.5	雑巾摺	合板ｔ＝5.5	合板ｔ＝5.5	2400	



付近見取図

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	

CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

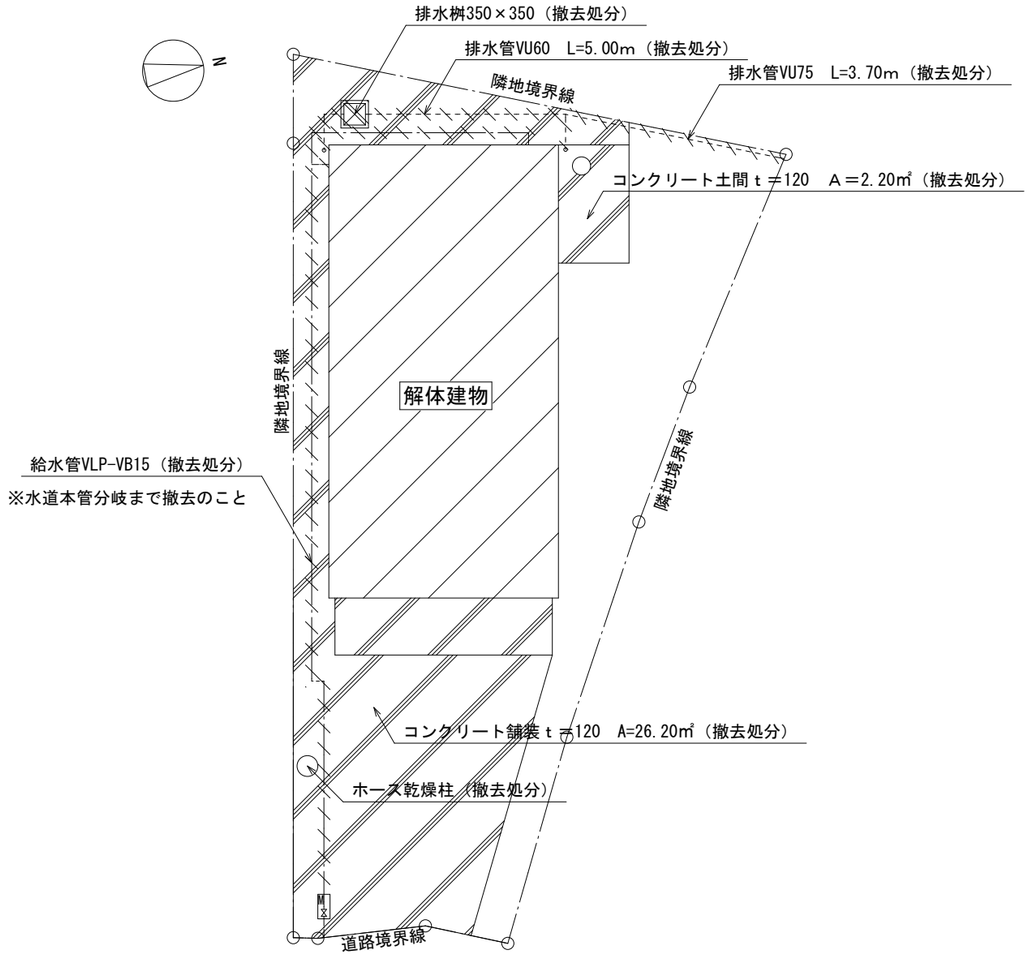
NAME　（須波分団屯所）付近見取図、外部・内部仕上表

NO. 2 / 01

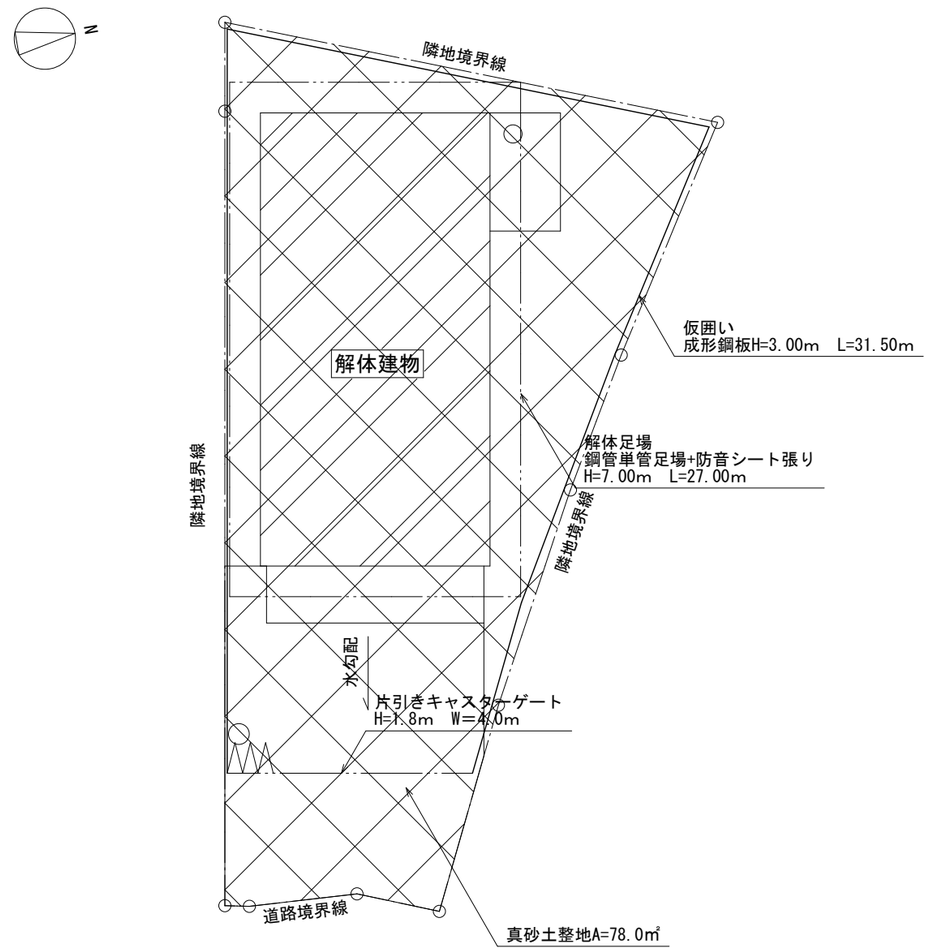
図面縮小率

A-3：100%

A-4：71%



配置図　S=1/100



仮設計画図（参考図）　S=1/100

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/100

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （須波分団屯所）配置図、仮設計画図（参考図）

NO. 2 / 02

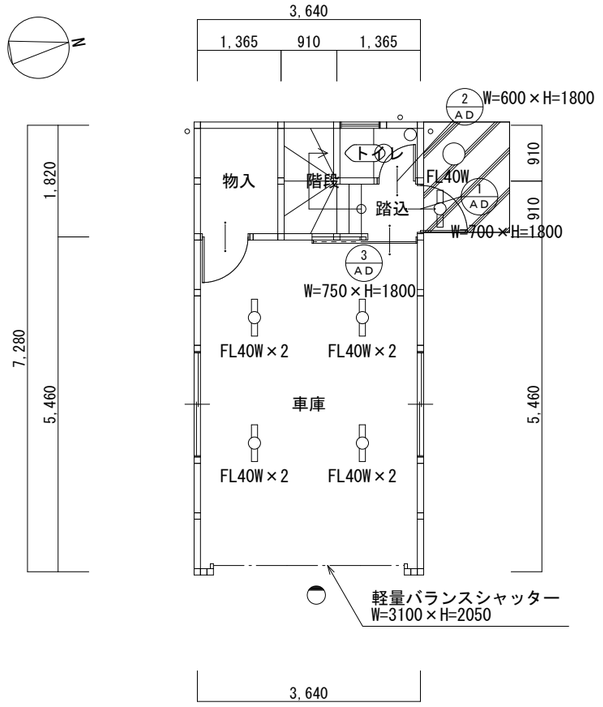
図面縮小率

A-3：100%

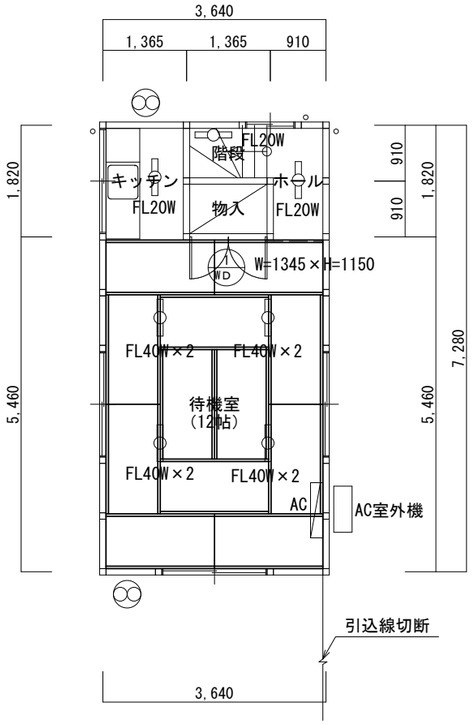
A-4：　71%

須波分団屯所　工事内容

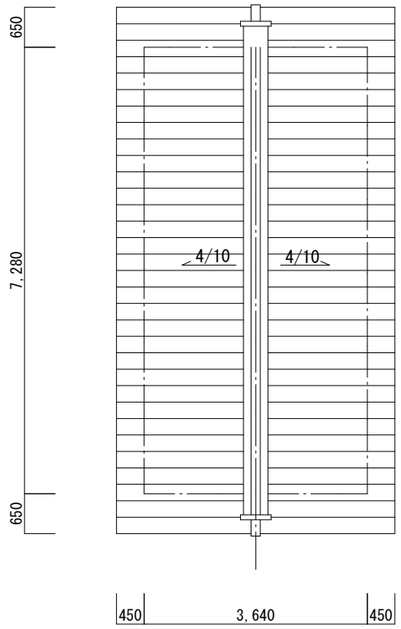
1.須波分団屯所（解体撤去処分）
2.乾燥柱（解体撤去処分）
3..真砂土整地



1階平面図　S=1/100



2階平面図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100

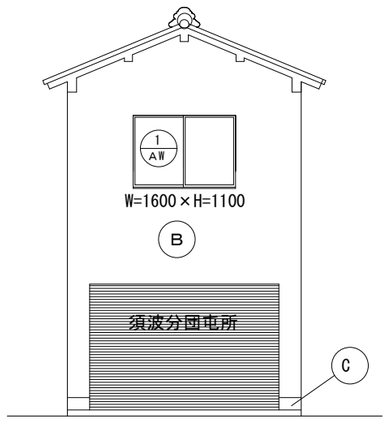
凡例

- 蛍光灯
- 赤色灯
- 白熱灯
- 1 AD　1 AW　建具符号　アルミサッシ（片開き戸・引違窓）

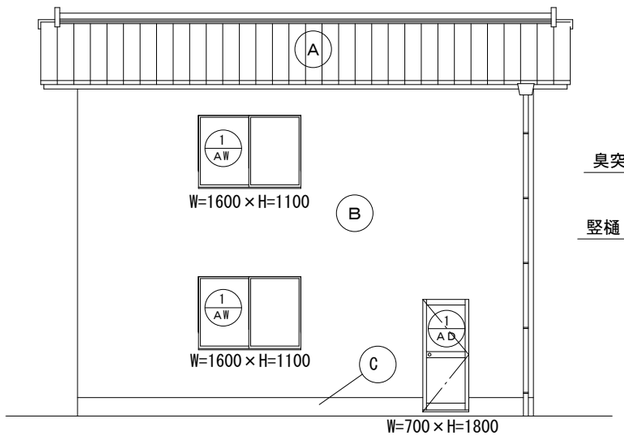
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

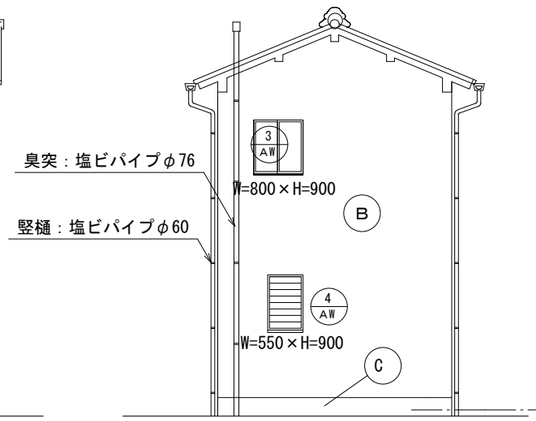
JOB NO.	DATE 2026.08.		SCALE 1/100	TITLE 消防屯所等解体工事	NO. 2/03	図面縮小率
CH.	CH.	DR.		NAME （須波分団屯所）平面図、屋根伏図		A-3：100%
						A-4： 71%



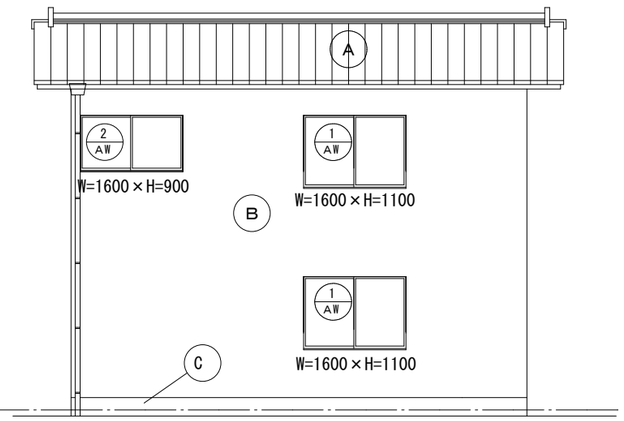
東側立面図　S=1/100



北側立面図　S=1/100



西側立面図　S=1/100



南側立面図　S=1/100

外部仕上表

A	和瓦葺き
B	モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付
C	モルタル刷毛引き
D	コンクリート打放し
	軽量バランスシャッター

特記事項	訂正事項

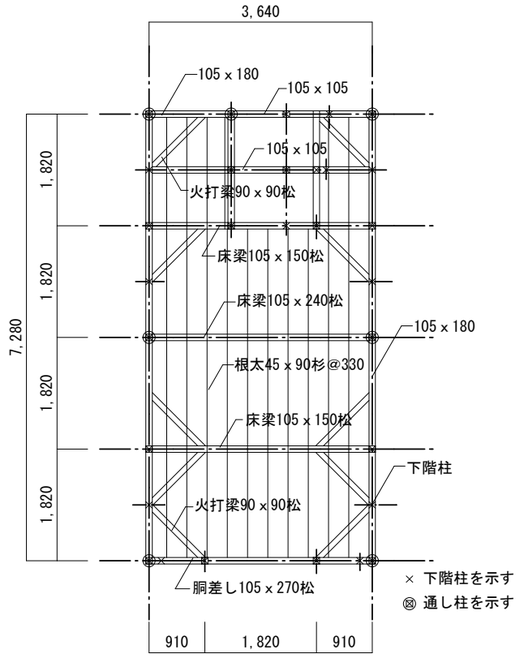
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	SCALE 1/100
CH.	CH. DR.	

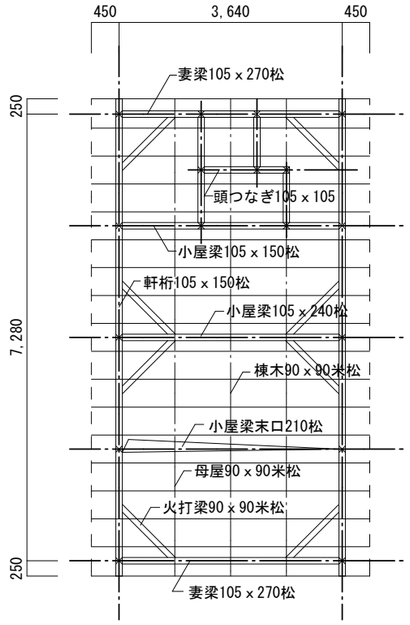
TITLE 消防屯所等解体工事
NAME （須波分団屯所）立面図

NO. 2/04

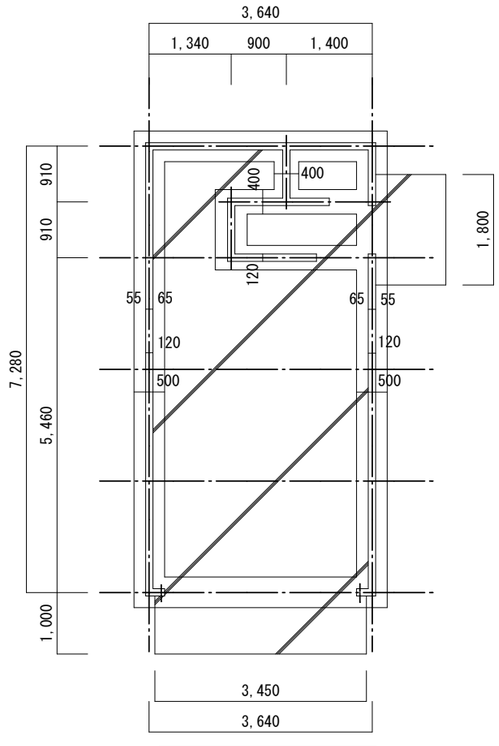
図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%



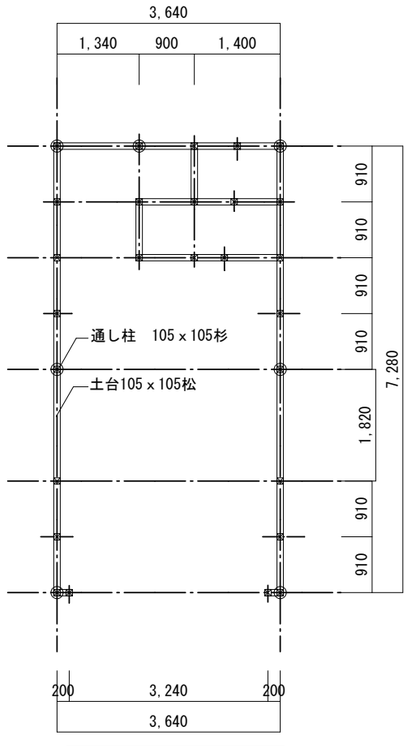
2階床伏図　S=1/100



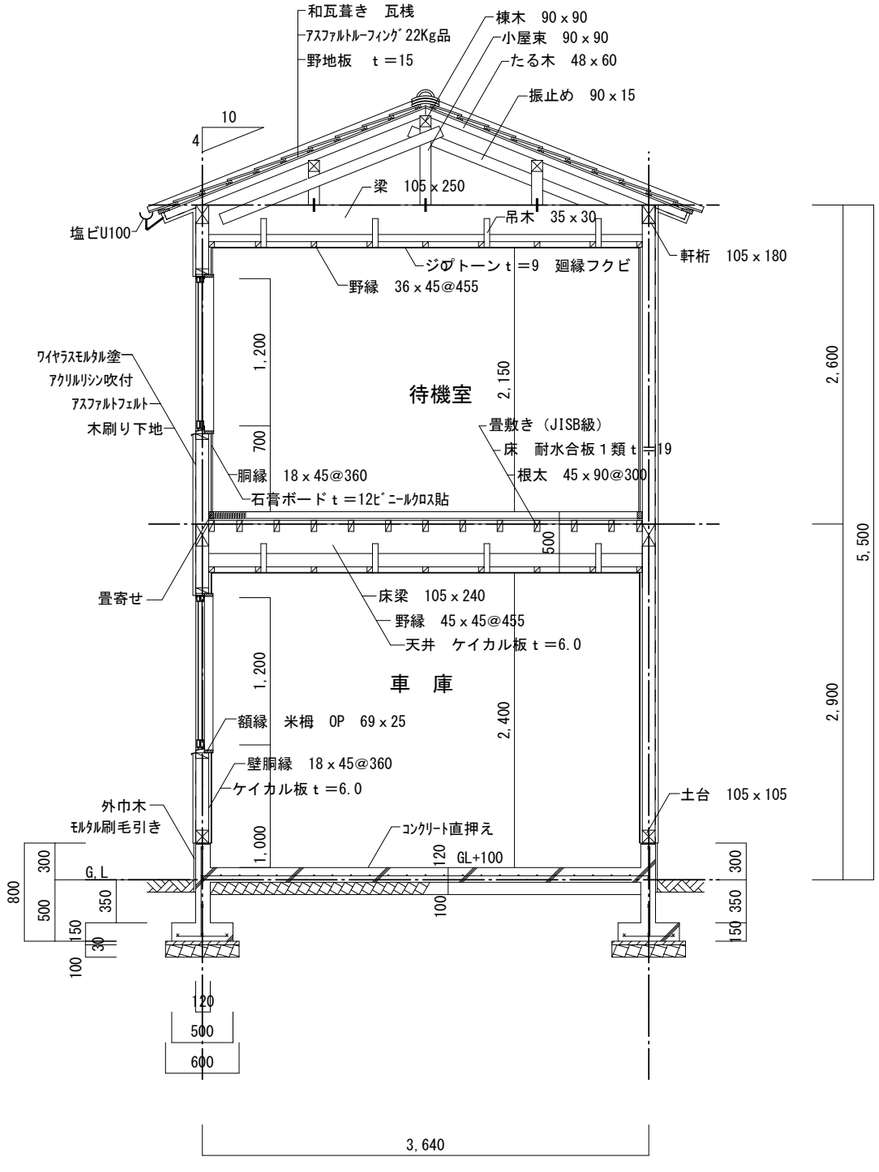
小屋伏図　S=1/100



基礎伏図　S=1/100



１階床伏図　S=1/100



矩計図　S=1/50

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

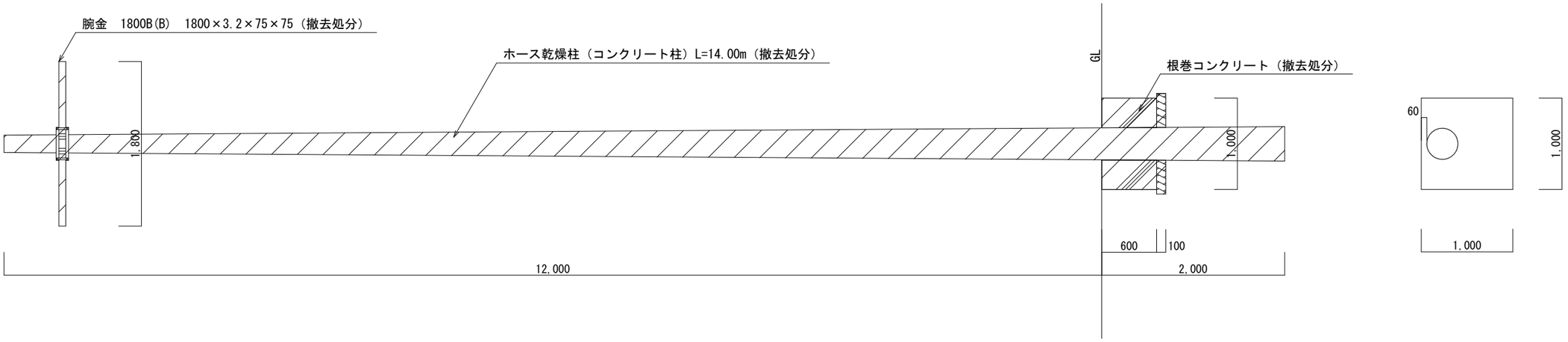
岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/100 1/50	消防屯所等解体工事 NAME （須波分団屯所）矩計図、各伏図	2 05	A-3：100% A-4：71%

CH.	CH.	DR.

ホース乾燥柱　取付詳細図　S=1/50



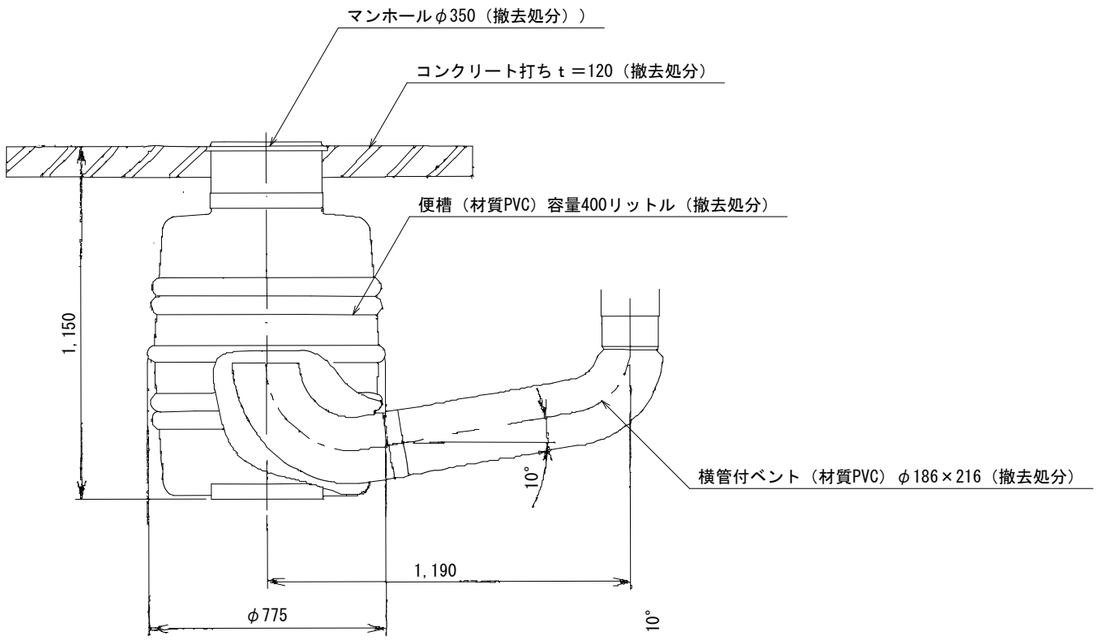
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2028.08.		SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
CH.	CH.	DR.	1/50	消防屯所等解体工事 NAME （須波分団屯所）ホース乾燥柱　詳細図	2 / 06	A-3：100% A-4：71%



便槽詳細図（参考図）　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

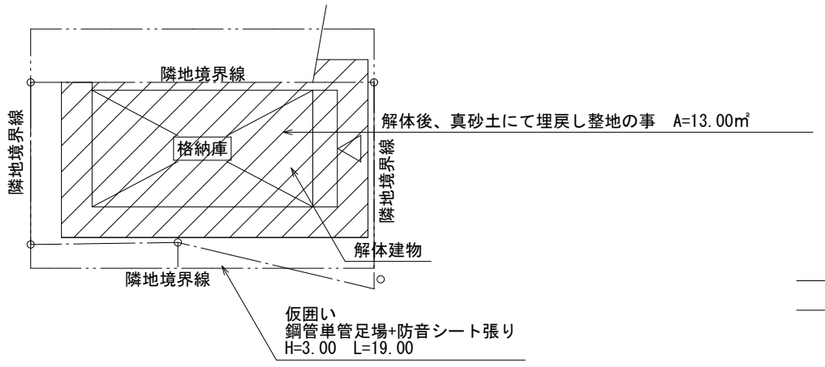
JOB NO.	DATE 2026.08.		SCALE 1/20	TITLE 消防屯所等解体工事	NO. 2／07	図面縮小率
CH.	CH.	DR.		NAME （須波分団屯所）便槽詳細図（参考図）		A-3：100%
						A-4： 71%

港口倉庫　工事内容

1. 港口倉庫（解体撤去処分）
2. 解体後真砂土整地

外部仕上表

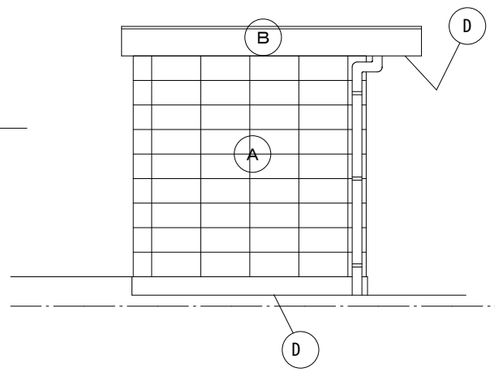
A	コンクリートブロック化粧積み
B	モルタル刷毛引き
C	軽量バランスシャッター
D	コンクリート打放し



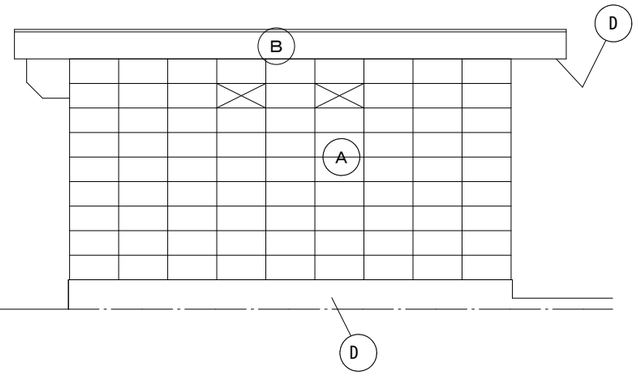
配置図　S=1/100

※ガードフェンスH=1,8mにより工事範囲を区画すること。（30mを見込んでいる。）

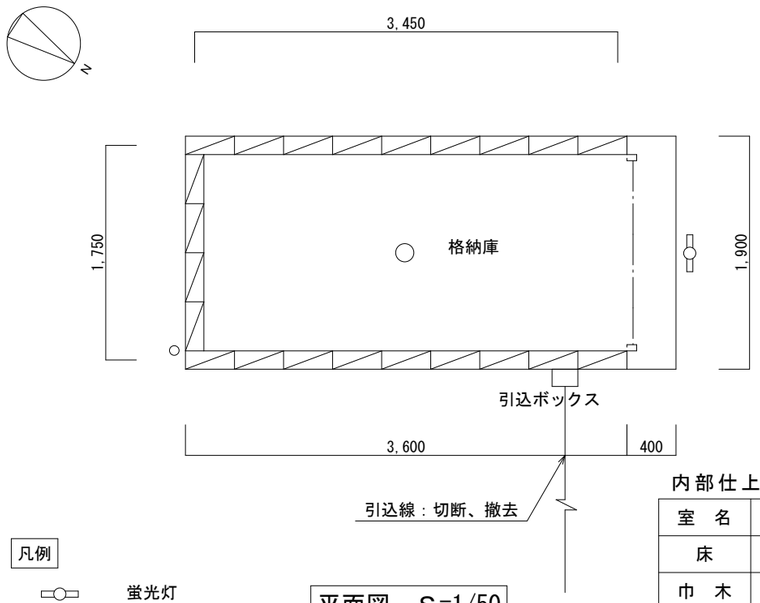
仮設計画図（参考図）　S=1/100



西側立面図　S=1/50



北側立面図　S=1/50



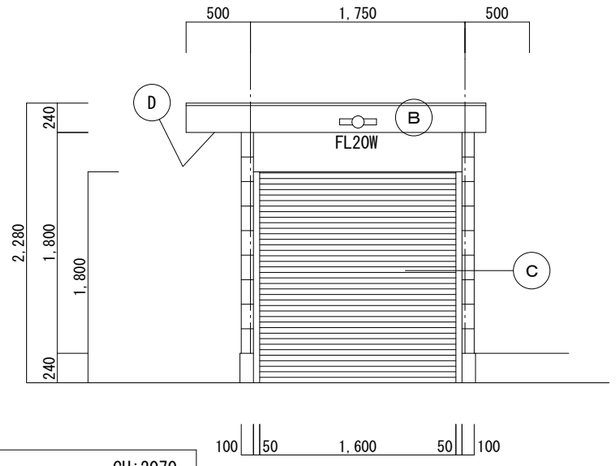
凡例

蛍光灯

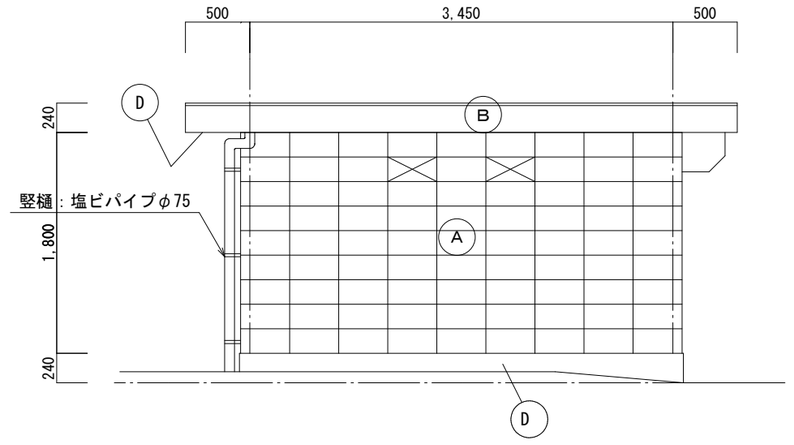
白熱灯 天井付

SS　建具符号　軽量バランスシャッター

平面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



南側立面図　S=1/50

内部仕上表

室　名	格納庫	CH:2070
床	コンクリート金こて	
巾　木	コンクリート打放し	
壁	コンクリートブロック化粧積み t=150	
天　井	コンクリート打放し	
備　考		

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/50 1/100

TITLE 消防屯所等解体工事

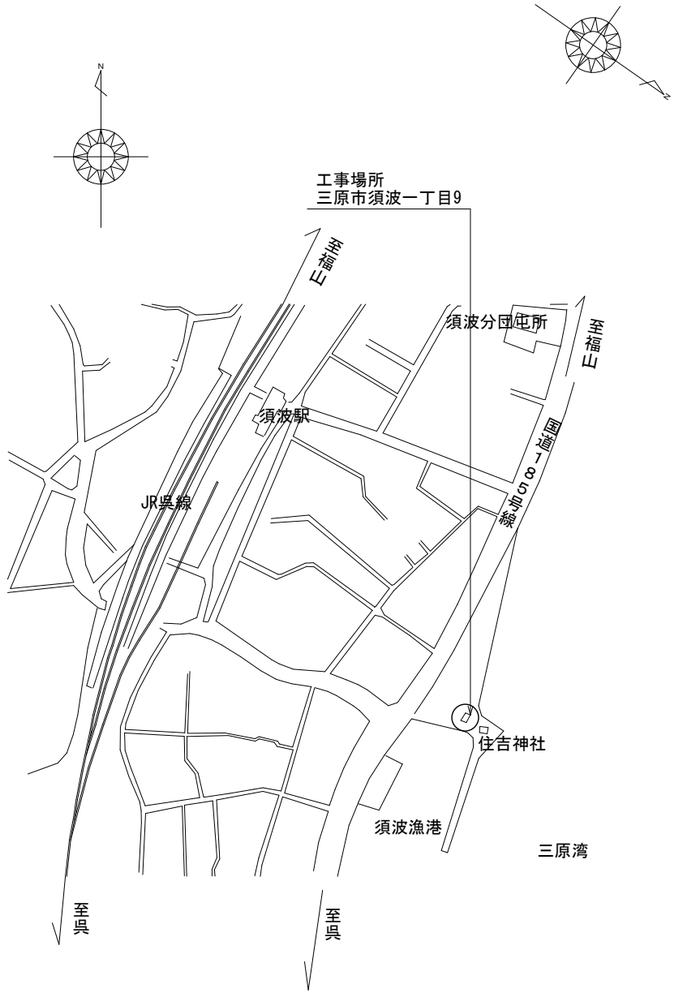
NAME （港口倉庫）平面図、立面図、配置図 仮設計画図（参考図）

NO. 3 / 01

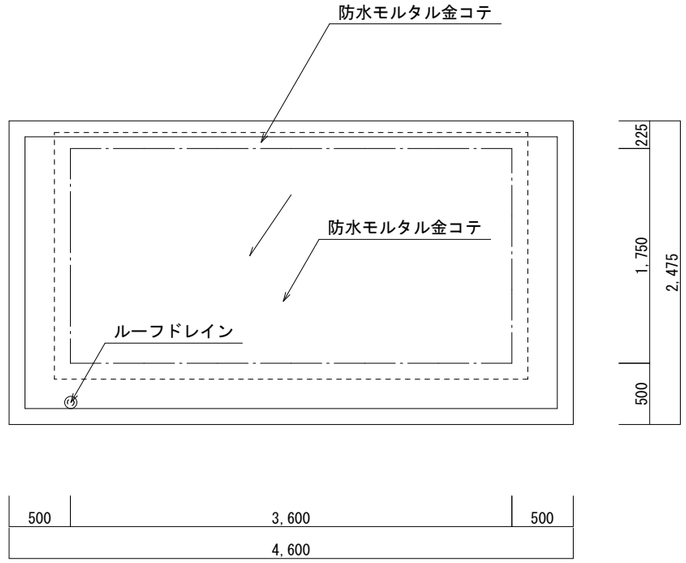
図面縮小率

A-3：100%

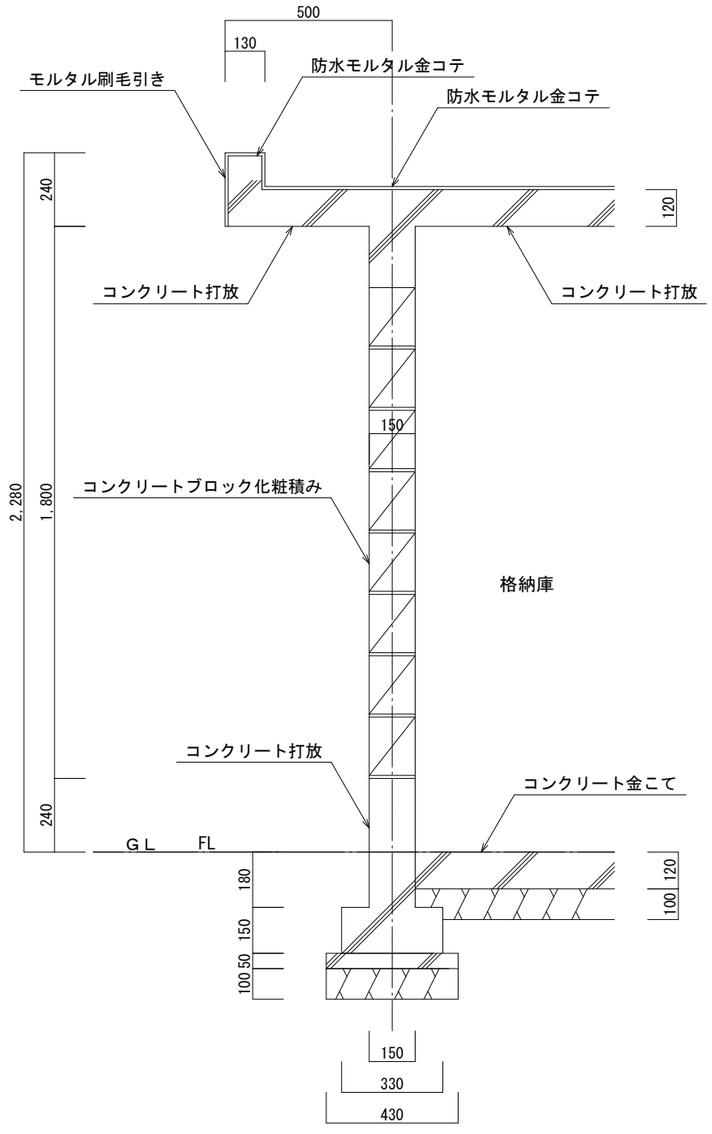
A-4：71%



付近見取図



屋根伏図　S=1/50



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2023.03.	1/50 1/20	消防屯所等解体工事	3 / 02	A-3：100% A-4：71%
CH. CH. DR.			NAME （港口倉庫）付近見取図、屋根伏図、断面図		

須波西倉庫、ホース乾燥柱　工事内容

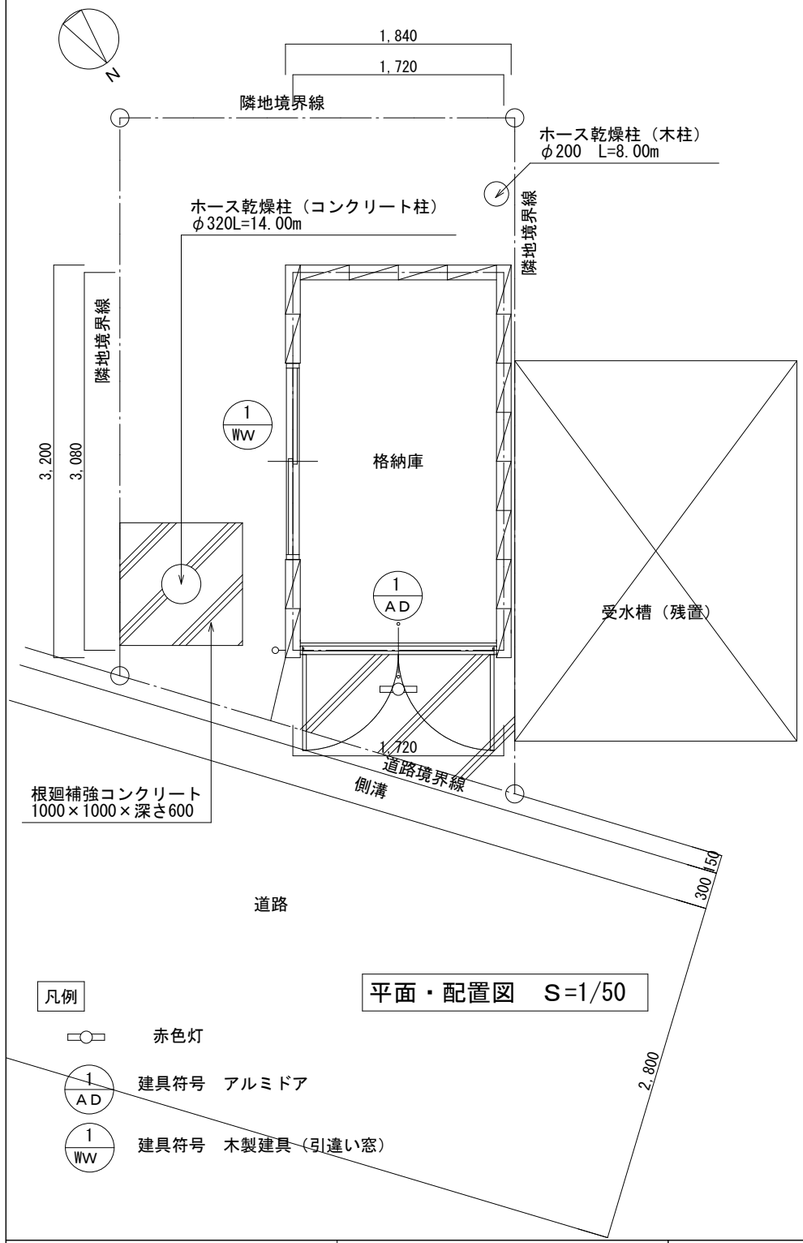
1. 須波西倉庫（解体撤去処分）
2. ホース乾燥柱（コンクリート柱）（GL-300まで撤去処分）
3. ホース乾燥柱（木柱）（撤去処分）
4. 真砂土整地・のり面作成

内部仕上表

室　名	格納庫	CH2100
床	コンクリート金こて	
巾　木		
壁	コンクリートブロック化粧積み t=120	
天　井	コンクリート打放し	
備　考		

外部仕上表

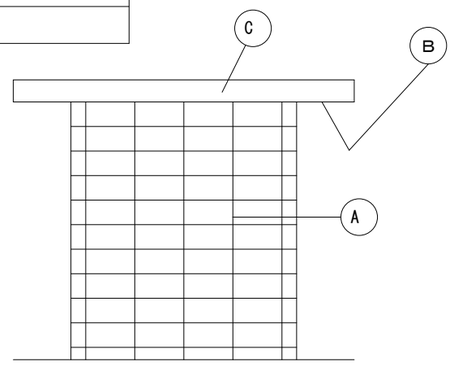
A	コンクリートブロック化粧積
B	コンクリートリ打放
C	モルタル刷毛引き
D	アルミドア
E	木製建具



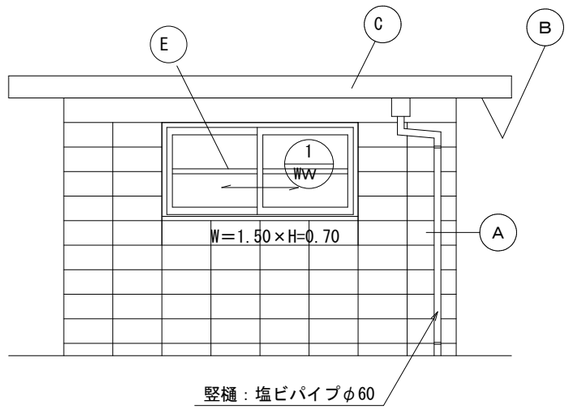
平面・配置図　S=1/50

凡例

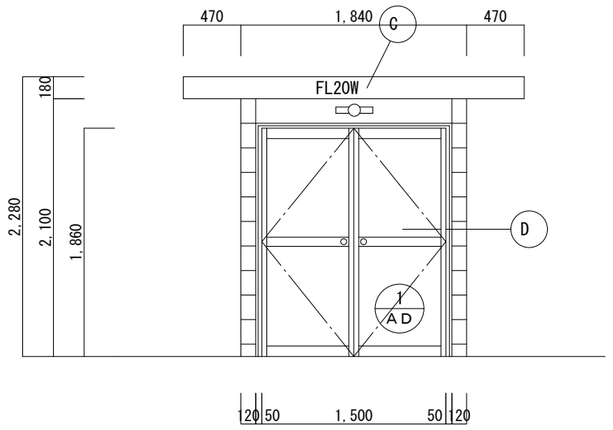
- 赤色灯
- 1/AD　建具符号　アルミドア
- 1/WW　建具符号　木製建具（引違い窓）



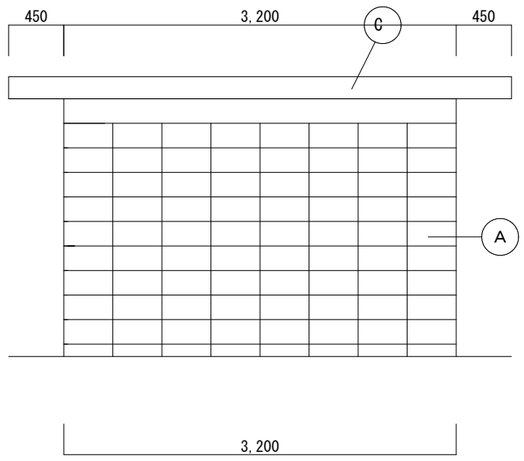
南側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



北側立面図　S=1/50

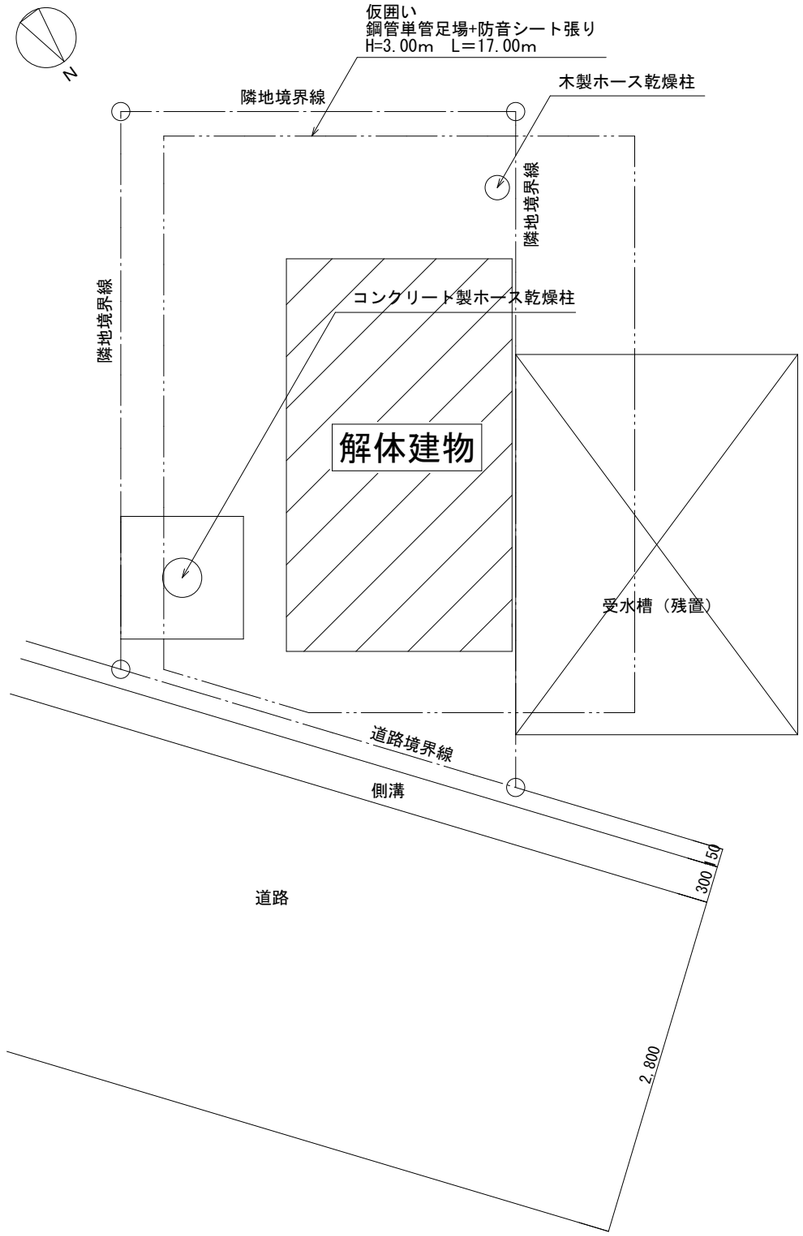


西側立面図　S=1/50

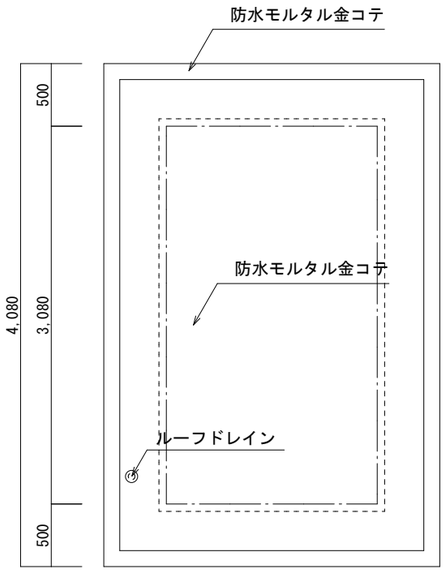
特記事項	訂正事項

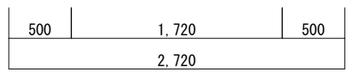
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50	消防屯所等解体工事	4/01	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （須波西倉庫）平面図、立面図		A-4：71%

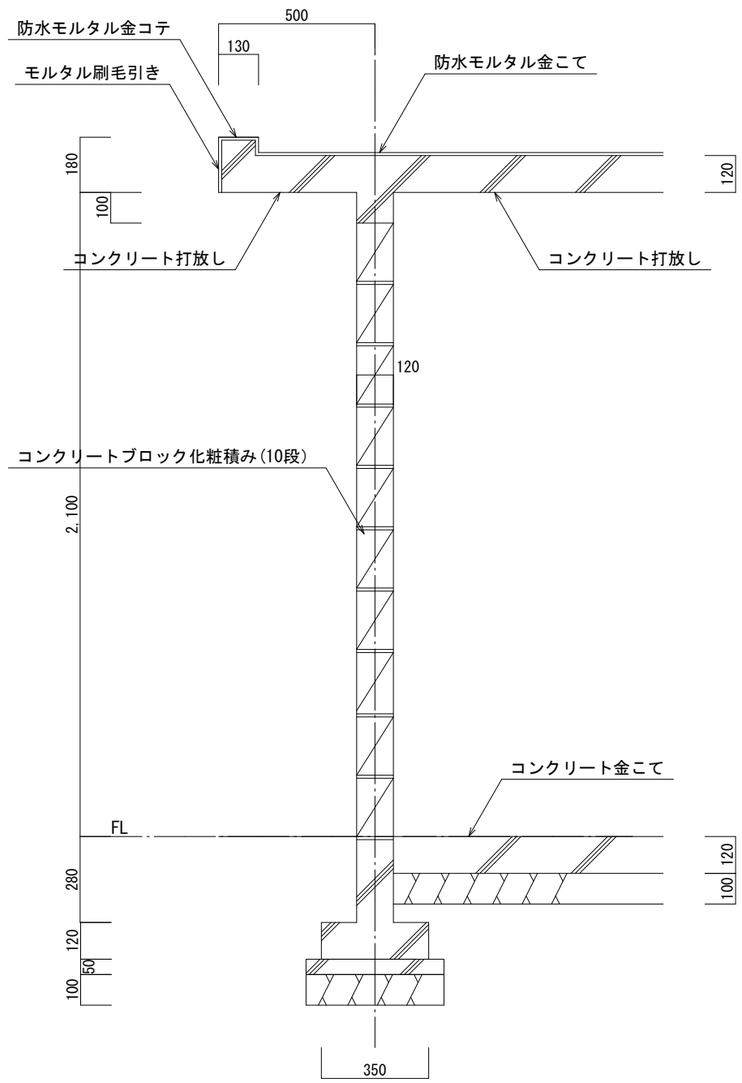


仮設配置図（参考図）　S=1/50





屋根伏図　S=1/50



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	1/50 1/20

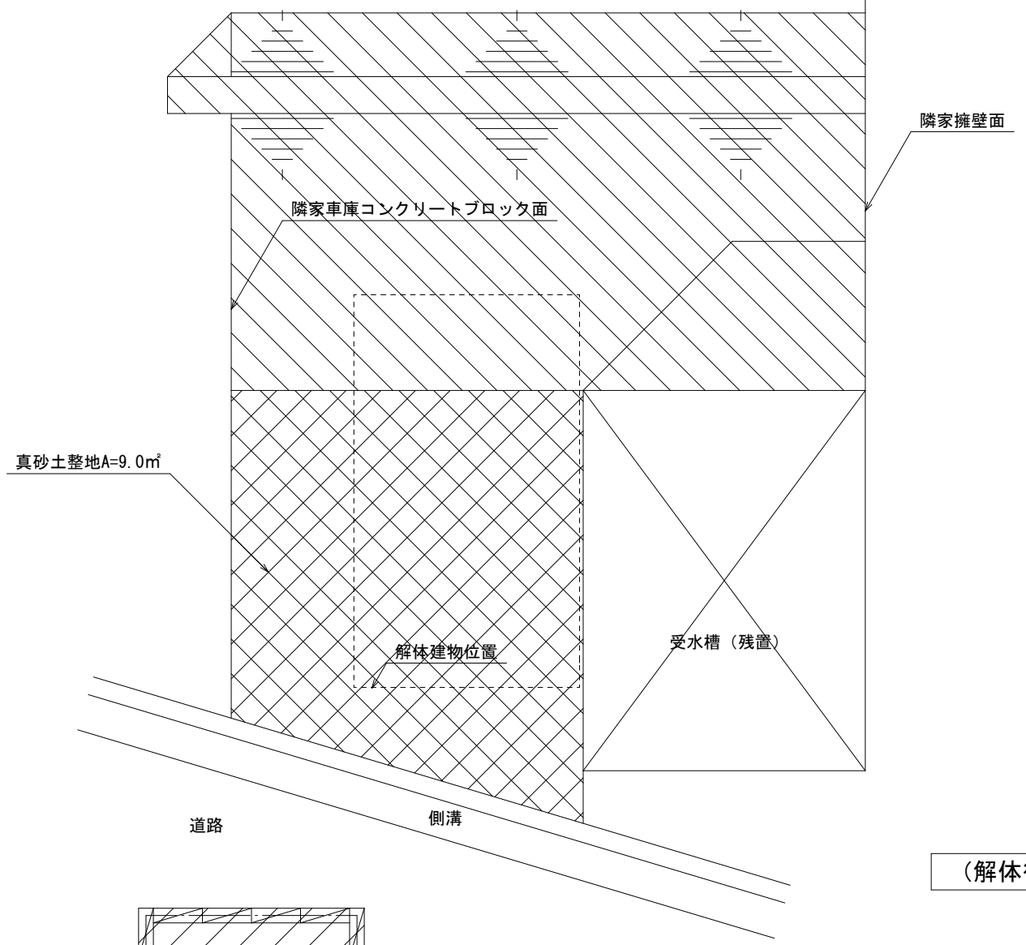
CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

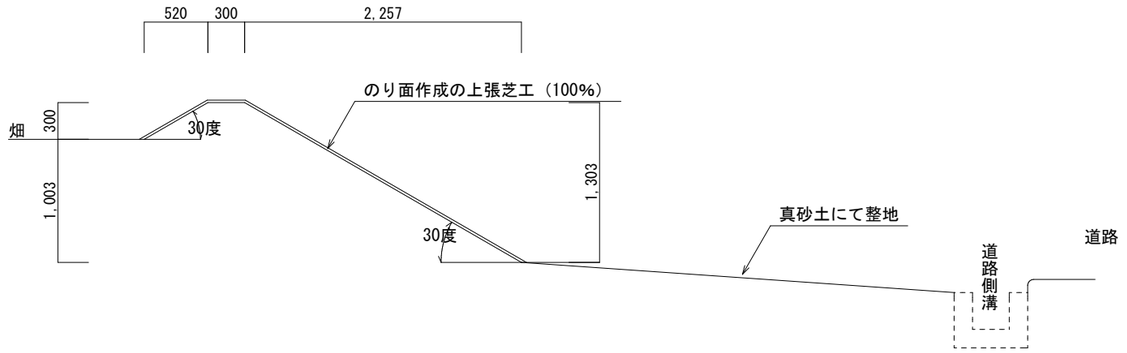
NAME　（須波西倉庫）仮設配置図（参考図）、屋根伏図
断面図

NO. 4 / 02

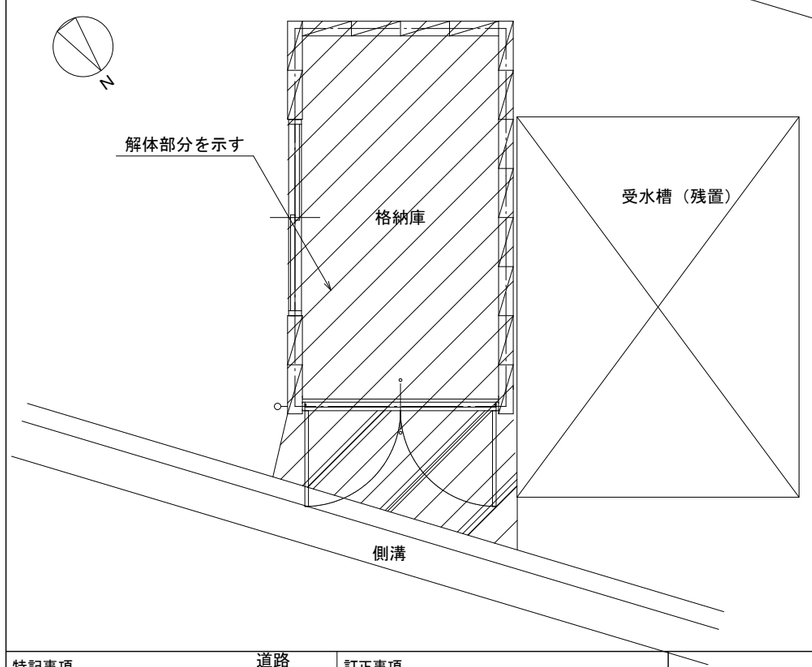
図面縮小率
A-3：100%
A-4：　71%



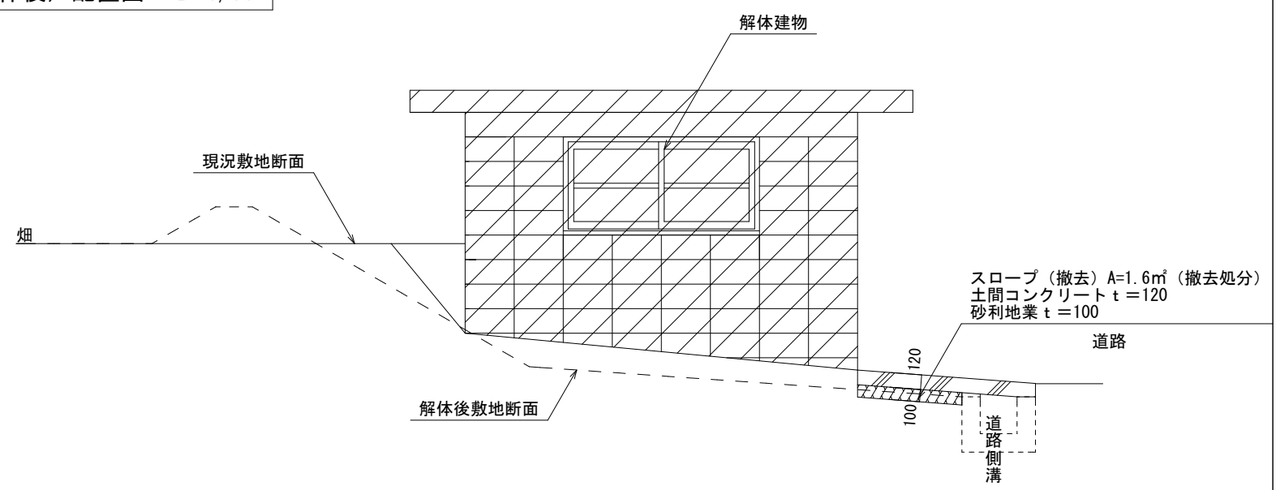
（解体後）配置図　S=1/50



（改修後）断面図　S=1/50



（解体前）平面・配置図　S=1/50



（現況）西側断面図　S=1/50

特記事項	訂正事項
道路	

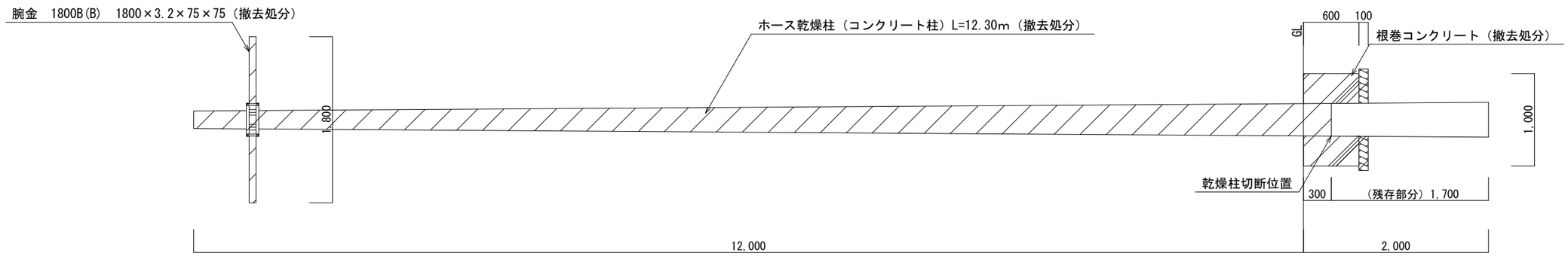
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

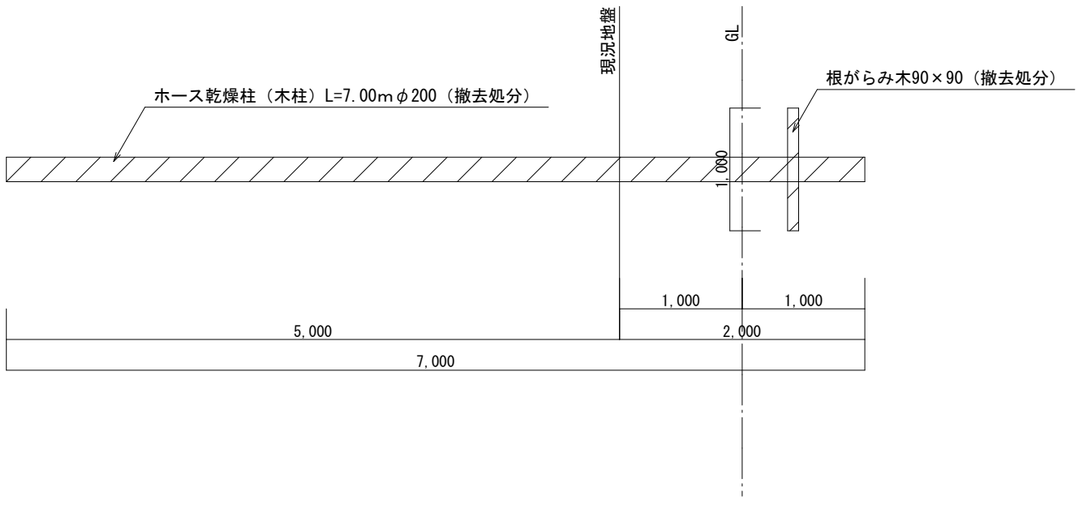
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50	消防屯所等解体工事	4 / 03	A-3：100%
CH. CH.	DR.		NAME （須波西倉庫）（解体前後）平面図、断面図		A-4： 71%

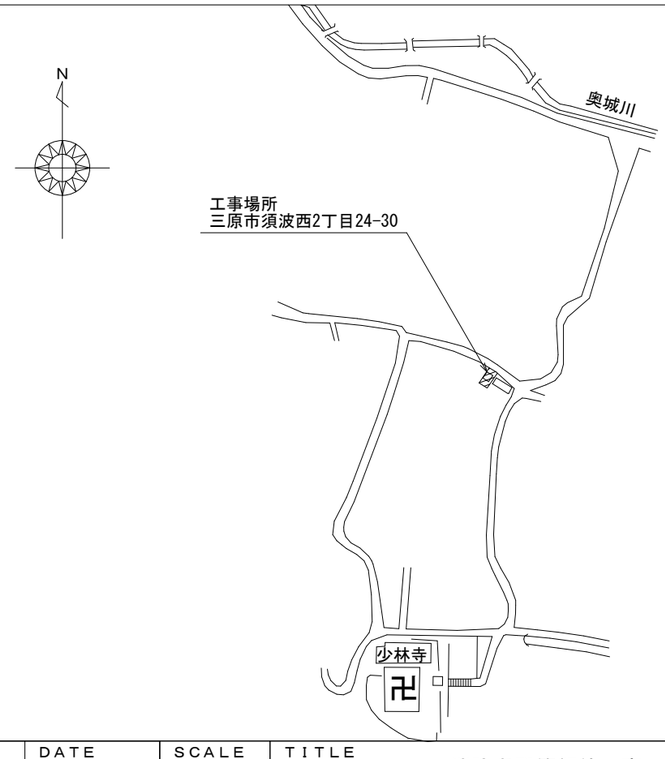
ホース乾燥柱（コンクリート柱）　詳細図　S=1/50



ホース乾燥柱（木柱）　詳細図　S=1/50



付近見取図



特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50	消防屯所等解体工事	4 / 04	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （須波西倉庫）ホース乾燥柱　詳細図、付近見取図		A-4：71%

沖浦格納庫　工事内容

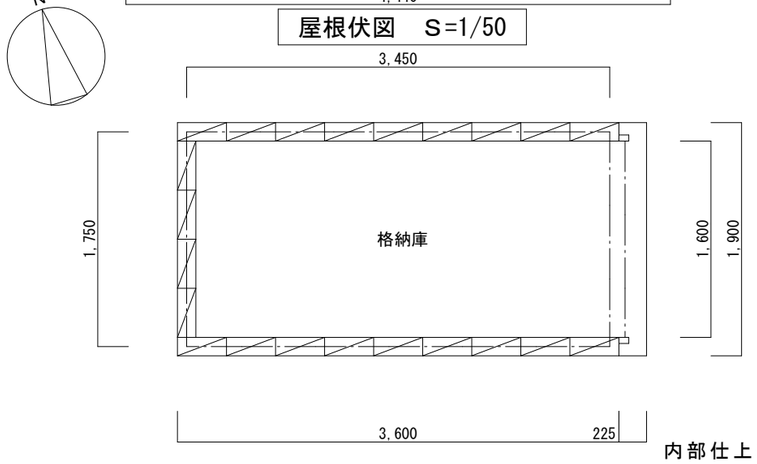
1. 沖浦格納庫（解体撤去処分）
2. 解体後真砂土整地

外部仕上表

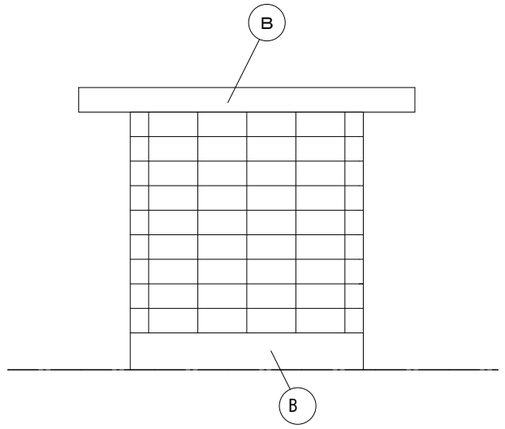
A	コンクリートブロック化粧積み
B	コンクリート打放し
C	軽量バランスシャッター



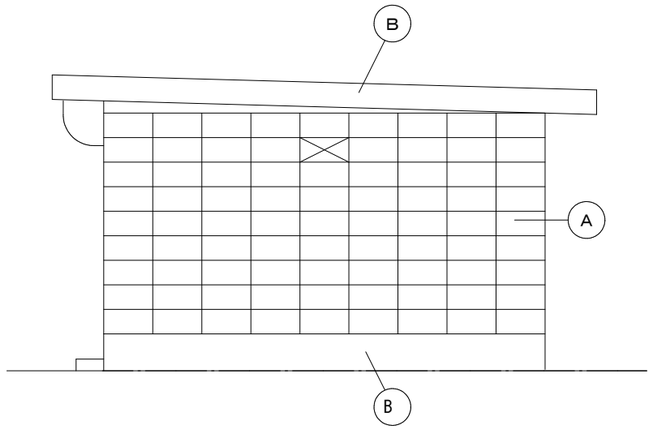
屋根伏図　S=1/50



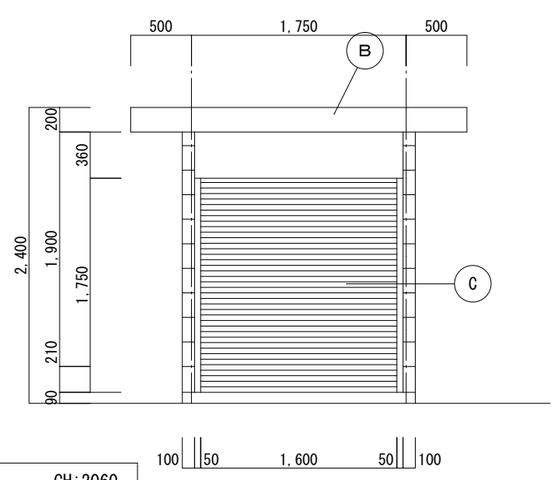
平面図　S=1/50



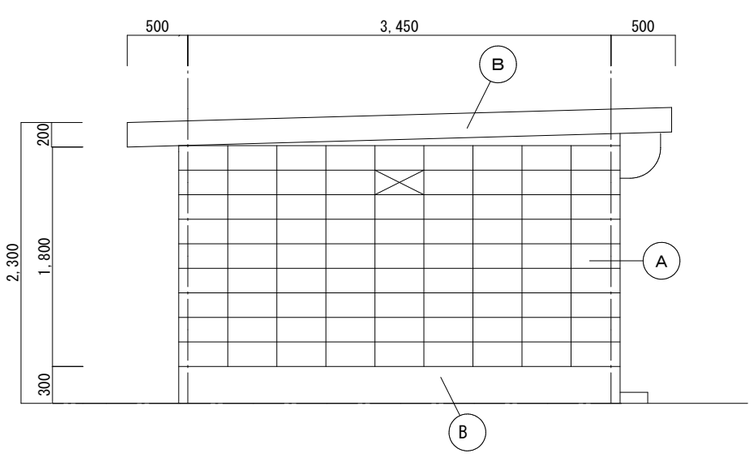
西側立面図　S=1/50



北側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



南側立面図　S=1/50

内部仕上表

室　名	格納庫　CH:2060
床	コンクリート金こて
巾　木	コンクリート打放し
壁	コンクリートブロック化粧積み t=150
天　井	コンクリート打放し
備　考	

凡例

SS　建具符号　軽量バランスシャッター

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	1/50

CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

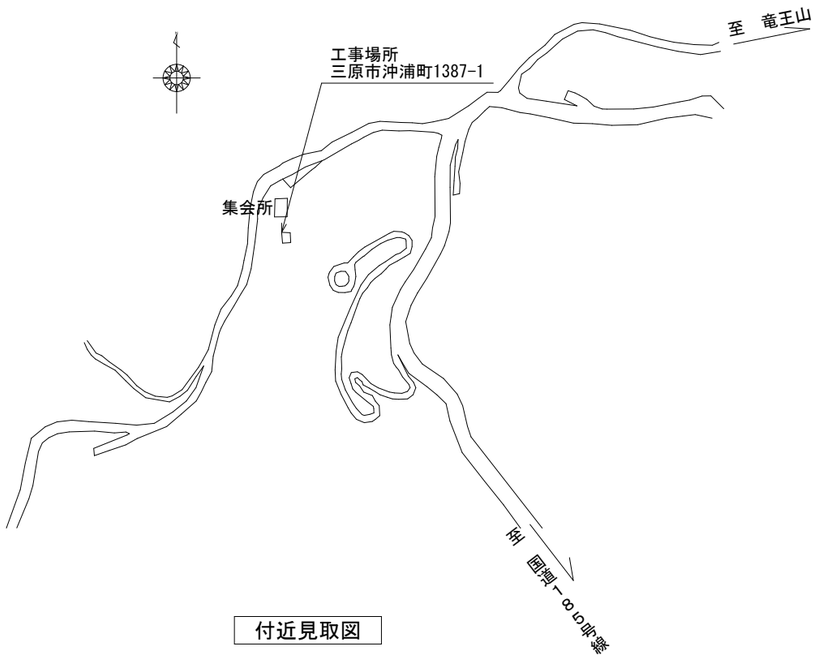
NAME　（沖浦格納庫）平面図、立面図、屋根伏図

NO. 5 / 01

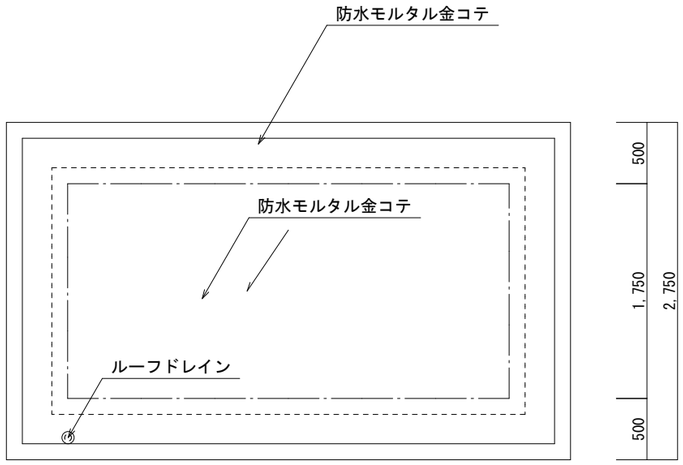
図面縮小率

A-3：100%

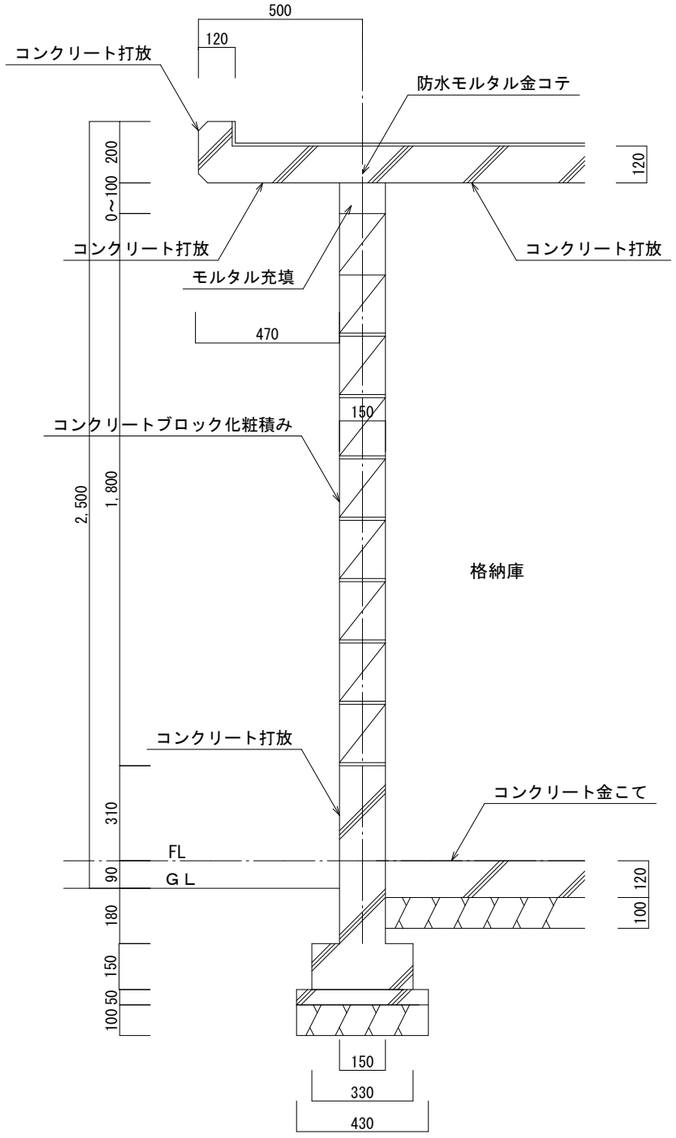
A-4：71%



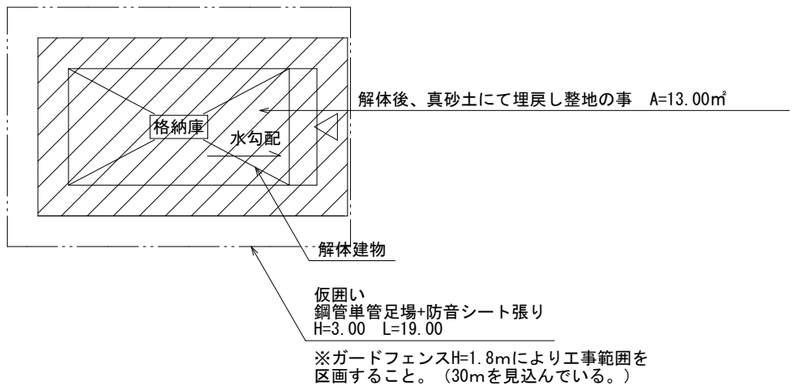
付近見取図



屋根伏図　S=1/50



断面図　S=1/20



仮設計画図（参考図）　S=1/100

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2023.03.	1/100 1/50 1/20
CH. CH. DR.		

TITLE　消防屯所等解体工事

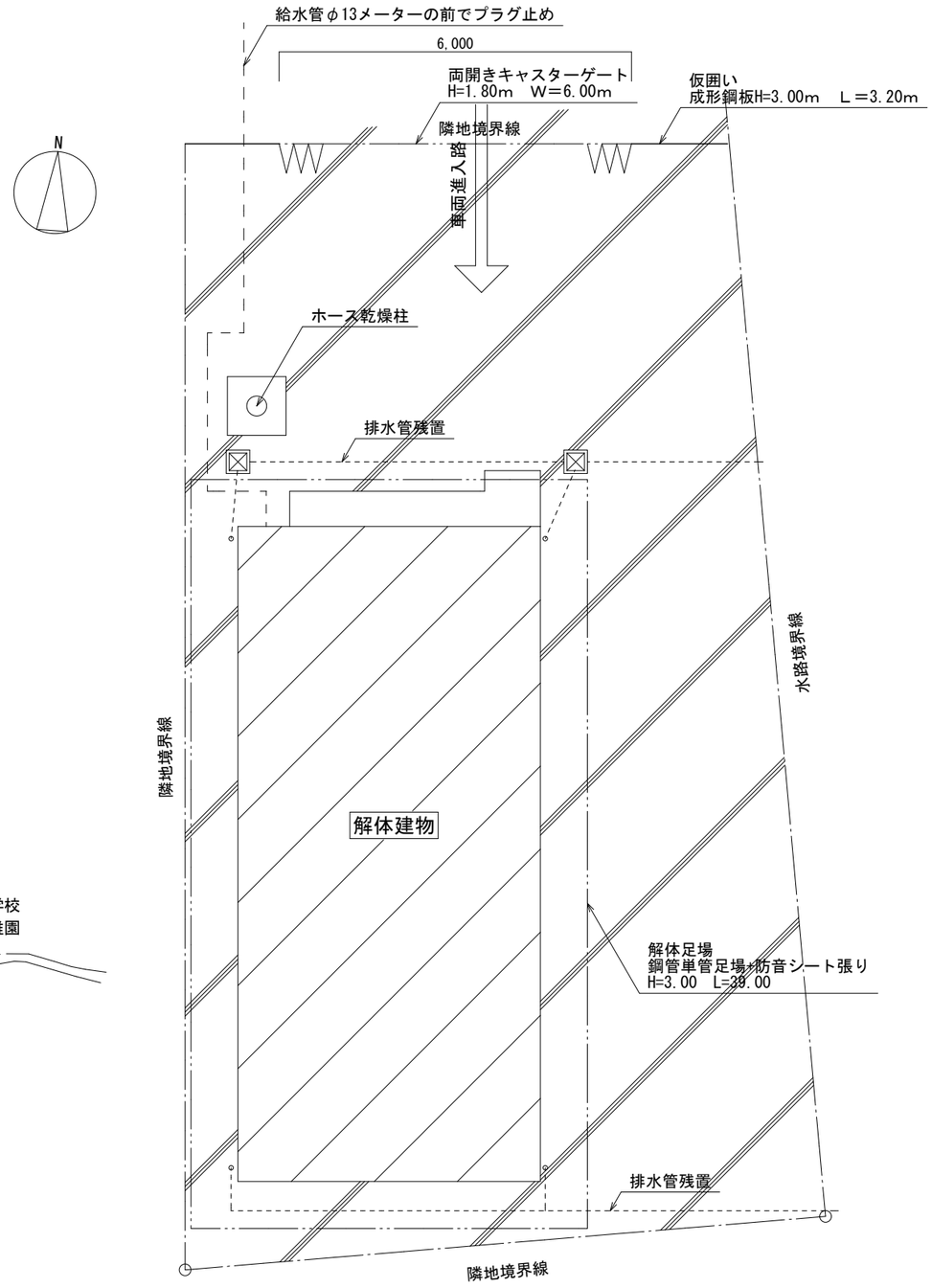
NAME　（沖浦格納庫）仮設計画図（参考図）
付近見取図、屋根伏図、断面図

NO. 5 / 02

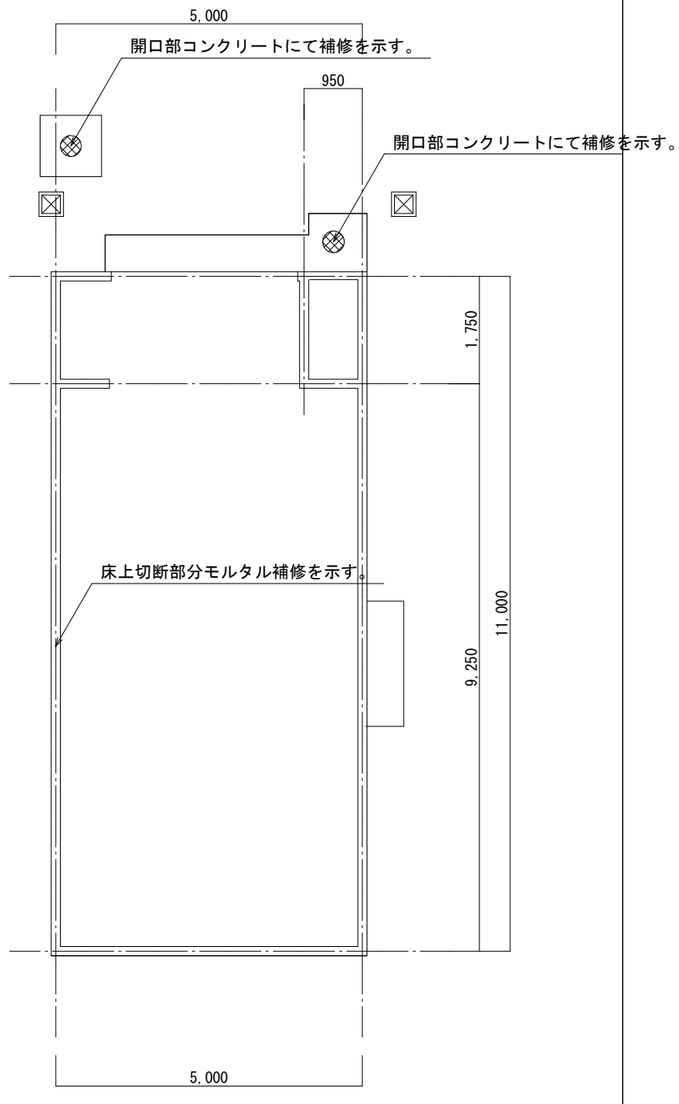
図面縮小率
A-3：100%
A-4：　71%



付近見取図



仮設計画図（参考図）　S=1/100



解体後床補修平面図　S=1/100

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	1/100

CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

NAME　（沼田西分団屯所）付近見取図
仮設計画図（参考図）、解体後床補修平面図

NO. 6/01

図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%

内部仕上表

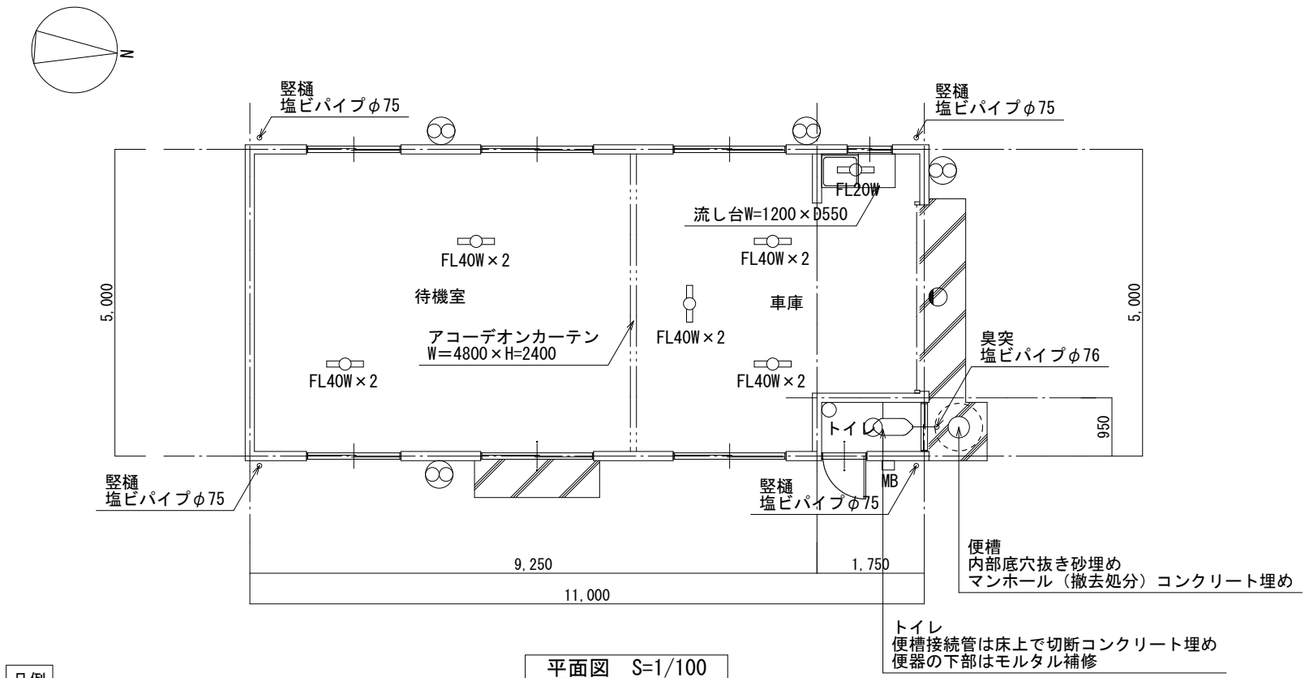
室　名	格納庫・台所・待機室	CH:2400
床	コンクリート金コテの上塗床	
巾　木	モルタル金コテの上塗材	
壁	CBｔ＝150モルタル金コテの上EP塗	
天　井	ジプトーン	
備　考	流し台（撤去）	
室　名	トイレ	CH:2300
床	モルタル金コテ	
巾木・腰	モルタル金コテH=1000	
壁	CBｔ＝150モルタル金コテの上EP塗	
天　井	ジプトーン	
備　考	和風便器・小型手洗い器（撤去）	

沼田西分団屯所　ホース乾燥柱　工事内容

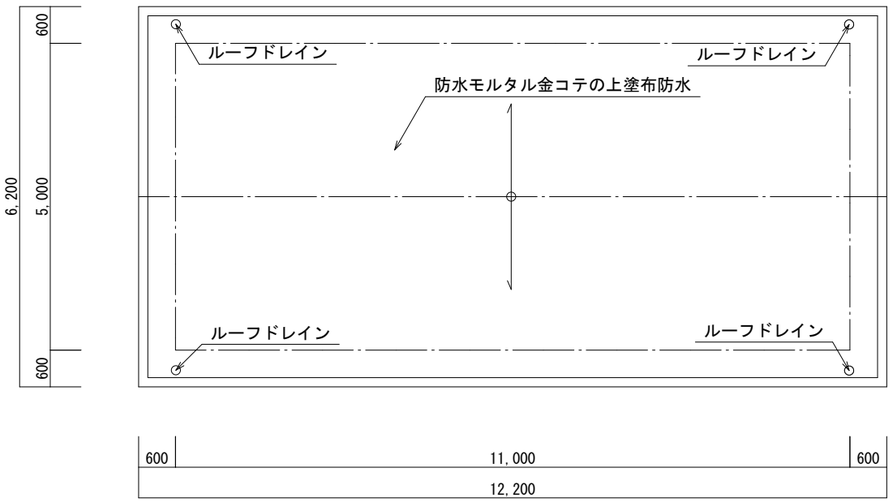
1. 沼田西分団屯所（土間のこし解体撤去処分）
2. ホース乾燥柱（ｺﾝｸﾘｰﾄ柱）（一部撤去処分）
3. アスベスト（撤去）

アスベスト含有場所及び撤去工法

外壁仕上塗材に含有
庇鼻仕上塗材に含有
待機室仕上塗材に含有
（下地材（ﾓﾙﾀﾙ）にアスベスト（レベル３）を含有している）※
アスベスト撤去
外壁・庇鼻・内壁アスベストは下地材（ﾓﾙﾀﾙ）に含有しておりすべて撤去処分
①隔離養生（負圧なし）を行う
②湿潤化しながらモルタルをピック等にて破砕
③破砕残しをサンダー掛け
（プラスチックシート養生有り，負圧無し）
※　アスベスト含有分析調査済み



平面図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100

凡例

- 蛍光灯
- 赤色灯
- 白熱灯
- 換気扇

1/AD　1/AW　建具符号　アルミサッシ（片開き戸・引違窓）

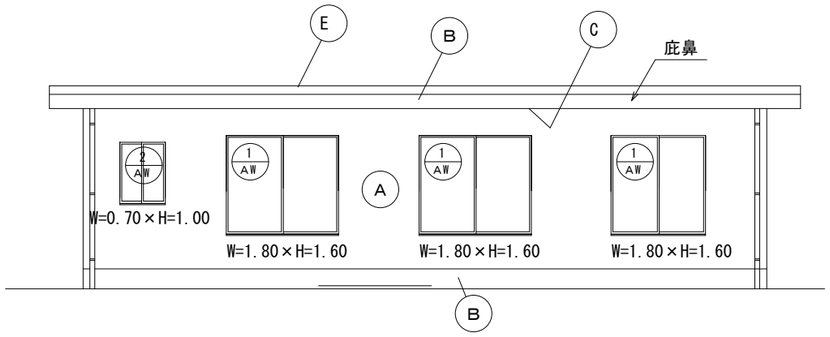
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

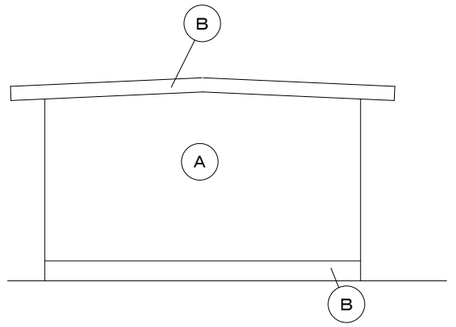
JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/100	消防屯所等解体工事	6 / 02	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （沼田西分団屯所）平面図屋根伏図		A-4： 71%

外部仕上表

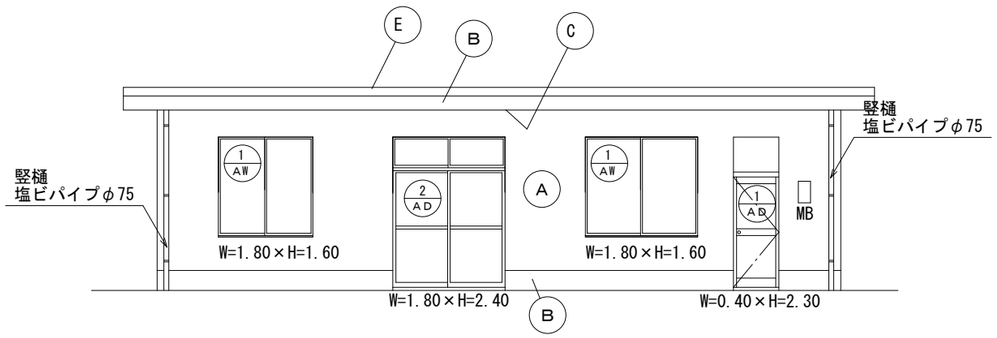
A	CBｔ＝150の上吹付材
B	モルタル刷毛引きの上吹付材
C	コンクリート打放しの上吹付材
D	コンクリート打放し
E	屋根：防水モルタル金コテの上塗膜防水



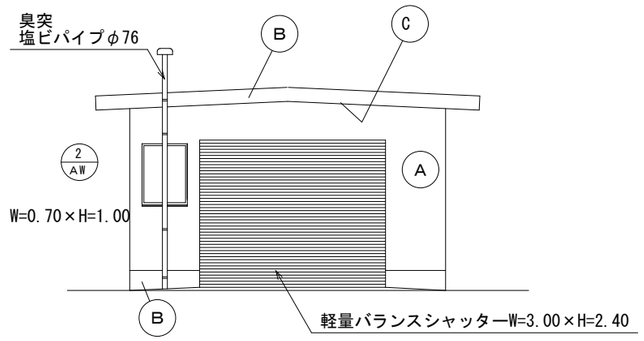
西側立面図　S=1/100



南側立面図　S=1/100



東側立面図　S=1/100



北側立面図　S=1/100

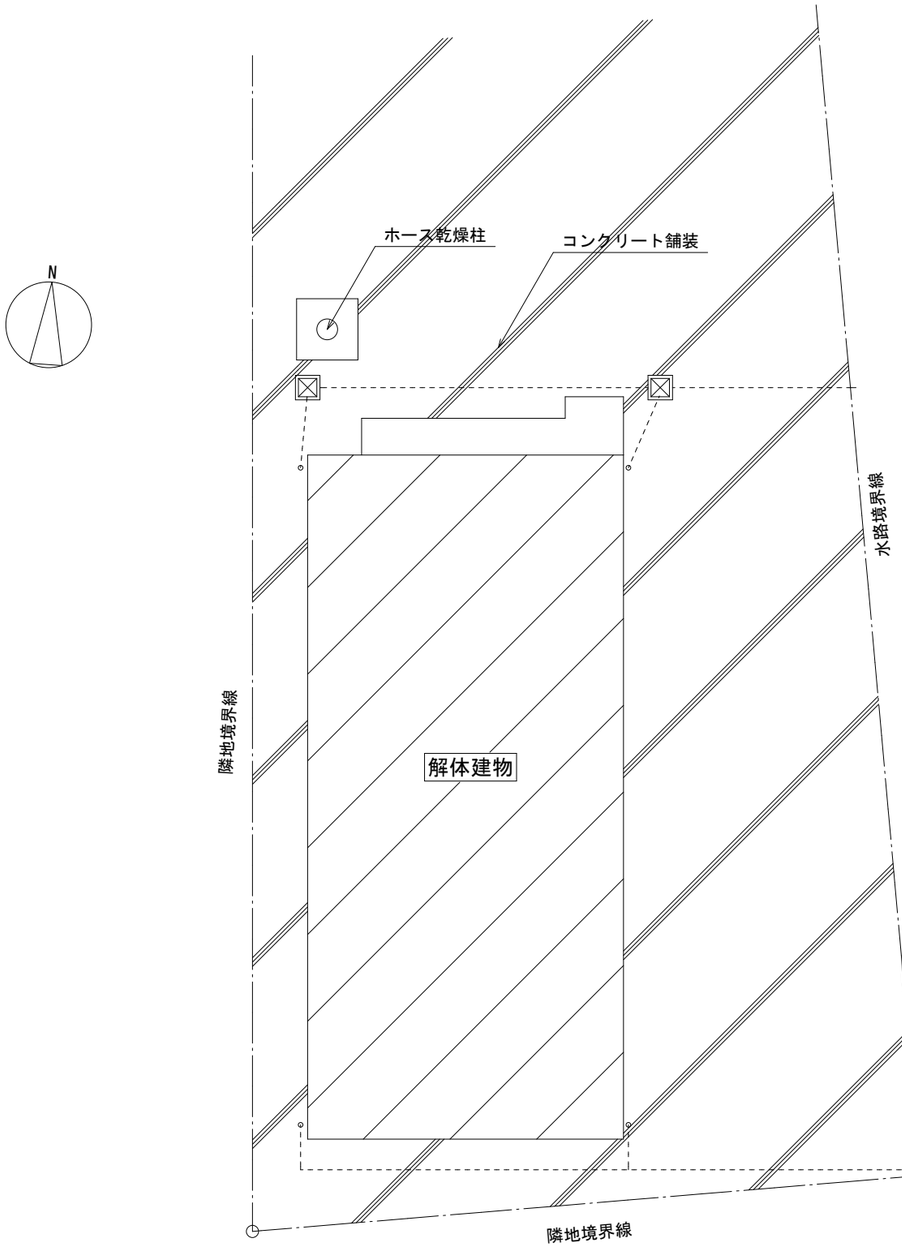
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

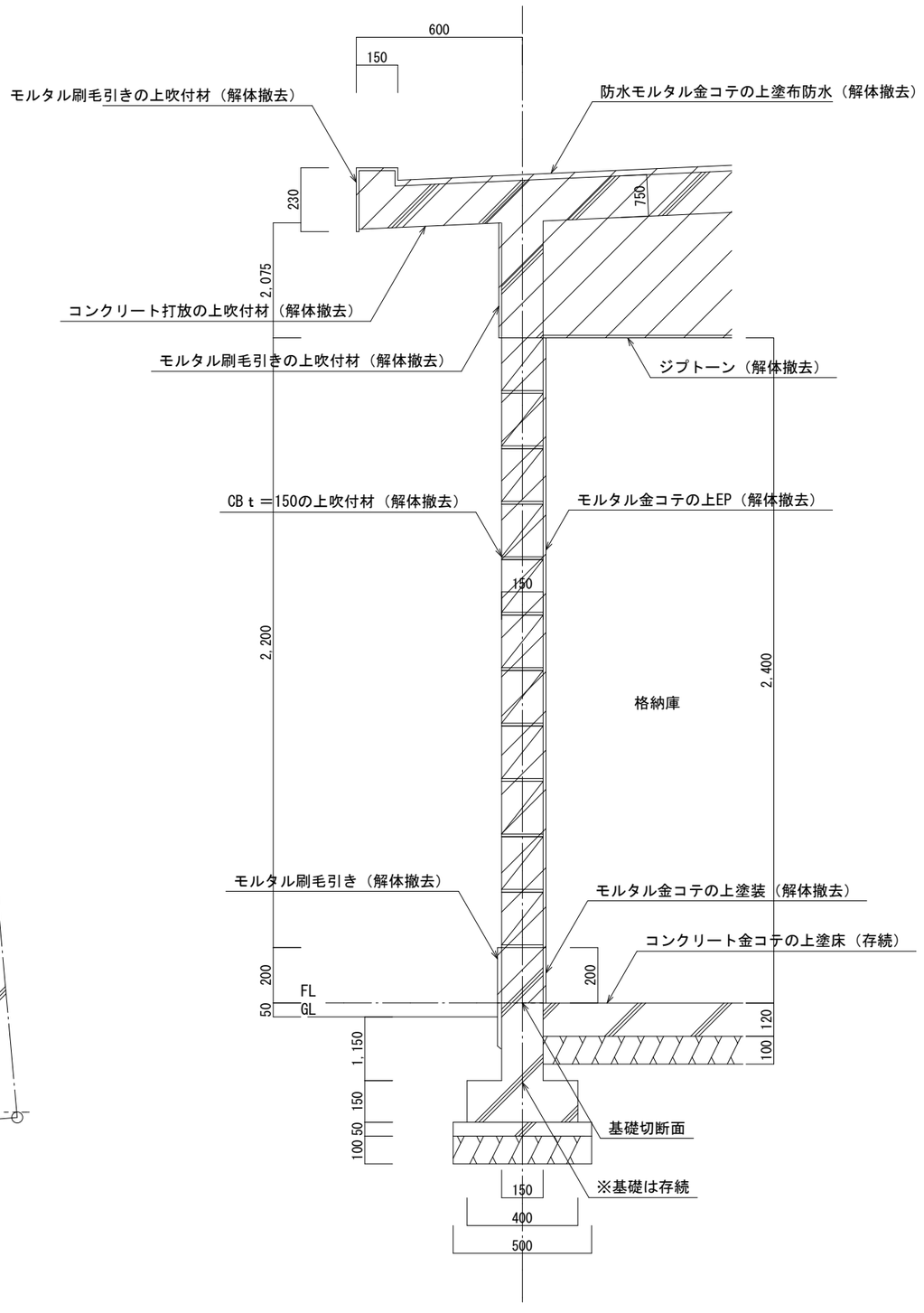
岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/100	消防屯所等解体工事	6 / 03	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （沼田西分団屯所）立面図		A-4： 71%



配置図　S=1/100



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO. ○	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/100 1/20

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （沼田西分団屯所）配置図、断面図

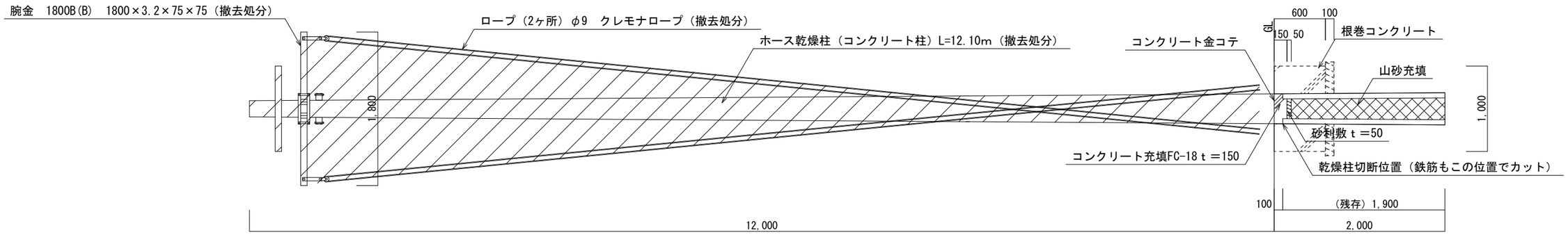
NO. 6 / 04

図面縮小率

A-3：100%

A-4：　71%

ホース乾燥柱　詳細図　S=1/50



特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

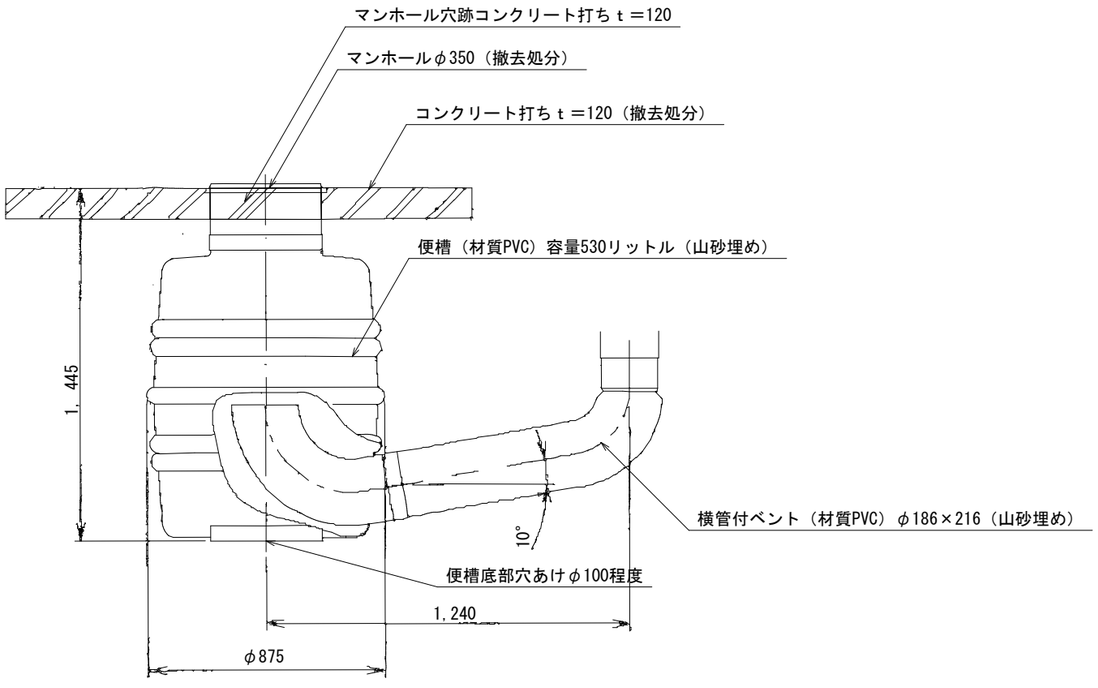
SCALE 1/50

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （沼田西分団屯所）ホース乾燥柱　詳細図

NO. 6 / 05

図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%



便槽詳細図（参考図）　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.		SCALE 1/20
CH.	CH.	DR.	

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （沼田西分団屯所）便槽詳細図（参考図）

NO. 6 / 06

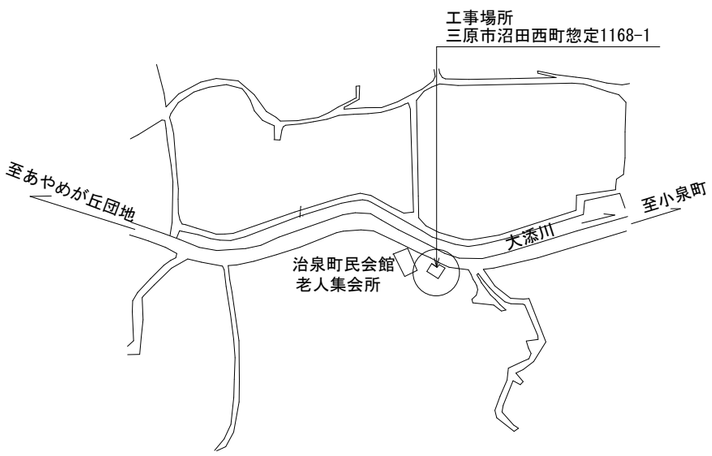
図面縮小率
A-3：100%
A-4： 71%

外部仕上表

屋　根	折板葺きH=88（車庫棟、待機室棟）（撤去処分）	便槽	FRP製便槽530リットル、臭突：塩ビパイプφ76（本体は残置の上付属品は撤去処分）
軒　裏	折板表し	乾燥柱	コンクリート製L=12.00m　最大径φ340（上部のみ撤去処分）
外　壁	車庫棟：コンクリートブロック積吹付材（撤去処分） 待機室棟：窯業系サイディングｔ＝16（撤去処分）		
建　具	住宅用アルミサッシュ、アルミドア（撤去処分） 軽量バランスシャッター（撤去処分）	建物構造	車 庫 棟：コンクリートブロック造ｔ＝150 待機室棟：木造平屋
樋	軒樋：塩ビφ105/2　　竪樋：塩ビパイプφ60（撤去処分）		

内部仕上表

階	室　名	床 仕上	巾木・腰 仕上	壁 仕上	天井 仕上	天井高	備考
1	車庫	コンクリート金コテ塗床	モルタル金コテ　H=200	コンクリートブロック化粧積	折半屋根表し		
	待機室	コンクリート金コテ塗床	同　上	PBｔ=12.5下地ビニルクロス貼	ジプトーン張り	2500	流し台L=1800 換気扇φ200
	手洗い	100角磁器タイル	100角タイル張り　H=200	同　上	同　上	2200	小型手洗い器 換気扇φ200
	トイレ	同　上	同　上	同　上	同　上	2200	汲取り洋便器



付近見取図

アスベスト含有場所及び撤去工法

外壁下地材（ﾓﾙﾀﾙ）に含有
腰壁タイル下地材に含有
仕上塗材）にアスベスト（レベル３）を含有している）※
アスベスト撤去
　外壁・庇鼻・内壁アスベストは下地材（ﾓﾙﾀﾙ）に含有しておりすべて撤去処分
　①隔離養生（負圧なし）を行う
　②湿潤化しながらモルタルをピック等にて破砕
　③破砕残しをサンダー掛け
　（プラスチックシート養生有り，負圧無し）
　※　アスベスト含有分析調査済み

特記事項	訂正事項

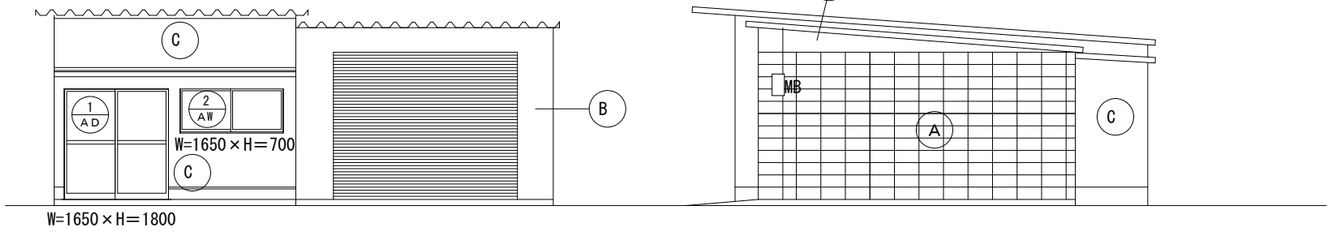
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号
岡田建築設計事務所
一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	
CH. CH. DR.		

TITLE　消防屯所等解体工事
NAME　（惣定格納庫）付近見取図、外部・内部仕上表

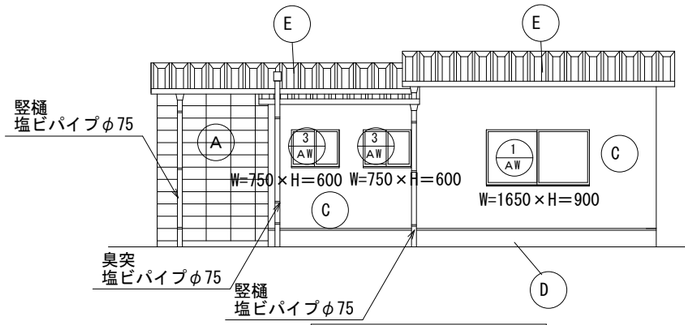
NO. 7 / 01

図面縮小率
A-3：100%
A-4：71%

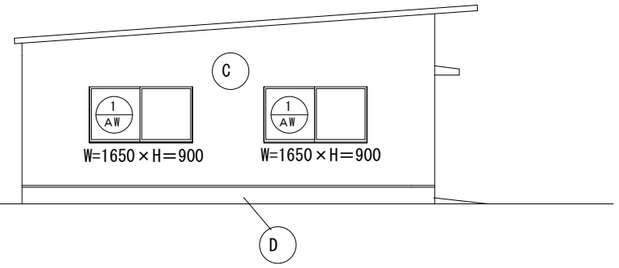


北側側立面図　S=1/100

西側立面図　S=1/100



南側立面図　S=1/100



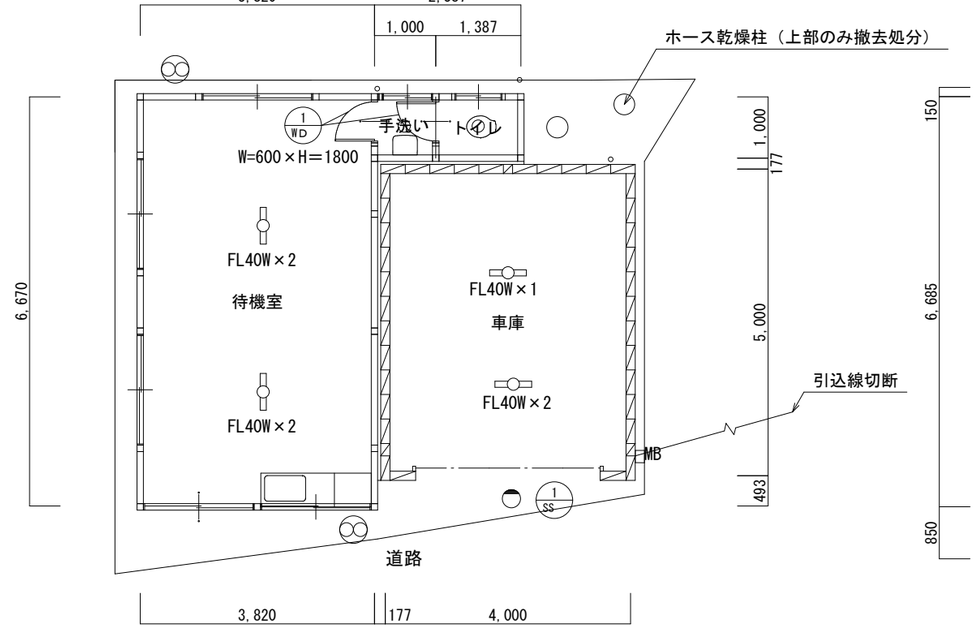
東側立面図　S=1/100

惣定格納庫　工事内容

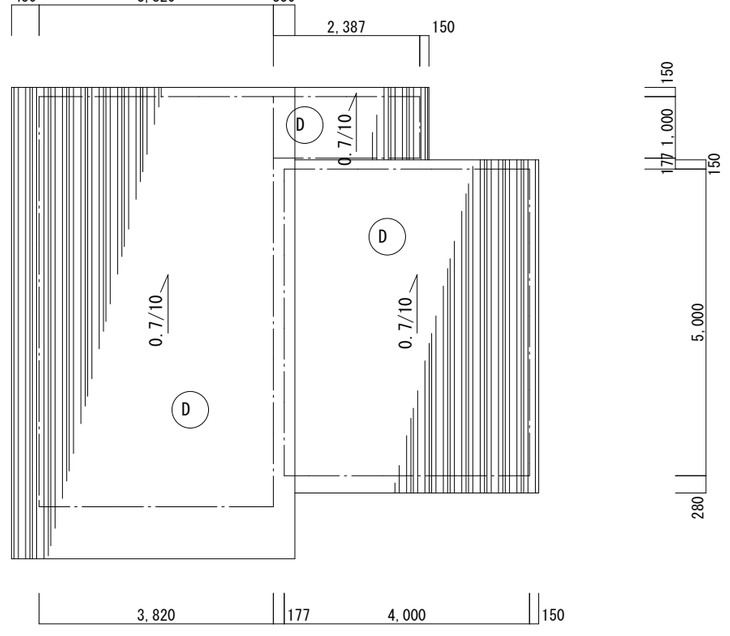
1. 惣定格納庫（土間のこし解体撤去処分）
2. ホース乾燥柱（一部解体撤去処分）
3. アスベスト（撤去）

外部仕上表

A	コンクリートブロック積吹付材
B	モルタル刷毛引きの上吹付材
C	窯業系サイディングｔ＝16
D	モルタル刷毛引き
E	折板葺きH=88



平面図　S=1/100



屋根伏図　S=1/100

凡例

- 蛍光灯
- 赤色灯
- 白熱灯
- 換気扇

1/AD　1/AW　建具符号　アルミサッシ（片開き戸・引違窓）

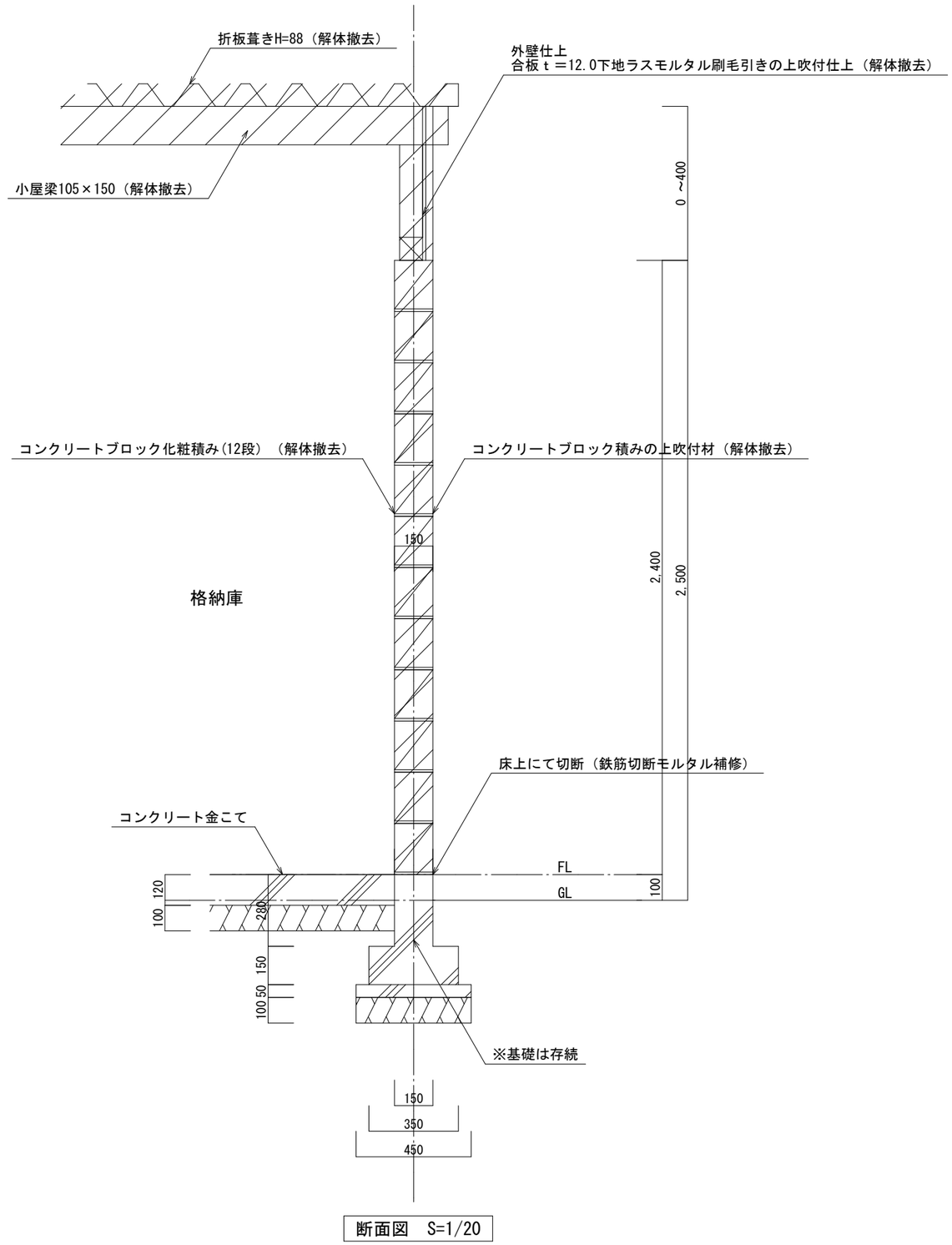
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/100	消防屯所等解体工事	7 / 02	A-3：100%
CH. CH.	DR.		NAME （惣定格納庫）平面図、立面図、屋根伏図		A-4： 71%



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

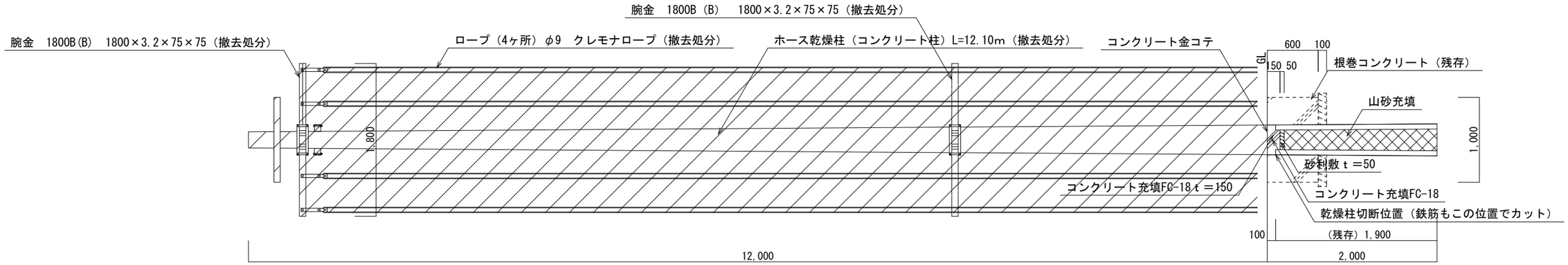
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

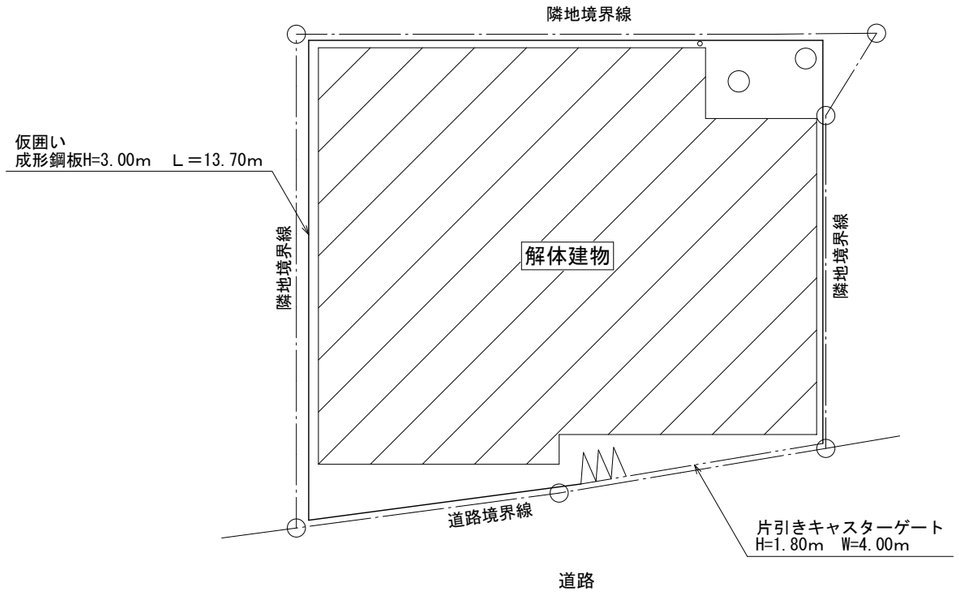
岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

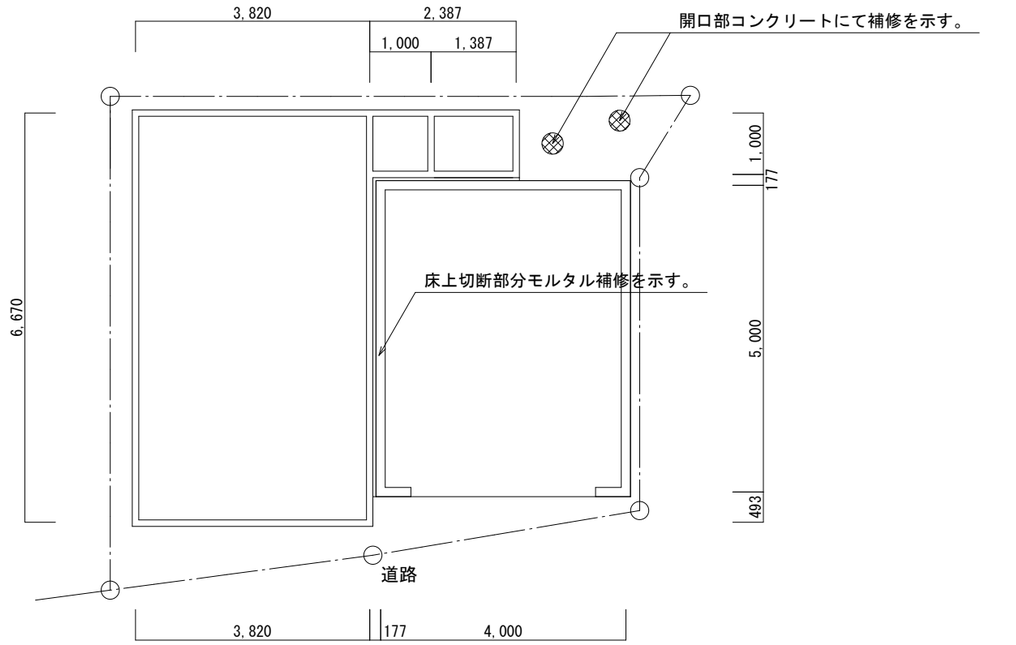
JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/20	消防屯所等解体工事	7 / 03	A-3：100%
CH. CH. DR.			NAME （惣定格納庫）断面図		A-4： 71%

ホース乾燥柱　詳細図　S=1/50





仮設計画図（参考図）　S=1/100



解体後床補修平面図　S=1/100

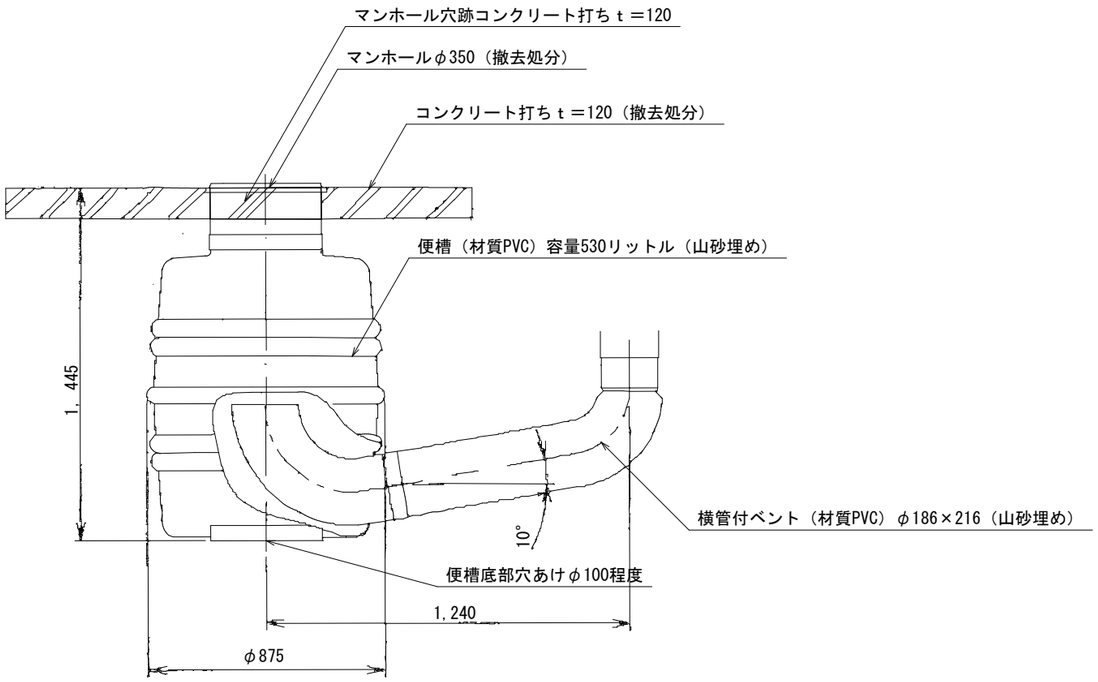
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.		SCALE	TITLE 消防屯所等解体工事	NO. 7 / 04	図面縮小率
CH.	CH.	DR.	1/50 1/100	NAME （惣定格納庫）ホース乾燥柱　詳細図 仮設計画図（参考図）、解体後床補修平面図		A-3：100% A-4：71%



便槽詳細図（参考図）　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.		SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
CH.	CH.	DR.	1/20	消防屯所等解体工事 NAME （惣定格納庫）便槽詳細図（参考図）	7 / 05	A-3：100% A-4：71%

内部仕上表

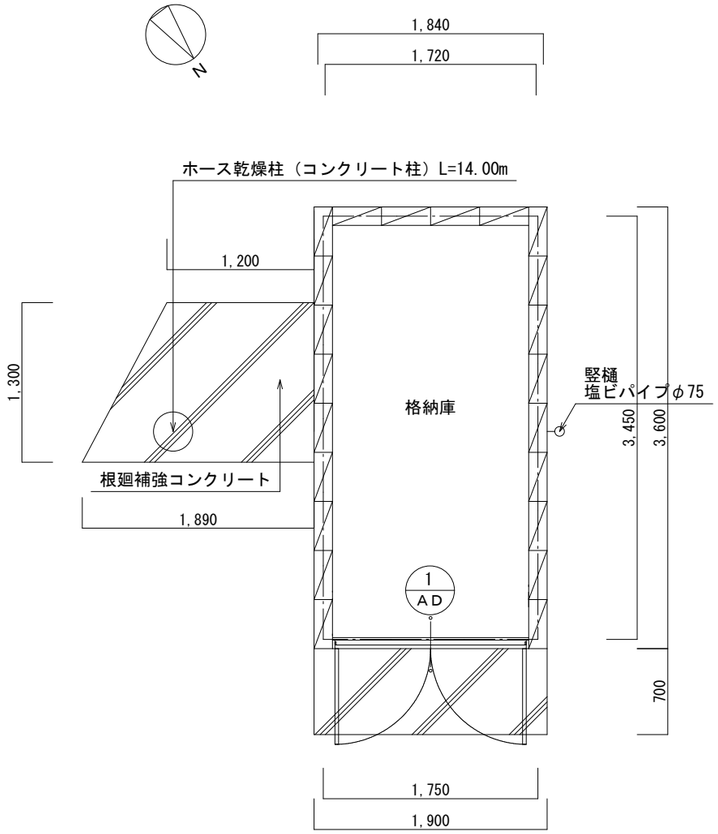
室　名	格納庫	CH2100
床	コンクリート金こて	
巾　木		
壁	コンクリートブロック化粧積み t=150	
天　井	コンクリート打放し	
備　考		

外部仕上表

A	コンクリートブロック化粧積
B	コンクリート打放
C	アルミドア
D	モルタル刷毛引き

大長寺格納庫、ホース乾燥柱　工事内容

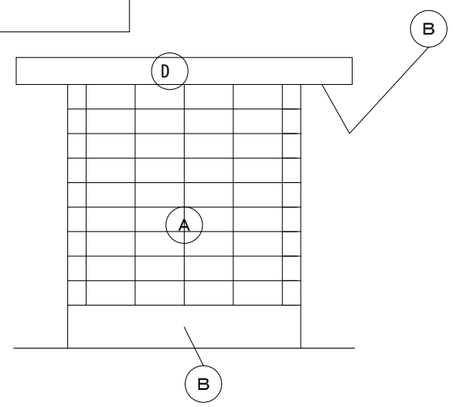
1. ホース乾燥柱（コンクリート柱）（撤去処分）
2. 大長寺格納庫（解体撤去処分）
3. 解体後真砂土整地
4. レンガ敷一時撤去復旧



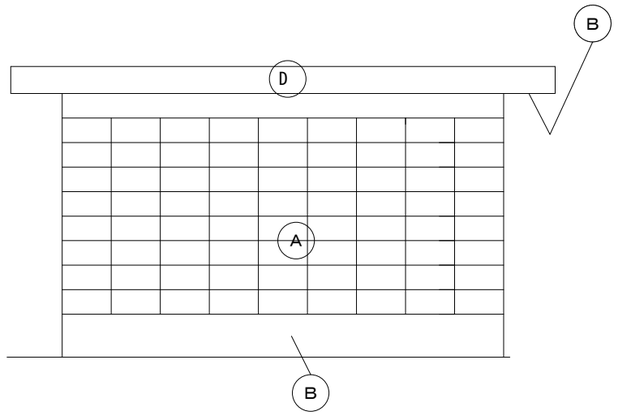
平面・配置図　S=1/50

凡例

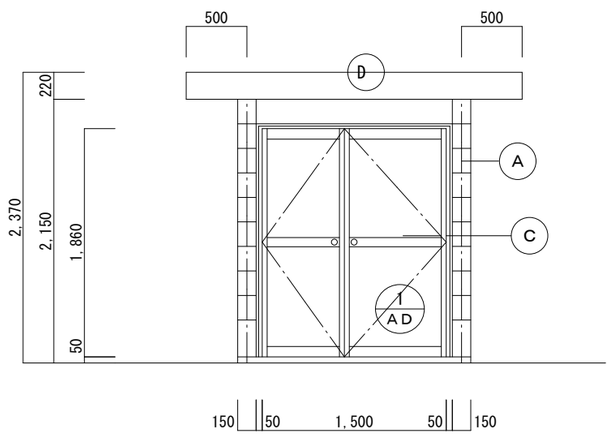
1/AD　建具符号　アルミドア



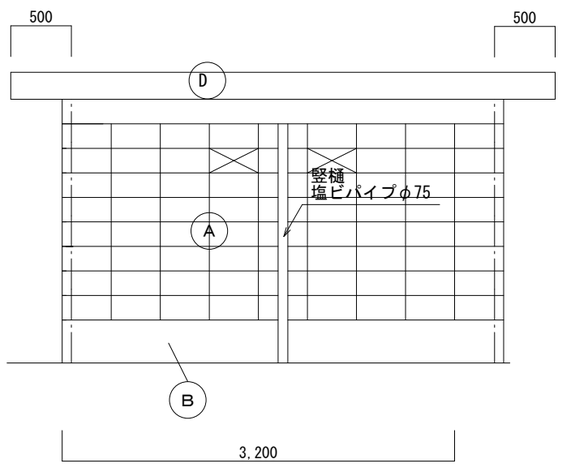
南側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



北側立面図　S=1/50



西側立面図　S=1/50

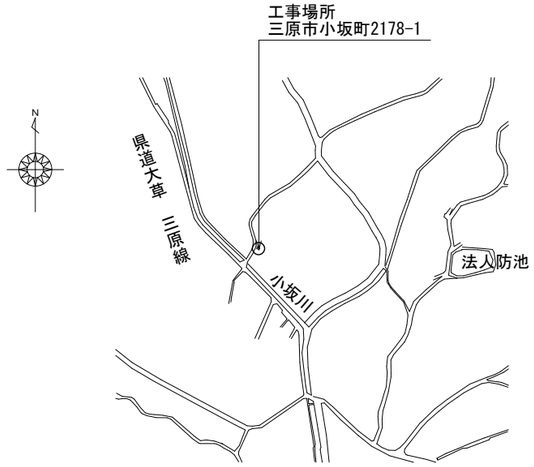
特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

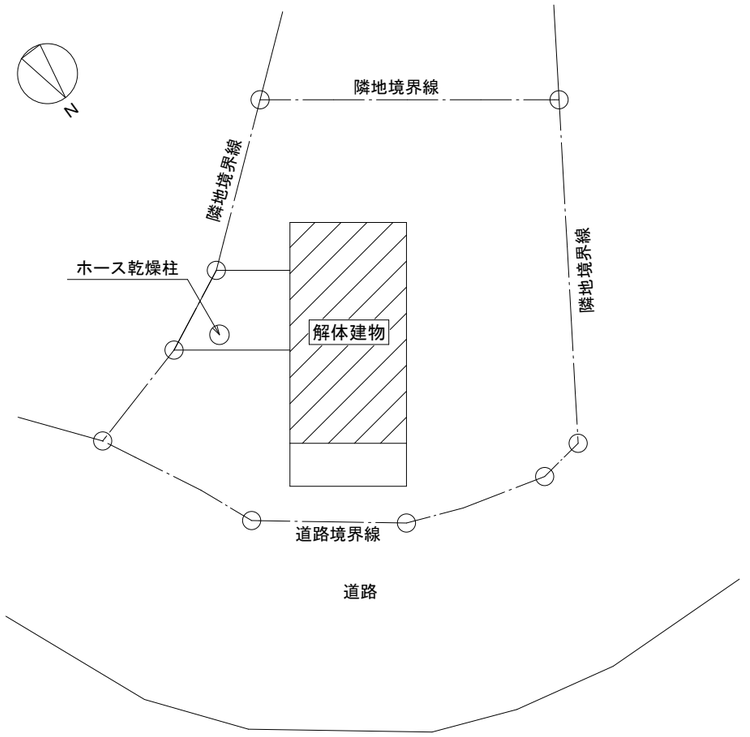
岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

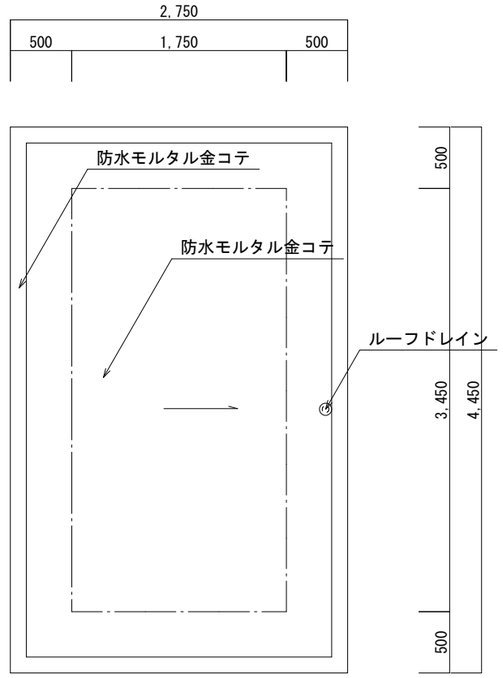
JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50	消防屯所等解体工事	8 / 01	A-3：100%
CH. CH.	DR.		NAME （大長寺格納庫）平面図、立面図		A-4： 71%



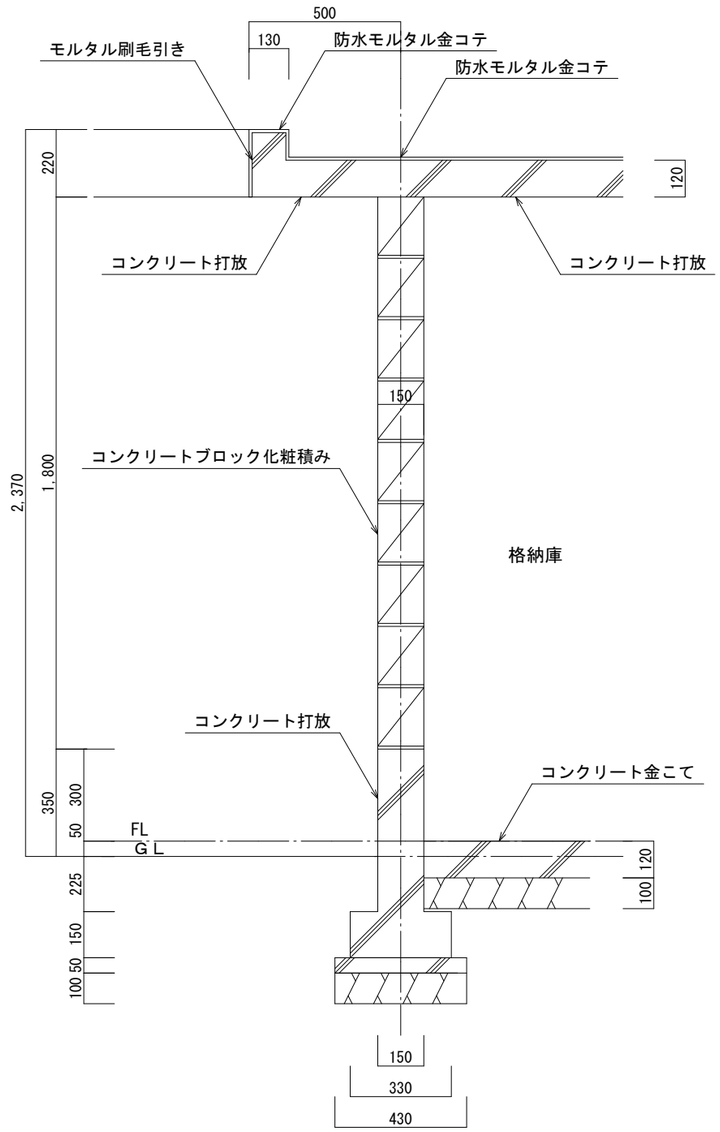
付近見取図



配置図　S=1/100



屋根伏図　S=1/50



断面図　S=1/20

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2023.03.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/100 1/50 1/20

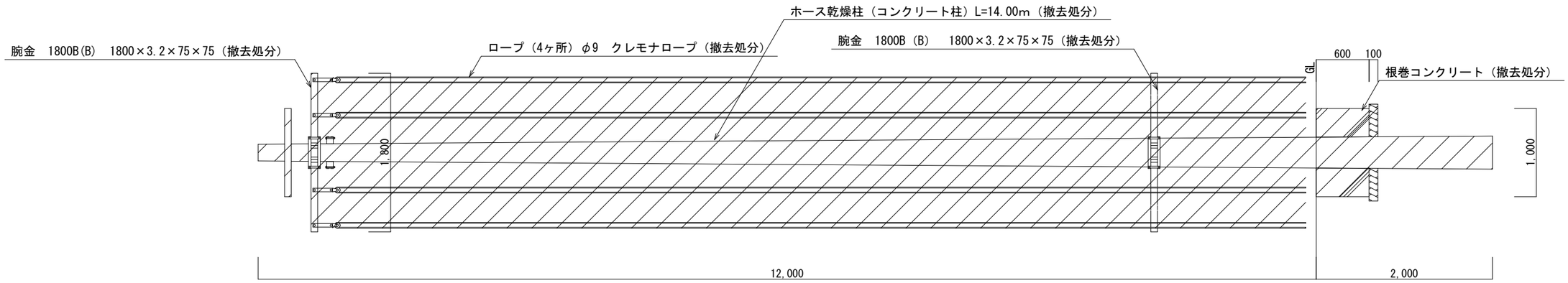
TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （大長寺格納庫）付近見取図、配置図、屋根伏図、断面図

NO. 8 / 02

図面縮小率
A-3：100%
A-4： 71%

ホース乾燥柱　詳細図　S=1/50



特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/50

TITLE 消防屯所等解体工事

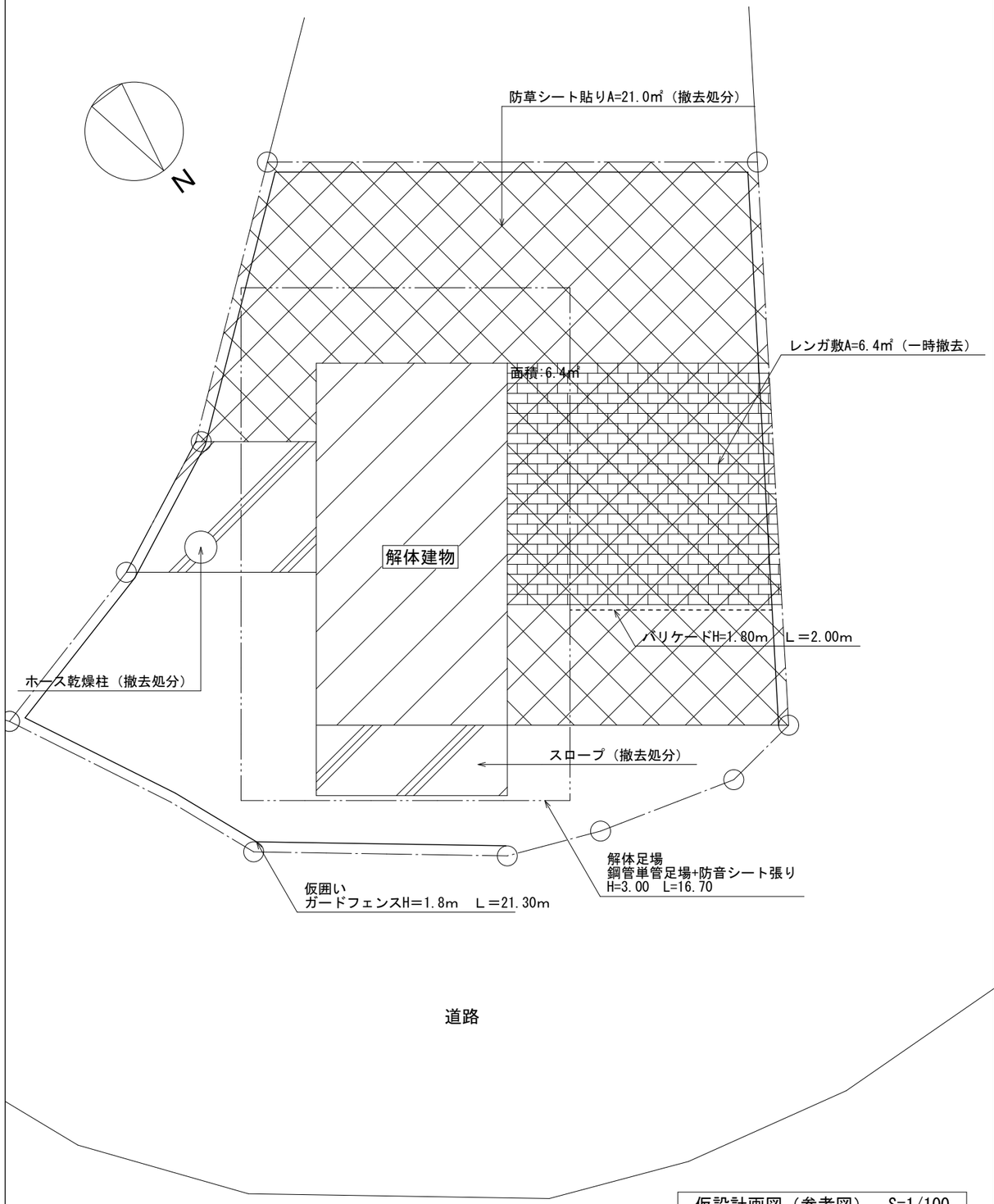
NAME （大長寺格納庫）ホース乾燥柱　詳細図

NO. 8 / 03

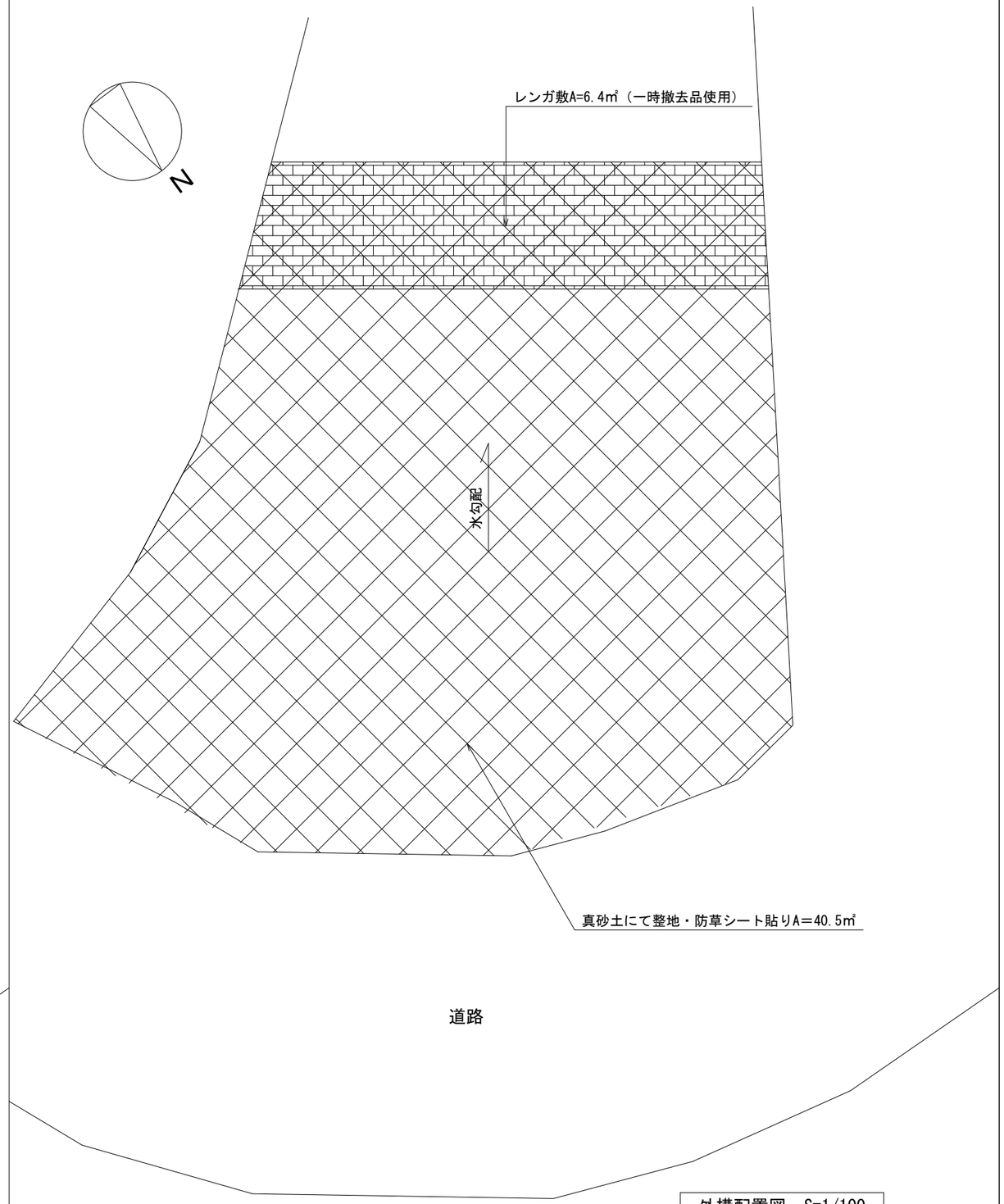
図面縮小率

A-3：100%

A-4：71%



仮設計画図（参考図）　S=1/100



外構配置図　S=1/100

特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE
	2026.08.	1/100

CH.	CH.	DR.

TITLE　消防屯所等解体工事

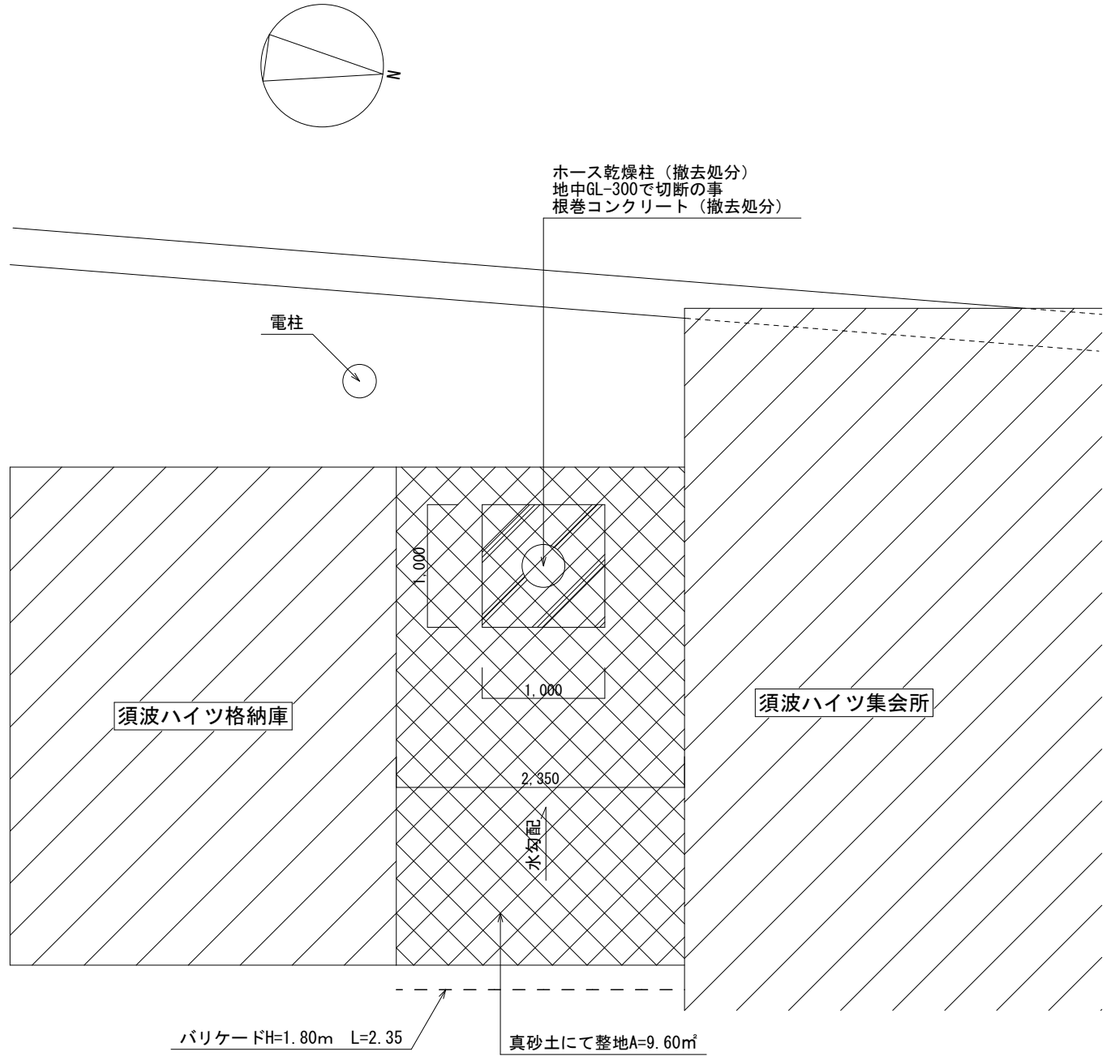
NAME　（大長寺格納庫）仮設計画図（参考図）、外構配置図

NO.　8 / 04

図面縮小率
A-3：100%
A-4：　71%



付近見取図



※カラーコーンにより工事範囲を
区画すること。（10mを見込んでいる。）

配置図　S=1/50

特記事項	訂正事項

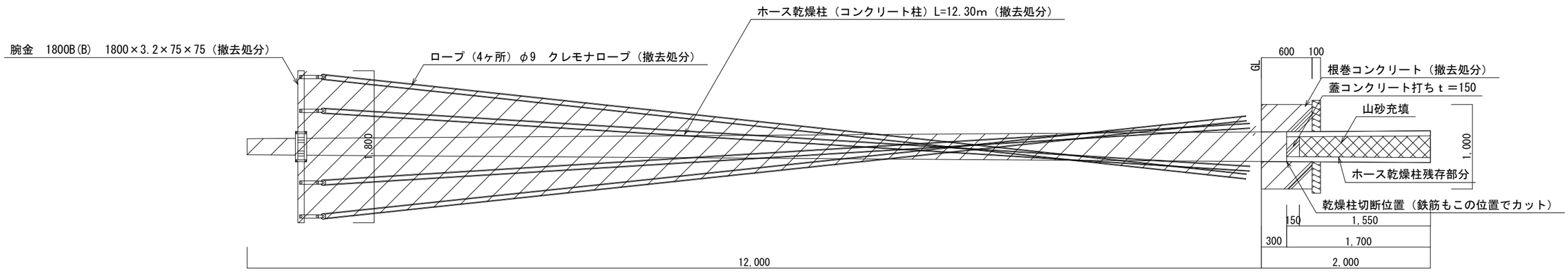
一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
	2026.08.	1/50	消防屯所等解体工事	9 / 01	A-3：100%
CH. CH.	DR.		NAME （須波ハイツ格納庫）付近見取図・配置図		A-4：71%

ホース乾燥柱　詳細図　S=1/50



特記事項	訂正事項

一級建築士事務所　広島県知事登録22（1）0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士　第102449号　岡田文夫

JOB NO.	DATE 2026.08.	
CH.	CH.	DR.

SCALE 1/50

TITLE 消防屯所等解体工事

NAME （須波ハイツ格納庫）ホース乾燥柱　詳細図

NO. 9 / 02

図面縮小率

A-3：100%

A-4：　71%

参　考　数　量　書

工　事　名　称　　消防屯所等解体工事

工　事　場　所　　三原市幸崎能地五丁目外

［工　事　概　要］

用途、構造、面積	消防屯所・格納庫・倉庫、コンクリートブロック造外、床面積196㎡
工　事　範　囲	解体工事
別 途 発 注 工 事	無　し
工　　期	契約締結日の翌日　～　　令和9年3月31日
一　般　事　項	

《 工事予算内訳 》　　合　計　金　額

〈内　　訳〉

区　　分	金　　額	概　　要
設　計　金　額		
消　費　税　額		
合　計　金　額		

工事費内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
本能地格納庫	1	式		
須波分団屯所	1	式		
港口倉庫	1	式		
須波西倉庫	1	式		
沖浦格納庫	1	式		
沼田西分団屯所	1	式		
惣定格納庫	1	式		
大長寺格納庫	1	式		
須波ﾊｲﾂ格納庫	1	式		
計				

本能地格納庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
とりこわし	1	式		
外構	1	式		
発生材	1	式		
計				

須波分団屯所

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

港口倉庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

須波西倉庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

沖浦格納庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

沼田西分団屯所

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

惣定格納庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

大長寺格納庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

須波ﾊｲﾂ格納庫

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
外構	1	式		
とりこわし	1	式		
発生材	1	式		
計				

本能地格納庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
発生材	ｱｽﾍﾞｽﾄ	1	式		
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

須波分団屯所

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

港口倉庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

須波西倉庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

沖浦格納庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

沼田西分団屯所

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	アスベスト	1	式		
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

惣定格納庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	ｱｽﾍﾞｽﾄ	1	式		
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

大長寺格納庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

須波ﾊｲﾂ格納庫

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
外構		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
発生材	積込	1	式		
発生材	運搬	1	式		
発生材	処分	1	式		
発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ	1	式		
計					

本能地格納庫　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
整理清掃 後片付け	一 般 -　　-	13	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		87	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		87	㎡			
計						

本能地格納庫　　土工

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	5.9	m3			
水返し土手 盛土	真砂土	0.7	m3			
整地	真砂土	13	㎡			
計						

本能地格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	37.4	㎡			
庇鼻・外壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	59.5	㎡			
木製棚撤去		1	か所			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	鋼管製 L=12000	1	か所			
ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ撤去	H=1000	6	m			
給水管撤去		3.9	m			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.9	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		2.8	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		7.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		6.9	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.6	m3			
砕石撤去		3.4	m3			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	2200×2200	1	か所			
SD1 鋼製建具撤去	600×2200	1	か所			
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	800×1800	1	か所			

本能地格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
AW1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1850×600	1	か所			
竪樋撤去		6.4	m			
計						

本能地格納庫　外構

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ネットフェンス 新設	基礎共180×180×450	17	m			
計						

本能地格納庫　発生材　ｱｽﾍﾞｽﾄ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有ﾓﾙﾀﾙ	積込・運搬・処分費共	2.9	m3			
計						

本能地格納庫　発生材　積込

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		20.8	m3			
発生材積込 石		3.4	m3			
発生材積込 木		0.7	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	m3			
発生材積込 がれき類		0.1	m3			
計						

本能地格納庫　　発生材　　運搬

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		20.8	m3			
発生材運搬 石		3.4	m3			
発生材運搬 木		0.7	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材運搬 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	m3			
発生材運搬 がれき類		0.1	m3			
計						

本能地格納庫　発生材　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		47.8	t			
発生材処分 石		6.8	t			
発生材処分 木		0.4	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	t			
発生材処分 がれき類		0.1	t			
計						

本能地格納庫　　発生材　　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄		2.2	t			
ｱﾙﾐ		42.6	kg			
計						

須波分団屯所　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	53.7	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		189	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		189	㎡			
計						

須波分団屯所　土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	5.9	m3			
整地	真砂土	78	㎡			
計						

須波分団屯所　外構

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0001
計						

須波分団屯所　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
便槽撤去		1	式			
ｷｯﾁﾝ撤去		1	か所			
屋根撤去 和瓦吹き		42	㎡			
軒樋撤去		17.2	m			
竪樋撤去		11.9	m			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=14000	1	か所			
排水桝撤去		1	か所			
給水管撤去		21.7	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装撤去		3.1	m3			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		3.4	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		3.3	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.8	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.5	m3			
砕石撤去		4.2	m3			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	3100×2100	1	か所			

須波分団屯所　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	700×1800	1	か所			
AD2 ｱﾙﾐ製建具撤去	600×1800	1	か所			
AD3 ｱﾙﾐ製建具撤去	750×1800	1	か所			
AW1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1600×1100	5	か所			
AW2 ｱﾙﾐ製建具撤去	1600×900	1	か所			
AW3 ｱﾙﾐ製建具撤去	800×900	1	か所			
AW4 ｱﾙﾐ製建具撤去	550×900	1	か所			
WD1 木製建具撤去	1345×1150	1	か所			
木造上屋解体		25.2	㎡			
計						

須波分団屯所		発生材			積込	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		16.2	m3			
発生材積込 石		4.2	m3			
発生材積込 木		11.1	m3			
発生材積込 ﾎﾞｰﾄﾞ		1.7	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.9	m3			
発生材積込 がれき類		0.7	m3			
計						

須波分団屯所　発生材　運搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		16.2	m3			
発生材運搬 石		4.2	m3			
発生材運搬 木		11.1	m3			
発生材運搬 ﾎﾞｰﾄﾞ		1.7	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材運搬 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.9	m3			
発生材運搬 がれき類		0.7	m3			
計						

須波分団屯所　発生材　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		37.3	t			
発生材処分 石		8.5	t			
発生材処分 木		6.1	t			
発生材処分 ﾎﾞｰﾄﾞ		1.2	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.9	t			
発生材処分 がれき類		0.2	t			
計						

須波分団屯所　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄		0.8	t			
ｱﾙﾐ		235	kg			
計						

港口倉庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	6	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		57	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		57	㎡			
計						

港口倉庫　　土工

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	2.6	m3			
整地	真砂土	13	㎡			
計						

港口倉庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
竪樋撤去		2	m			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.8	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.7	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		2.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		2.1	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.2	m3			
砕石撤去		1	m3			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	1600×1800	1	か所			
計						

港口倉庫		発生材			積込	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.6	m3			
発生材積込 石		1	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
計						

港口倉庫		発生材			運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.6	m3			
発生材運搬 石		1	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
計						

港口倉庫		発生材			処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		15.1	t			
発生材処分 石		2	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
計						

港口倉庫　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄		0.5	t			
計						

須波西倉庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	5.9	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		51	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		51	㎡			
計						

須波西倉庫　　土工

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	2.4	m3			
整地	真砂土	9	㎡			
計						

須波西倉庫　　外構

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
のり面整地		1	式			別紙 00-0002
計						

須波西倉庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
竪樋撤去		2.4	m			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	木製 L=8000	1	か所			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=14000	1	か所			
根廻補強ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装撤去		3.1	m3			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.7	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.8	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		1.9	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.2	m3			
砕石撤去		0.9	m3			
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1500×1860	1	か所			
WW1 木製建具撤去	1500×700	1	か所			
計						

須波西倉庫　　発生材　　積込

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.8	m3			
発生材積込 石		0.9	m3			
発生材積込 木		0.2	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	m3			
計						

須波西倉庫　発生材　運搬

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.8	m3			
発生材運搬 石		0.9	m3			
発生材運搬 木		0.2	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材運搬 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	m3			
計						

須波西倉庫　発生材　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		16.6	t			
発生材処分 石		0.9	t			
発生材処分 木		0.1	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.1	t			
計						

須波西倉庫　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄		0.3	t			
ｱﾙﾐ		50.2	kg			
計						

沖浦格納庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	6	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		57	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		57	㎡			
計						

沖浦格納庫　　土工

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	2	m3			
整地	真砂土	13	㎡			
計						

沖浦格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.8	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.7	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		2.3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		2.5	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.2	m3			
砕石撤去		1	m3			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	1600×1750	1	か所			
計						

沖浦格納庫		発生材			積込	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.9	m3			
発生材積込 石		1	m3			
計						

沖浦格納庫		発生材			運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		6.9	m3			
発生材運搬 石		1	m3			
計						

沖浦格納庫		発生材			処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		15.9	t			
発生材処分 石		2.3	t			
計						

沖浦格納庫　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄		0.5	t			
計						

沼田西分団屯所　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	55	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		117	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		117	㎡			
計						

沼田西分団屯所　外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0008
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0009
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断面 ﾓﾙﾀﾙ塗		30.4	m			
計						

沼田西分団屯所　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	61.3	㎡			
庇鼻・外壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	135	㎡			
便槽撤去		1	式			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=12000	1	か所			
ｷｯﾁﾝ撤去		1	か所			
ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ撤去	4800×2400	1	か所			
和式便器撤去		1	か所			
手洗い器撤去		1	か所			
竪樋撤去		12.8	m			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		15.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		7.7	m3			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	30.4	m			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	3000×2400	1	か所			
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	400×2300	1	か所			
AD2 ｱﾙﾐ製建具撤去	1800×2400	1	か所			

沼田西分団屯所　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1800×1600	5	か所			
AW2 ｱﾙﾐ製建具撤去	700×1000	1	か所			
計						

沼田西分団屯所　発生材　アスベスト

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有ﾓﾙﾀﾙ	積込・運搬・処分費共	5.9	m3			
計						

沼田西分団屯所	発生材			積込		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		26.5	m3			
発生材積込 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.5	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	m3			
発生材積込 がれき類		0.3	m3			
計						

沼田西分団屯所	発生材			運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		26.5	m3			
発生材運搬 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.5	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材運搬 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	m3			
発生材運搬 がれき類		0.3	m3			
計						

沼田西分団屯所		発生材			処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		61	t			
発生材処分 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.4	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	t			
発生材処分 がれき類		0.1	t			
計						

沼田西分団屯所　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄		1.9	t			
ｱﾙﾐ		176	kg			
計						

惣定格納庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	47.9	㎡			
計						

惣定格納庫		外構				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0005
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0006
ｺﾝｸﾘｰﾄ切断面 ﾓﾙﾀﾙ塗	W150	15	m			
計						

惣定格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
腰壁 ﾓﾙﾀﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	1.4	㎡			
外壁 吹付ﾀｲﾙ撤去	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有	23.1	㎡			
便槽撤去		1	式			
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=12000	1	か所			
ｷｯﾁﾝ撤去		1	か所			
洋式便器撤去		1	か所			
手洗い器撤去		1	か所			
軒樋撤去		11.5	m			
竪樋撤去		12.8	m			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		5.4	m3			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	15	m			
軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ撤去	3000×2400	1	か所			
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1650×1800	1	か所			
AW1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1650×900	3	か所			

惣定格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW2 ｱﾙﾐ製建具撤去	1650×700	1	か所			
AW3 ｱﾙﾐ製建具撤去	750×600	2	か所			
WD1 木製建具撤去	600×1800	1	か所			
木造上屋解体		47.9	㎡			
計						

惣定格納庫	発生材	ｱｽﾍﾞｽﾄ				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有塗料	積込・運搬・処分費共	0.2	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有ﾓﾙﾀﾙ	積込・運搬・処分費共	0.1	m3			
計						

惣定格納庫		発生材			積込	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		7.7	m3			
発生材積込 木		2.6	m3			
発生材積込 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.8	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	m3			
発生材積込 がれき類		1.3	m3			
計						

惣定格納庫		発生材			運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		7.7	m3			
発生材運搬 木		2.6	m3			
発生材運搬 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.8	m3			
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材運搬 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	m3			
発生材運搬 がれき類		1.3	m3			
計						

惣定格納庫		発生材			処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		17.6	t			
発生材処分 木		5.3	t			
発生材処分 ﾎﾞｰﾄﾞ		0.6	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 陶器・ｶﾞﾗｽ		0.2	t			
発生材処分 がれき類		0.3	t			
計						

惣定格納庫	発生材	ｽｸﾗｯﾌﾟ				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄		0.8	t			
ｱﾙﾐ		721	kg			
計						

大長寺格納庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 - -	6.6	㎡			
解体足場 鋼管単管足場		50.1	㎡			
災害防止 防音ｼｰﾄ		50.1	㎡			
計						

大長寺格納庫　　土工

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	2.5	m3			
整地	真砂土	50.5	㎡			
計						

大長寺格納庫　外構

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
防草ｼｰﾄ張り		40.5	㎡			
計						

大長寺格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=14000	1	か所			
根廻補強ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.2	m3			
ﾚﾝｶﾞ敷 一時撤去後再利用		6.4	㎡			
防草ｼｰﾄ撤去		21	㎡			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.9	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.8	m3			
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		2.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ撤去		2.5	m3			
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.2	m3			
砕石撤去		1	m3			
AD1 ｱﾙﾐ製建具撤去	1500×1680	1	か所			
竪樋撤去		2.4	m			
計						

大長寺格納庫　　発生材　　積込

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		9.1	m3			
発生材積込 石		1	m3			
発生材積込 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	m3			
発生材積込 がれき類		0.1	m3			
計						

大長寺格納庫　　発生材　　運搬

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		9.1				
発生材運搬 石		1				
発生材運搬 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1				
発生材運搬 がれき類		0.1				
計						

大長寺格納庫	発生材			処分		
名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		20.9	t			
発生材処分 石		2	t			
発生材処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		0.1	t			
発生材処分 がれき類		0.1	t			
計						

大長寺格納庫　　発生材　　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
鉄		0.4	t			
ｱﾙﾐ		53.5	kg			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整理清掃 後片付け	一 般 -　-　-	1	㎡			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　土工

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
整地	真砂土	9.6	㎡			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　　外構

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0007
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
ﾎｰｽ乾燥柱撤去	ｺﾝｸﾘｰﾄ製 L=12000	1	か所			
根廻補強ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.2	m3			
ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ撤去	復旧共	2	m			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫	発生材			積込		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材積込 ｺﾝｸﾘｰﾄ		1.3	m3			
発生材積込 がれき類		0.1	m3			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　発生材　運搬

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ		1.3	m3			
発生材運搬 がれき類		0.1	m3			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫	発生材			処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分 ｺﾝｸﾘｰﾄ		3.1	t			
発生材処分 がれき類		0.1	t			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　発生材　ｽｸﾗｯﾌﾟ

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
鉄		0.1	t			
計						

須波分団屯所　外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0001
盛土(A種)	山砂の類	0.5	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ (基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.5	㎡			
計						

須波西倉庫　外構

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
のり面整地		1	式			別紙 00-0002
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　土砂 DID区間有り 60.0km以下	2.7	m3			
発生土処分		3	t			
盛土(B種)	発生土	1.3	m3			
芝張り	こうらい芝 目地張り -	18.6	㎡			
計						

沼田西分団屯所　外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0008
盛土(A種)	山砂の類	0.1	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ(基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.5	㎡			
計						
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0009
盛土(A種)	山砂の類	0.5	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ(基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.5	㎡			
計						

惣定格納庫　外構

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0005
盛土(A種)	山砂の類	0.1	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ(基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.5	㎡			
計						
便槽撤去後		1	式			別紙 00-0006
盛土(A種)	山砂の類	0.5	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ(基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.5	㎡			
計						

須波ﾊｲﾂ格納庫　外構

名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
乾燥柱撤去後		1	式			別紙 00-0007
盛土(A種)	山砂の類	0.1	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 工作物の基礎等　S15～S18 -　-	0.1	m3			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ (基準単価)	金ごて 薄張物下地	0.1	㎡			
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
本能地格納庫						
仮囲い 成形鋼板	H=3.0m	56.8	m			
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H=1.8m×W=4.0m	1	か所			
須波分団屯所						
仮囲い 成形鋼板	H=3.0m	31.5	m			
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H=1.8m×W=4.0m	1	か所			
港口倉庫						
ガードフェンス	H=1.8m	30	m			
沖浦格納庫						
ガードフェンス	H=1.8m	30	m			
沼田西分団屯所						
仮囲い 成形鋼板	H=3.0m	3.2	m			
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H=1.8m×W=6.0m	1	か所			
惣定格納庫						
仮囲い 成形鋼板	H=3.0m	13.7	m			

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H=1.8m×W=4.0m	1	か所			
大長寺格納庫						
ガードフェンス	H=1.8m	21.3	m			
須波ハイツ格納庫						
カラーコーン		10	m			
計						

現場管理費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
アスベスト調査費		3	検体			
工事中情報共有システム		1	式			
計						